

アンケート結果



【参考資料一覧】

3. アンケート結果

取組番号	資料名	NEWS 掲載
5－1	5－1 外国人県民（成人）への学習支援ボランティア対象研修 第1回～第5回	○
5－2	5－2 外国につながる子どもへの日本語・学習支援を考える研修会	○
5－3	5－3 日本語教師対象研修 第1回～第3回	○
5－4	5－4 地域日本語教育コーディネーター育成研修	○
6－3	6－3 外国人県民対象日本語講座	○
11	11 学習支援者対象 ICT 研修 第1回～第3回	○

令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」

1日目 アンケート結果

【研修概要】

名称 : 令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」
学習者の背景理解～対話を通じた共生の社会づくり～

講師 : 神吉 宇一氏
(武蔵野大学グローバル学部准教授)

日時 : 2021年11月17日(水) 18:00~20:30

場所 : Zoom オンラインミーティングにて開催

参加人数 : ①受講者74名 ※申込89名に対し83.1%の参加
②HIA 7名参加

回答数 : 60名 (81.0%)

【アンケート結果 質問1「研修会の内容について」】

質問	回答（選択式）
質問1. 内容について （選択式）	とてもよかった（31人、51.7％）
	よかった（25人、41.7％）
	ふつう（4人、6.7％）

質問	回答
質問1. 研修会の内容について 「とてもよかった」 「よかった」「ふつう」 理由	地域の日本語教育の様子や方向性がわかりました。
	自分がとる態度によって相手の立場が変わるという考えがなかった
	今までに 考えたことがない内容で面白かったです
	日本語を教える以前に「なぜ？」というそもそもの背景を学べたことが良かった。また、それぞれ異なる場所で活動する皆様とディスカッションし様々な意見を聞いたことも良い収穫となった。
	系統立てて丁寧にお話してくださいました。
	現状を総括して頂いた感じで良かった。
	日本の移民政策とか、その政策を変える方法などが少しわかったこと。日本語の教え方が依然とは違ってきていることなど、よく知っておいたほうが良いことがわかったこと。
	外国人学習者の現状がわかった。
	CEFRのことなども丁寧に網羅していただいたので、今までおぼろげだった知識を補うことができた。言葉によって、相手との立場に線が引かれるという説明にハッとさせられました。内容が充実しすぎており、一部、聞き逃した部分があり残念でした。
	在留外国人について背景など大きなところから詳しく説明されていた。
	テーマをわかりやすく説明していただき（いろいろな例をあげて）、気づく事がたくさんありました。
	zoomを使ったことがないので戸惑った
	先生のお話が、とても聞きやすくて、大変勉強になりました。日本語教育の実情や、外国人へのより良いサポートについて、考えるきっかけをいただきました。微力ながら、自分にできることを考え、実行していきたいと思いました。
	神吉先生のお話がものすごく分かりやすく、心に迫ってくるものがありました。また、ブレイクアウトルームでは、グループの方の取り組みや熱い思いを聞かせていただき、たいへん参考になりましたし、同じ自治体で活動されている方と繋がることができ、連絡先も交換させていただくこともできました。
	神吉先生のお話が分かりやすく、またグループワークがあった事が良かった
	外国人を支援する上で、有用な知識を得ることができた。また、他地域の方々の話も聞いた。
	神吉先生の講話で、統計的にはすでに移民国家になっていることに驚きとともに、日本語ボランティアの意義について認識を新たにしています。

日本語を学ぶ人と対等な関係でともに勉強をしていくことという考えをもって、接していくことの大切さを学ぶことができました。また、ガーゲンさんの話や自己内対話が心に残りました。日常の中で「なぜだろう？」と疑問をもって考えたり、立ち止まって考える中でいろいろな気づきができるので、自分と対話することを続けていくことの大切さを改めて感じました。自己内対話していきたいです。また、来週もよろしくお願いいたします。
違った視点からの日本語教育を学ぶことが出来た。
高知県での産業の外国人労働者依存や各政党への日本語教育についてのアンケート等事例に基づいた説明がとてもよかった。
違った視点からの日本語教育を学ぶことが出来た。
気づきが多かった。
・ディスカッション1「日本語社会との接点を作るために」というところで、まず「日本語社会」をどうとらえればわからなかったのも、そこでの議論が進まなかったです。
日本語学習支援と社会関係資本との繋がりが認識できた
日本語学習の必要性を改めて感じ、ボランティアとしてのかかわり方を考えさせられました。
支援者としてのあり方を改めて考え直せた。
外国人の現状を数値として理解できました。
難しい問題を、わかりやすく話されたので理解できた。
外国人及び日本語教育について、現状と問題点の一部が見えて来た感じがしました。
日本の外国人受け入れ、日本語教育支援の現状についての概観を知ることができました。また、グループで、いろいろな地域の支援者の方の生の声を聞くことができました。
分かりやすく解説されていたため
気づきがあったから
なんとなく知っているつもりでいたことの具体的な説明が得られた
共生のため大切なことを教えていただきました。
知らなかったことや知りたかったことを知ることができた
ディスカッションを2回取り入れてくれた事、先生の本当に正直な気持ちだと思はれる事をおっしゃって下さったところ。「もやもやしながら続ける」
日本社会における外国人受け入れの現状及び外国人受け入れの政策や制度の課題について整理できたから
分かり易く、基本的な考え方や情報を得られた。
現状の問題点が具体的で課題が見えたので。
日本語学習支援者の中には、支援の目的を日本語能力の向上、と理解している方が少なからずおられます。本研修会では、支援の目的は多文化共生社会で暮らしてゆくための基本的な手段を身に付けることであることを分かりやすく説明していただいた。
在留外国人の現況を広く教えて頂けた

神吉先生のお話は大学の講義を聞いているようで面白かったです。またグループディスカッションでは、メンバーの方々がすでに第一線で学校や地域で活動されていて、しっかりとした考えや意見を述べられていることに圧倒され、また感心しました。

【アンケート結果 質問2「研修会のわかりやすさについて」】

質問	回答（選択式）
質問2. わかりやすさについて （選択式）	とてもわかりやすかった（26人、43.3％）
	わかりやすかった（27人、45％）
	ふつう（6人、10％）
	すこしわかりにくかった（1人、1.7％）

質問	回答
質問2. 研修会の内容について 「とても分かりやすかった」 「わかりやすかった」「ふつう」 「すこしわかりにくかった」 理由	神吉先生の話し方説明の仕方がとてもわかりやすかったです。
	理解しやすかったです。
	日本語教育についての情報を得られた
	前もって資料が送られていたのでそれを紙に出して講義を聴けたので良かった
	日本語教育能力試験で勉強したことの復習のように感じました。
	話すスピードが聞きやすかったです。
	行政の話、地域の話それぞれ聞いて全体像がつかめました。
	説明と図が一致するのでよくわかった
	知らないこと、日本政府はの方針が分かって良かった
	社会的な視点で考えるのが少し難しかったです
	大きなテーマだったが、説明がとてもわかりやすかった。
	ゆっくり丁寧にお話ししてくださいました。
	講師が事例を出したりして、具体的に話して下さったこと。
	ズーム初心者なのでちょっと緊張したが操作方等丁寧に教えてもらえて安心した。
	在留資格別外国人の推移などが、数字とグラフで説明して頂いたので、すぐ理解できました。
	根拠を示していたり、ゆっくり分かりやすく話されていた。
	具体的な例を使って説明していただいたので、話の内容がイメージしやすかった。
	1の回答と同じです。
	神吉先生のお話は、難しい専門用語ではなく、一般的な市民である私たちがどのような理念で今後活動していったらよいのか、大変分かりやすい方法で提示して下さり、大変良かったです。そして、この問題が、私たちにとって、いかに身近な問題であるかということ、また、同じ住民として「今からでも、何か、すぐに行動できることがあるんだ」という展望も示して下さり、心に迫るものがありました。グループに分かれて、話し合う時間を2つも設けて下さったのも良かったです。話し合いのテーマも、グループの方と内容を膨らませて、話しやすい提示をして下さいました。
	資料がわかりやすく、説明も丁寧だった
	ロジカルな所と観念的な所が混合していて掴みにくかった。
	日本語を教える先輩仲間と有意義な話し合いができました。
	具体的に色々な例をあげながらお話をしてくださったので、話をイメージしやすく理解につながりました。

ゆっくり丁寧に説明して頂けたため
説明内容が理路整然として、心地よく耳に入ってきた。
ゆっくり丁寧に説明して頂けたため。
神吉先生がゆっくり、わかりやすい言葉で話してくださったので、考えながら聞くことができました。 資料もわかりやすかったです。
ゆったりした語りと具体的な説明がよかった
神吉先生の話が分かり易かった。
上記と同じ
説明が具体的で、詳細であった。
とても丁寧な説明をしてくださったので、よく分かりました。
日本語を学習するのは相手との関係を構築する為と知ることが出来たから。
外国籍住民にも多様性があることから、日本語のニーズにも多様性があることが納得できた。
外国人受け入れ状況がよく良く分かりました。
やさしい言葉で説明されたため
特に CEFR の考えを導入する意味 の例がわかりやすかったです。
[移民を認めない]ことが、いろいろな矛盾を生み出している。そこを認めて現実と同じにしない限り、 技能実習生等の問題は根本的に解決しない。 そのためには、「仲間」を広げていかなければならない。 役割分担に応じた行動も大事。そのための制度を整えることが急務。 CEFRを知った。
ディスカッションのテーマが、今まで自分の課題として考えてこなかった内容だったので、あまり深まら なかった。
上記の理由
先生のお話が分かりやすかった。スピード、情報量、語彙がわかりやすかった。
事前に配布頂いた資料が充実していて講義を理解し易かった
私自身が全くの初心者ですので、漠然としていた日本社会における外国人の方々の状況を改めて 認識出来ました。

【アンケート結果 質問3「今日の研修で気づいたこと、感じたこと」について】

質問	回答
質問3. 今日の研修で気づいたこと、感じたことについて	ボランティアで活躍されている方が大勢いらっしゃることをしました。また日本がもう選ばれない現実について考えるきっかけとなりました。
	もやもやしながらでもやり続けることで自分を成長させることができるという言葉に勇気をもらいました。
	ブレイクアウトルームでの話し合いがなかなかスムーズにできなかったのが残念
	多文化共生の大切さ
	ディスカッションは難しい
	地域の日本語教室として、上からではなく、外国人が生きていきやすい場所を作る
	自分はやはり多文化共生の実現に携わりたいと再確認できた。
	対話という言葉の意味が分かった
	外国人受け入れ状況の様子
	学習者さんへの対応を考え直しました
	一括りに外国人と言っても様々な形態があること、また政府の建前上も非常に多いこと。
	外国人が急速に増加する。自分のしていることが地域のためという意識はなかった。
	地域の日本語ボランティアと政治的なことが密接につながっていると感じた。
	自分は教える側で学習者に接していたが、対話と言うことを実践してみようと思った。
	たくさんの参加者がおり、みなさん熱い思いをお持ちだと感じた。
	外国人の方に依存している業種が多いと感じました
	ボランティアを長くされている方の気づき（20年後のディスカッション）は、一緒だなと思った。
	日本語を教えるではなく、日本語で対話する、安心した日本での居場所をつくる等
	地域では、在留者の方が日本語ができなくても社会の一員として社会参加することが大事なのではないのかなと感じた。
	対話ややりとりの仕方によって、人との関係性や結びつきはいくらでも変えていくことができると感じました。
	自分としてはzoomに慣れる事が第一番
	日本語教育の前に、外国人が日本で住みたい、働きたい、勉強したいと思える環境づくりを構築していくことが急務だと感じました。多文化共生社会とよく耳にするようになったものの、現実はまだまだだと思いました。
	日本語力とは、レベルの話ではなく、社会、人と関わっていくための力
	コミュニケーションが大事だということ
	サイドドアのリスク
	地域によっては既に外国人労働者抜きには立ち回れないことがよく分かった。
	「人を社会的存在としてみる」について理解が深まりました。
	人と人との関係を作っていくことが大切。言葉だけを見ないで人や社会背景を見なければならないと思いました。
	人を社会の一員としてみていく。対等にかかわる。
	言葉を使つてのやり取りは人と人との関係づくりに必要。
	言葉は人を社会に位置付けるという役割がある。
	相手をどのような位置に捉えているか捉えようとするかで、話し方がかわる。
	地域の産業が外国籍人無しには成り立たなくなる時期が迫っている実感がなかった。
	言葉を使つてのやり取りは人と人との関係づくりに必要、言葉は人を社会に位置付けるという役割がある、相手をどのような位置に捉えているか捉えようとするかで、話し方がかわる等といったこと。
	・地域の外国人日本語学習支援は、「日本語を教える」ことだけではなく対話を通して「日本語社会」への接点をつくらうとすることも（どちらかというと、こちらの方が）大切なのだと感じました。
	・「多文化共生は、みんないっしょにわいわい楽しい」を想像するとわくわくします。そういう地域を目指したいです。

・ディスカッションの一番初めは、どうしても自己紹介から始めるので、もう少し時間を長くっていただき たかったです。
日本語学習支援が対話を通して人間関係を形成すること
外国人の問題を考えることは地域の問題や未来像を考えることにつながる
日本語学習の重要性と共に それぞれひとりひとりの人としてかわり合いたい。
対話とは人を対等に扱うこと。
かわっている外国人の背景をもっと知りたいと思いました。
論点が整理されている講座で使われた資料を頂ければうれしい。
外国人の中でも技能実習生が急激に増えている。色々な形、目的で来日されている。
・考えていた以上に日本は「サイドドアによる受け入れ」の外国人に依存している。しかし、「サイドドア」で 受け入れた外国人は結局母国に帰ってしまう存在なので、長期的に見たときに日本社会を担う存在にはなり得 ない、それでは理想的な20年後は望めないと感じた。 ・実際に支援をされている方によると、研修生やインターンとして来日している方には、帰国前にJLPTのN3、N2 を取得したいので教えてほしいと言われることが多いということだった。そのニーズとボランティアによる日本語支援と いう形態にギャップを感じた。
何気なくしている会話にこんなに重要な意味があったのかと、教えていただくとなるほどと思うことを意識 することができました。
これまで経験したボランティア日本語教室で「言葉を教える」モードになっていたかもしれない。
行政としては、学習者と支援者との対話機会を作ることは必要です。
受け入れ側の意識改革も必要であるということ
日本語という文字だけを教えるのではなく、その時の状況の応じて 理解出来るようになる事が大切だと再認識しました。
「外国人」の問題は、「日本人」の問題である。（労働人口の減少や少子高齢化、産業の衰退など、 外国人なしでは解決しない）
対等な立場で日本語会話ができているかをセルフチェックしながら活動していきたい。
サイドドアの滞在者が大変多くなっていること
全く初対面の人とディスカッション出カッションで驚いた。
「多文化共生」という言葉にうさんくさいものを感じていましたが、もともと「共生」は生物学の用語だと いうことを思い出しました。 多様な生物の複雑な絡み合いで生きていけるわたしたち人類、20年後は温暖化によって、どうなっているか わからない。人類が、互いの利害を理解し合い、調整し合っ、生態系を守っていくことは、とても大変なこと です。国と国との関係、国際政治は大きすぎて、絶望的な気分になりますが、人間の社会、わたしたちの周りの 「共生」から試みてみればいいのかと思いました。
対話が大事だということ、立場を同等にして教える側学ぶ側を意識させないこと。
設問1で述べましたように、日本語学習では共生社会で生活するための処方について、共に考える ことの必要性を再確認しました。
日本語学習支援の意義を改めて感じさせられた
外国人受け入れに関しては様々な問題があると思いますが（一部の医療保険や生活保護目的の 方々がいるのも事実）、やはり外国の方々にも一緒に日本社会を担って頂かないといけない状況であると感じ ました。

【アンケート結果 質問4「よくわからなかったこと、疑問に思ったこと」について】

質問	回答
質問4. よくわからなかったこと、 疑問に思ったこと	私の質問に対する回答が（ボランティアにたよっていいのか）ありがたかったですが、具体的にどうすればいいのかももう少し話をお聞きたかったです。
	今後の移民政策
	CEFRを意識した方が良いのか？
	どうやって、CEFRのBレベルにする？地域のボランティアと仕事としての日本語教師とのすみわけ。教える対象は違うのでしょうか。
	自治体に必要性を気付かせるためのそのプロセスや実施例があれば知りたい。
	どれだけの人が声を上げれば政府に考えをただすことはできるのか。
	りゅうがくせいいうがくせいが中国、韓国に流れていること
	特にありません
	特にありません。
	各省の捉え方や法律の違いをもっと知り、どのような問題が起きているか具体的に勉強していきたい。
	実際にどのようなことをしていくことがよいのか疑問に思った。
	昔の教え方とは違ってきている、では自分はどう変わればいいのかということ。
	CEFRと日本語能力試験のレベルはどのように対応していますか。
	20年後の理想的な地域社会のイメージがわかりませんでした
	なぜ、外国人排斥の声が大きく感じるのだろうか？こんなに在住外国人に優しい人が多いのに、、、
	移民を受け入れる国にするために、具体的に私たち地域の支援者はどのような活動をしていけばよいのか。
	日本政府はなぜ移民に消極的なのか
	特にありません。
	特にありません。
	外国人受け入れ政策の流れで特定技能による労働者の受け入れについてわからなかった知識不足なのですが、技能実習で来られている本来の目的は何なのか、少しわかりません
	政府はなぜ、移民の受け入れにこれほど慎重なのか
	日本の近未来は？
	特にありませんでした。
	20年後の理想的な地域社会を想像しながらボランティアをしたことがなかったので、話し合うのはとても難しく意見があまり出なかった。
	特にありません。疑問に思うところまで、私自身、理解ができていないのかもしれません。
	どうすれば上手くアイデンティティを守りながら（コミュニティを作ること）と共生できるのか。
	CEFRのレベルイメージを日本語力に適用した時、できることのデフォルトは理解できるが、ゴール到達のイメージとして、総合判定のレベルは各日本語教室にまかされているのでしょうか？
	アイデンティティを守りながら（コミュニティを作ること）と共生する。対等な関係づくり。
	今日の研修内容では詳しく出てきませんでしたが、疑問に思っていることです。 地域の外国人日本語学習支援は、自主的に支援機関に来る外国人だけを支援すればよいのでしょうか。増え続けている「外国人労働者（特に技能実習生のうち単純労働に就いている人たち）」は忙しすぎて？日本語社会との接点が少ない、そしてその結果、日本について悪いイメージを持ち、帰国するような印象を受けますが（実態はわかりません、、）、それは事業者の責任、或いは本人の責任としてしまうのでしょうか。地域の生活者という意味では永住者（日本人の配偶者）や留学生と一緒に思うのですが、彼らが支援機関に足を運ばない限り支援しなくてよい、ということなのでしょうか。技能実習や特定技能1号の在留資格で滞在する外国人と地域の支援機関との関わりについてどう考えればよいのでしょうか。
	日本「語」社会とは？
	自立した言語使用者であるCEFRのBレベルはどのような学習者の到達目標なのか
	労働ビザ以外で働く人の雇用保険について、必ず加入するもの？
	日本語を教えるボランティアとして活動する中でのかわり方。
	日本語教育については行政にどのように頼るべきか、ボランティアとしてはどのように働きかければいいのか。
	ありません。
	外国人に限らず、地域での繋がりが希薄になってきているのが現状だと思います。
	これから必要とされる日本語教育についてより具体的に知りたいと思いました。
	外国人に対する日本政府の姿勢、日本語教育への具体的な支援方策。

高知等の例を聞き、兵庫県の中の各自治体では外国人に対する考え方、施策はどうなっているのか 知りたいと思った。
成長していく為にもややもやを抱えたままでのことですが、その曖昧さを抱えたまま相手(学習者さん)と 向き合っているのかということ。
永住者と定住者の条件(背景)などの違い。
新しい改革に拒絶反応をする支援者にどう説明したらいいのか
「市民の声が高まることが最も重要で近道」とあるが、具体的に今の自分に何ができるのかわからない。
技能実習生は「実習生」という「学ぶ人」という名をつけられているのに、実際は「労働者」。その矛盾を 国はどう思っているか？
雇用保険の話もあったが、技能実習生などはもらうことはないのに、厚生年金もかけている(かけさせられている)こ と、どう説明するのか？
そのような不利益なことは本人たちは知らない？
ディスカッションのテーマで感じた“もやもや”を今後の研修で少しずつクリアにしていけたらと思う。
・先生もおっしゃっていたが政府が積極的に政策を 実施しないこと
・自分の周辺ではサイドドアの滞在者を見ないこと
「日本語社会」
学習者の語彙力がない段階での対話はかなり難しくその方法。
共生社会実現のための取組や成果は、地域によって大きな差があると感じています。
成果を上げている実施例について、説明頂ければと思います。

【アンケート結果 質問5「本日のあなたにとってのキーワード」について】

質問	回答
質問5. 本日のあなたに とってのキーワード	日本はもう選ばれていかないこと
	「橋渡し」
	日本語講師が共生社会形成のために仲間を増やしていく
	自己内対話
	対話
	多文化共生
	日本語ができれば共生社会ができるのか？
	多文化共生、対話（自己と他者）
	言語の習得ばかりにフォーカスするのではなく、社会的存在の中で、新たな繋がりをつくるような
	「橋渡し型」社会関係資本を構築することが大切。(市民の役割)
	会話のやりとりによって相手に社会的存在を与える
	もやもや
	外国人との交流
	対話が精神的にも社会的にも重要。本当の意味での共生。
	「もやもやする」
	ネガティブな意味合いではなく、今後に繋げるためのポジティブな意味での
	「もやもや」という表現が素敵だなと感じた。
	サイドドアの人たち。言葉は相手を社会的存在として位置付ける。
	“どうしたらいいだろうね”
	もやもやしながらやり続ける。それが成長につながる。
	もやもやしながら、続ける。どうやって仲間を増やしていくか。
	共生とはわいわいがやがや
	問いかけてもやもやしながらやり続ける
	利害の多様性
	もやもやしながら続けてみる。
	自己内対話
	何のための日本語教育か
	20年後の理想的な地域社会
	①対等な地域住民（近所の介護施設でパートしている、子育て中のおばちゃん）としていくこと
	②「もやもやしながら、やりつづける」
	日本語を学ぶ事がゴールではない
	社会的存在
	友達
	多文化共生 橋渡し型
	多文化共生（みんな一緒ににわいわい楽しい）
	自己内対話
	言葉の役割
	みんないっしょにわいわい楽しい。「多文化共生」という言葉はあまり好きではありません。
	言葉の役割
	日本語ができれば共生できる、というわけではない！
	日本語でなく、人、社会を見よう
	橋渡し型の社会関係資本
	人は社会的存在
	Conviviality
	対話。
	変わっていく日本語教育
	外国人との対等な接し方。短期滞在者(特に技能実習生)への福利厚生面等の未整備、支援不足。
	「日本語を教える際には言葉だけを見がちだが、言葉じゃなくて、人を見る必要がある。」
	少しずつ成長する
	人は社会的な存在である。
	対話
	日本語を学ぶことはゴールではない。

人と人として対話する
「人それぞれに目的がある」
外国人も納税者
対等な立場で関係を築く
サイドドア
ひとは、社会的存在である。
共生 CEFR
対話、対等、教えるのではないということ。
「橋渡し」
CFER
多文化共生！身近な外国人の方々とお互いを知り多様な考え方や生き方を認め合う。
一緒に楽しいことを共有できるようにしたい。

【アンケート結果 質問6「次回までの自分の宿題（したいこと、考えたいこと）」について】

質問	回答
質問 6. 次回までの自分の宿題 （したいこと、考えたい こと）	先生の回答について具体的に考えていきたいです。
	対話を試みる
	地域の外国人との共生に向けた活動を調べる
	対話を通しての関係性の構築
	今日学んだことを日本語ボランティアの活動に生かす
	芦屋市の在住外国人数。市の対応状況を調べる。
	コロナ対策をしつつ井戸端会議できるかな
	神戸市ではどんな外国人がいる？もしくは、4の講師と対象外国人について
	自治体の外国人人数や内訳を調べる。
	共感的に認める会話を増やす
	近所に住む外国人の実態
	学習意欲の向上策
	学習者さんへの対応の見直し。共感できているかどうか、など。
	学習者が初級なのか中級なのか、と考えるのではなく、どの技能が得意で、どういう生活をしていて、どの技能を伸ばしていきたいかを学習者さんと一緒に考えていきたい。
	今日からの学習者さんの背景を知る。
	ACAで学習している人たちがどんな方々なのかを確認する。
	自分のクラスのなかで、対話を増やす。
	市民としてできることは何か
	地域の方が在住外国人に対して、Convivialityな気持ちになれることってどんな'場'か
	地元の市町村の在留外国人を調べてみる。
	学習者との対話の仕方を変えてみる。
	なで日本語を学びたいか
	技能実習生について調べる
	「日本語教師」として日本語を教えるのをやめる
	ボランティア教室の目標、どうしていきたいのか？聞いてくる
	日本語教室で、日本語を教えるだけでなく、学習者の日本での生活の実態など聞いてみたい
	これから考えます。
	神吉先生の講話を再度思い出し、復習を心掛けたいと思います。
	ボランティア活動のあと、自己内対話をする。
	日本語を教えるボランティアなどの経験が全くないので、自分の住んでいる地域にどんな教室があるのかなど調べてみたいと思います。
	神戸市の外国人数などについて。もしくは対話の仕方により相手の反応について。
	中国残留帰国者でUNITY日本語教室（神戸 学園都市）に通っている人が、1週間で教室以外で日本語を使う時間数を調べてみる。（帰国高齢者が教室以外の「社会」と接点をつくれるか？）
	神戸市の外国人数などについて。もしくは対話の仕方により相手の反応について。
	自分の市にはどんな外国人がいるのか？
	今自分が所属している日本語教室の通っている外国人に、何を目的に日本語教室に来ているのか聞く（といっても、次回までに会えるのは二人だけなのですが）
	共生社会での共通言語とは何か
	日本語教室では対話型をしてるか
	地域の日本語支援活動のあり方について。
	自己内対話をする。
	CEFRについてもっと深く理解していくこと。
	地元(加東市)在住の外国人の日本語学習者人数の把握。学習し易い環境づくり。
	EDASの日本語教育政策に関する政党アンケート調査結果に目を通す。兵庫県の外国人に対する施策について資料を探して読む。
	自分がどんなことにもやもやを抱えているかを意識する。
	今度のボランティア日本語教室で「対話」を心がけてみる。
	日本語ボランティアとの定期的な交流

過去のやり方を後生大事に信じて守り実行している同じボランティア仲間と改革を嫌い現状維持 或いは後退希望の行政に少しでも今日の内容を理解してもらい、受け入れてもらえるよう話してみる。 ボランティアで接している外国人の人々に、自分が人と人として対話できているか常に意識しながら接する。
自分の住んでいる地域に外国の人たちと交流する場があるのかを調べてみる。
仲間づくりについて考えたい
私が在住している朝来市にはどんな外国人が何名ぐらいいらっしゃるのか知りたい。
周辺地域にどのような外国人在住者がいるのかを調べる
在住外国人の国籍の変化
本日聞いた講義内容、ブレイクアウトで話し合ったこと、自分の中に落とし込んでおきたいが、 多すぎて取っ散らかってしまっているので、メモをきちんとノートに清書する。
どんなレベルの人にどんな言葉かけができるのかまた、どのように広げていけるのかを考えること
多文化共生について学習者と話し合う（これは折に触れて取り上げるつもりです）
私個人はまだ日本語ボランティア講師認定講座を修了したばかりで今回の研修から沢山学んで、 今後のライフワークの一部としての地域ボランティア活動に結び付けていきたいと思っています。

令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」 2日目 アンケート結果

【研修概要】

- 名称 : 令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」
「やさしい日本語」を使ったコミュニケーションの創造～「対話」
につながる伝える力～
- 講師 : 安田 乙世氏
(NPO法人おおさかこども多文化センター理事、
日本語教育支援グループことのは副理事長)
- 日時 : 2021年11月17日(水) 18:00~20:30
- 場所 : Zoom オンラインミーティングにて開催
- 参加人数 : ①受講者78名 ※申込89名に対し87.6%の参加
②HIA6名参加
- 回答数 : 51名 (65.4%)

【アンケート結果 質問1「研修会の内容について」】

質問	回答（選択式）
質問1. 内容について	とてもよかった（31人、60.8％）
	よかった（20人、39.2％）

質問	回答
質問1. 研修会の内容について 「とてもよかった」 「よかった」理由	わかりやすかった
	聞きやすく、中身も豊富でした。
	参照URLを教えて頂き、「やさしい日本語」についての理解を深められる。
	具体例が多く、理解しやすかったです。
	やさしい日本語に翻訳することを心がける
	講師の先生の話の内容がとても分かり易かった。
	もう少し、傾聴と対話部分の内容をじっくり聞いてみたかったです。
	日頃からやさしくわかりやすく話すようにしているが、気付いていないポイントを知ることができた。
	傾聴という言葉を軽く考えていた
	具体的に今からやるべきことを提示してくださいました。
	やさしい日本語について、とても詳しく楽しく教えていただけたから。
	ブレイクアウトの方達が毎回いい方
	説明が上手かった
	実際に話す書く、両方のやさしい日本語を実践できたから。
	やさしい日本語の大切さがわかりました
	日頃学習者にわかりやすいやさしい日本語で伝えるのがなかなか身につかないと感じていたのが系統立てて試みるチャンスとなりました。
	「やさしい日本語」については日本語教育養成講座で既に習っていた事柄でしたが、改めて、整理して理解できたので良かったです。
	やさしい日本語の概念はよくわかりましたが、具体例にもっと時間をかけてほしかったです。
	役に立つ情報がたくさんあったことと分かりやすかったこと。
	やさしい日本語について、とてもよくわかりました。これからの支援活動に役立てていきたいと思います。
	やさしい日本語について知識を深めることができたため。
	ボランティアとして活動する中で役所や病院で日本語から日本語へ通訳をする場面が多く、どうしてかと疑問に思うことも多くあったのですが、改めて「やさしい日本語」の大切さと意味がわかりました。
	たくさん具体例を出していただいたところがわかりやすかったです。
	紹介して下さったサイトは、どれも興味深く早速見ていきたいと思いました。
	いろいろな情報を得ることが出来たことが良かった。
	「やさしい日本語」の大切さを再確認できました。具体的な留意点も教えていただきとても勉強になりました。
	ボランティアになる前の講座では、あまり時間をかけてなかったのも。
	新しいコミュニケーションの形として、副言語支援などについて理解が深まりました。
	内容が広範囲で例文を挙げてもらって、よく理解しやすかった。
	理論的な裏づけと共に実践的でよくわかりました。
	やさしい日本語でいざ話そうとすると、意外と難しいことに気づきました。でも、やさしい日本語で話そうと意識し、話していくことで話せるようになっていくという話を伺い、今後意識していきたいなと思いました。また、「やさしいせかい」日本語ラップというものは初めて知りました。歌詞が心に響くものがありました。紹介していただけて良かったです。
	やさしい日本語のコツを具体的に知ることができた
	やさしい日本語の重要性について、改めて考えることができた。

日本語学習支援・やさしい日本語について、大切なキーワードが多く学べた。
日本語ボランティアを始めて日が浅いです。「日本人らしい」自然な話し方を伝えるのがよいと思っていましたが、段階として「やさしい日本語」が必要なのがありました。
日本語を外国語として捉えること、日本語とやさしい日本語が複言語として対話による多文化共生を促進することなどがよくわかった。
やさしい日本語を使うにあたっての心構えを知ることが出来たから
新しい気づきがあった
やさしい日本語についての説明が良かったです。
やさしい日本語を使う際、気を付ける事を具体的に教えて頂いた。
やさしい日本語について初めて聞いたがよくわかった。
学習者に伝わる日本語、シンプル ということ

【アンケート結果 質問2「研修会のわかりやすさについて」】

質問	回答（選択式）
質問2. わかりやすさについて （選択式）	とてもわかりやすかった（29人、56.9％）
	わかりやすかった（21人、41.2％）
	ふつう（1人、2％）

質問	回答
質問2. 研修会の内容について 「とても分かりやすかった」 「わかりやすかった」「ふつう」 理由	明確でした
	話し方も聞きやすく、具体例が多かったです
	今回オンラインミーティング初めてで、戸惑うことも多かったが、概ね理解できた。
	研修会の進め方が良かった。
	資料を前もっていただけたのありがたい。
	実例を交えながらの説明で分かりやすかった
	イラストや例文がわかりやすく書かれていました。
	対面であれば、練習問題ができて、具体的にもっとよくわかったと思います。
	先生が関西弁になった瞬間から親しみを感じわかりやすくなった。
	同上
	参加型の研修だったので、とても興味を持って話を聴くできた
	映像や問題を解いたりすることで、よりよく理解できました。
	送っていただいたレジュメと、先生のパワーポイントが異なっていて、メモを取りづらかったです。 メモをしたら、レジュメに書いてあったり...
	レジュメがとても見やすわかりやすかった。
	やさしい日本語を意識して話したり、通常の文章をやさしい日本語に言い換えるなど、意外と難しいものだと感じることができました。
	すいません、資料をじっくり拝読する時間が取れなかったためだと思います。
	共有資料もわかりやすく 日本人が当たり前を感じる言い方や表現に 「やさしい日本語」のアンテナを持つことがまず大事だとわかりました。
	直接質問に答える場面があり、他の人と同じようなところで迷ったりしている所が、今日の課題の部分だと理解できました。
	具体的な内容が沢山あったことが良かったです。
	対話についての注意をととても具体的に話してもらえたので
	傾聴と対話の中で、FELORへの新たな認識を得るとともに、「具体的に言い換える」事例が大変役立ちました。
	「やさしい日本語」については何度か聞いたことがあるので、より理解が深められた。
	上記と同じ
	日本語を外国語として客観的にとらえること、困り感を想像することの大切さを学びました。
	ワークとして3つ、実際に「やさしい日本語」に直してみたのはわかりやすかったです。
	資料や話すテンポもわかりやすかった
	「やさしい日本語」の具体例が挙げられたから
	日本語学習支援の実践の中でとても参考となる内容だった。
	実例が多かった。言葉を「ツール」としてみるという考えに納得できた。
	具体例が多く、参考になった。
	先生の説明、話し方がわかりやすかったから
	事前資料を読んでわかりにくかったところが詳しく聞けた
	事例の説明があって、わかりやすかったです。
	練習問題でより理解できた。
	ポイントをおさえた講義内容。
	先生の学習者へ余裕ある時間の配慮

【アンケート結果 質問3「今日の研修で気づいたこと、感じたこと」について】

質問	回答
質問3. 今日の研修で気づいたこと、感じたこと	やさしい日本語へのアンテナをはることの大切さ、結構実践できているかも。日本語を一つの外国語としてみる。
	やさしい日本語の大切さ
	「やさしい」は優しい？ 易しい？ ユニバーサルってことかな。
	「場数を踏む」ことに挑戦します。
	やさしい日本語を使用することが社会にとって重要であること。
	やさしい日本語に置き換えて話すことの大切さを感じました。
	やさしい日本語の使える場面が多いこと。
	「やさしい日本語」に慣れてしまっており、最近では、これで良いのか？とあまり突き詰めることをしていないと感じた。
	やはり、常にブラッシュアップするのが大切。
	普段、オノマトペをよく使っている。
	理解的態度で聴く、そんなことを考えながらしていたかなと振り返れた
	話し方、書き方に気をつけているようでも出来ていない自分を反省しました。
	やさし日本語にするには 発想の転換が必要！
	1分普通に話すであつという間、3分やさしい日本語で話すとなかなか時間がたたない
	やさしい日本語は、書き言葉でも応用できることに気づいた
	やさしい日本語を話す為には、考えて話すという事に改めて気づきました
	外国人の為の日本語が必要
	傾聴の態度が必要。
	日本語が上手に見える外国人でも、漢字がわからなかったり、聞くことが難しかったりすることがあること。
	やさしい日本語で伝えることが必要だとわかりました。
	学習者の「困り感」という捉え方
	短い文で、内容を吟味して伝えることの大切さ。特に緊急時など。
	曖昧・婉曲・謙遜表現を、学習者もやがては理解しないといけない。
	「やさしい日本語」は、日本語支援が必要な方々を行政、学校、地域日本語教室、コミュニティとつなげていくためのツール
	自分では気をつけているつもりでも、まだまだ話している文が長かったり、オノマトペやフィラーが多いなあ、と反省です。
	「やさしい日本語」を使いこなすのはとても難しいです。これから勉強して場数を踏まなければいけないと思いました。
	自分の日本語を客観的にとらえると、学習者にとって難しい言葉や文型がたくさんあることに気がきました。
	やさしい日本語を話すには、その場で内容をやさしく言い換えるだけではなく、情報も必要。
	やさしい日本語を使いこなすには、とにかく場数を踏むこと。
	「やさしい日本語」の大切さとそこに向けてのアンテナをはること。
	私達が、わかりやすく言っているつもりでも、理解不可能なことがたくさんあり もっと注意してアンテナをはろうと思いました。
	どうしても自分はいつも評価的態度になってしまっていると改めて感じました。
	実際の活動で、自分では気を付けて話しているつもりでしたが、「やさしい日本語」への取り組みが十分でなかったと気づきました。「日頃私たちが使っている日本語」から「やさしい日本語」への翻訳は意識と訓練が必要なので、毎日の生活の中で少しずつ練習していこうと思いました。
	自分ではやさしくしていると思っていましたが、自分のパターンができているなど、もっと柔軟に考えなければと思いました。
	学習者が日本語だけでは理解が難しい場合、無料アプリの利用や第二外国語によってコミュニケーションを取っていたことを肯定的にとらえることができ、納得とともに安心しました。「具体的に言い換える」難しさや、寄り添い型の支援について再認識しました。
	今まであまり使って来なかったけれど、やはりその必要性を感じた。
	やさしい日本語に正解はない。経験を積むことによって上手くなるということ。
	想像すること、創造することの大切さ

①「やさしい日本語」を使えば、初級終了レベルの外国人でも理解率90%だったという実験結果は新鮮でした。
②「やさしい日本語」は日本語母語話者にとっても理解しやすい、というのは、子ども、高齢者、学習障害など何らかの支援を必要とする人たちに限らないのでは？と感じました。③多文化社会が共生していく中では、言葉（ここでは日本語）は「要するに何が言いたいのか？」速く正しく相手に伝え、スムーズなコミュニケーションをとるための手段になることが大切だと感じました。
わかりやすく話そうと思っていながら、説明が難しく、ややこしく、益々深みにはまって、わかりにくくなっていたと気付いた。
「やさしい日本語」を使おうという意識をもって、場数を踏むことで使えるようになる
やさしい日本語を日常から意識して使うことの重要性何よくわかった。
自分が外国で暮らすと想像して「日本語」を考え直す必要性。言葉をツールとみること。
やさしい日本語は災害時や平時を問わずコミュニケーションや情報の伝達手段としてたいへん有効である。
やさしい日本語を使つての自己紹介では、意識するほど言葉が出てきませんでした。「場数を踏んで慣れる」。学習者さんと接する時は意識して活用しようと思いました。
3分で自己紹介は長い。とりわけ「やさしいにほんご」で話すのは。 おまけにオンラインでというのはしんどいです。 しかし、3分間一方的に話すような状況はあまりないと思う。 こちらが話していることが通じているかどうか、表情や態度、受け答えなどから推察することも傾聴の一部かも知れない。互いのやりとりがあつての「やさしいにほんご」だと思う。
日本語の何が難しいか？に注目して考えるべき
日本語をやさしい日本語に言い換えるとコミュニケーションがとりやすくなるのと。
やさしい日本語には、普段の会話をかなりそぎ落とすことが必要だと感じた。
日本語の難しさを痛感。
簡潔でシンプルに伝える
いかに外国人にわかる日本語で接するか

【アンケート結果 質問4「よくわからなかったこと、疑問に思ったこと」について】

質問	回答
質問4. よくわからなかったこと、 疑問に思ったこと	どうやって日本人の中へやさしい日本語が広がるか。
	特にありません。
	特にありません。よくわかりました。
	インプットからアウトプットへの移行方法
	特にありません。
	なし
	いつも手書きの資料で教えているが、pcで作る方が字のクセがなくて分かりやすいか。
	特にありませんが、お父さんお母さんが、パパ、ママには驚きました。
	他の国にはやさしい日本語のようなものはあるのかどうか
	特にありません
	地域の日本語教室が最先端の基地とありますが、在日外国人は日本語教室をどのように知るのでしょうか。また、日本語教室はボランティアの方が担っているかと思いますが、今後もこのような傾向が続くのでしょうか。有料で日本語を教える機関とのすみわけ等知りたいです。
	一般の日本人には、やさしい日本語への心理的抵抗があるのだろうと思った。
	関わらせて頂いている国際交流協会の入会申込書、日本語教室の申込書、コロナ感染対策説明書が3枚もあって難しく、「やさしい日本語」に改善した方がいいと思っているのですが、ボランティアの立場でどのように関わっていけるのか、疑問に思いました。
	教室で、やさしい日本語に慣れすぎて、外の世界に馴染むのが遅くならないか、逆に外の世界に触れるのが恐くならないか？
	実際、店員さんに質問できても答がわからないのがこわくて、買いたいものが買えない、という学習者が多いです。実社会とのギャップが心配です。
	特にありません。
	やさしい日本語が、学習者にとって、とても重要だということは今回の研修でわかりましたが、そればかりを使っていると、ほかの人(やさしい日本語を使わない日本人)と話す時には、やはり言葉の壁を感じてしまうのでは。。
	やさしい日本語を使つての対話方法。(一方的ではなく)
	やさしい日本語でずっと困ることなく 日本で生活していけるのか。
	授受表現の例題「漱石は 私の今の彼女に プレゼントを くれました。」の説明が難しいです。
	外国人生活者への支援という視点においてやさしい日本語は必要だと思います。でも、彼らが必要とする日本語を習得できるように支援することも大切だと思います。
	生徒さんは元号で話すこと、アジアの人は午後・午前と言わないと伝わらないなど、最初に教える人によるのかな？
	特にありません。
	3の4)「評価的態度」「理解的態度」
	とくにありません。
	方言はわかりにくいと思いますが、その地域で生活し仕事するなら聞き慣れることも大事だと思い、使わないで教えようとは意識せずにいましたが、やはり使うべきはでないのかどうか。
	「課題3」こつ+αを少しでもやってみたかった
	日本語能力のレベルによる対応の仕方の違い。N1レベルの人にはどうしたらよいか。
	やさしい日本語が、日本語を変換してできるわかりやすい日本語という日本語話者の立場からのみ説明されているのはやや残念。やさしい日本語を複言語主義的に捉えるのであれば、文法・文型や語彙など(中間言語のような)やさしい日本語独特の言語構成があり、それがテキスト化されれば外国人も地域共通言語としてのやさしい日本語を短時間で学習し生活に応用できるのではないかな。
	授受表現を教えるのが難しい。その指導法について知りたいと思いました。
	「やさしいにほんご」と聞いて、外国人が学ぶ初級日本語のことだと早合点する人が、周囲に続出しています。「わかりやすいにほんご」と命名した方が、普及しやすいのかなあ。いやいや「易しい」と「優しい」がかけてある、それがいいのかな。
	ある程度レベルが高い学習者と話す時に意識すべきことは？
	アウトプットの使い方

フットアップの意味

【アンケート結果 質問5「本日のあなたにとってのキーワード」について】

質問	回答
質問5. 本日のあなたに にとってのキーワード	やさしい日本語
	日本人外国人にかかわらず、みんなにとって理解しやすい「みんなの日本語」社会全体で考える。
	受容、理解的態度
	言い換え能力
	ばかりを踏む
	FELORで聴こう ユニバーサルデザイン（フォント） 「きいてまねしてはなして」
	傾聴に必要な要素（FELOR）
	傾聴（十四の心を持って聴く）
	場数を増やす。
	やさしい日本語で異文化交流
	フォント「ユニバーサルデザイン」
	受容と傾聴
	アンテナをたてる
	やさしい日本語を使えるようになるには 場数を踏むこと！
	傾聴に必要な要素 Face, Eye contact, listen, open, relax
	傾聴
	F E L O R 傾聴
	はさみ
	コミュニケーションの2つのそうぞう
	FELOR、自己内対話、評価的態度をとらない
	副言語主義
	ユニバーサルデザイン（フォント）
	日本語を自分も外国語として捉えること。
	文化翻訳
	傾聴の態度は「評価的態度」ではなく、「理解的態度」
	日本語を日本語に翻訳
	イマジネーション
	傾聴 ・ 日本語を外国語として客観的にとらえる
	場数を踏む
	傾聴と対話と笑顔
	場数を踏んでアンテナをはろう
	やさしい日本語
	日本語という外国語
	lean
	副言語 言語資源
	日本語から日本語へ翻訳する時の方法。1.学習者のレベルに合った内容。 2.答えは1つではない。3.学習者の母語翻訳も付け加える。
	多言語主義
	学習者の困り感を知る、創造する、やさしい日本語
	「やさしい日本語」を使用する時の姿勢――傾聴」「対話」
	やさしい日本語への翻訳
	理解的態度で傾聴することが、前回の対等な立場で関係を築くことにつながる
	やさしい日本語は日本語学習支援のかなめ
	やさしい日本語
	やさしい日本語、外国語としての日本語、複言語、FELOR
	FELOR
	「やさしいほんご」と「対話力」
	"日本語らしさ"

	傾聴と対話
	評価的態度にならない
	やさしい日本語
	簡単な日本語
	シンプルな日本語と曖昧な表現は使わない

【アンケート結果 質問6「次回までの自分の宿題（したいこと、考えたいこと）」について】

質問	回答
質問6. 次回までの自分の宿題 （したいこと、考えたい こと）	やさしい日本語に対してどのような取り組みがあるのか。
	やさしい日本語を意識して使う
	言いたいことの単純化
	紹介していただいた動画をみて練習する。
	「きいてまねてはなして」と「わたしのほんご」を視聴する
	・日本語から日本語への翻訳
	・やさしい日本語への言い換えを意識する
	やさしい日本語に翻訳して話す取組
	やさしい日本語を使う場数を多くする。
	自分の使う「やさしい日本語」を意識して、丁寧に試してみる
	漢語は分かりにくいので、大和言葉への言い換え例を集める。
	学習者とコロナについて話す
	やさしい日本語の練習
	教室で学習者にやさしい日本語をできるだけ使ってみること。
	やさしいドイツ語という観念があったかどうか確認
	いますんでいるところで、やさしい日本語がどれだけつかわれているか、さがしてみる
	補足資料 きいて まねて はなして を視聴し実際にやさしい日本語で対話する
	後でレポートします
	「聞いて、真似して、話して」のテキストの内容を確認して、今後に生かしたい。
	日本にいる外国人が困ること。困ったときにどうするかについて調べたいです。
	参考資料を見してみる
	補足資料を数点みて考えます。
	外国人が誤解する曖昧・婉曲・謙遜表現を調べる。
	自分が日頃、使っている日本語がどんな日本語なのか注意してみる。
	複文を使わない。
	「待つ」
	「やさしい日本語」に関しての役立つサイトやアプリを教えていただいたので、見て勉強する。
	安田先生のレジュメに記載されていたWebを開覧してみる。
	可能であれば、自身のボランティア活動に取り入れてみる。
	「聞いてまねて話して」の教材を見る。機会があれば使ってみる。
	市からの案内のパンフレットや海外の人向けのホームページなどはどれくらいやさしい日本語で書かれているかを調べる。
	普段何気なく読んだり使ったりしている文章を、「やさしい日本語」に変えてみる。
	資料内にあった課題をやってみる。
	実際の活動が今週もあるので、その際に「やさしい日本語」を使いたいと思います。
	たくさん教えて頂いた「やさしい日本語」に関するサイトを見て、どのように取り組まれているのかを勉強したいと思いま
	す。
	問投詞を言わないで話せるか
	with コロナによる寄り添い型の支援やギャップの解消について考えたいと思います。
	やさしい日本語への翻訳についてアンテナをたてて気を配ること。
	『きいてまねてはなして』に目を通す。
	やさしい日本語の問題をする
	「やさしい日本語」のワーク
	難しく書いている日本語を見つけて、やさしい日本語に直してみる。
	「課題3」こつ+α をやってみる
	次回のボランティア日本語教室で「やさしい日本語」を実践してみる。
	対話の学習は場面シラバスに基づく会話練習によいと思える。文法や文型の学習をどのように行うか。
	やさしい日本語をFELORの雰囲気ですべて試してみる。
	役所の市民向けのパンフレットに見られる、わかりやすさへの工夫と、問題点について、考えてみます。
	積極的傾聴をする。理解的態度で接する。待ちながら聞く。
	研修で学んだことを実際にやってみたい。
	「やさしい日本語にするには？」と、普段から「自己対話」を心がける
	紹介してもらった役立つサイトを確認したい
	学習者へ簡単な言葉を使い、曖昧な表現はやめる、

学習者へのシンプルな日本語をどう使うか

【アンケート結果 質問7「前回（第1回、11月17日水曜日）の自分の宿題をしてみて思ったこと、感じたこと」について】

質問	回答
質問7. 前回の自分の宿題をしてみ て思ったこと、感じた こと	学習者さんに寄り添う気持ち増えた
	勉強になった
	自分の町の多文化共生関係の活動を調べた。少しずつ活動が増えていることがわかった。
	芦屋国際交流協会の『やさしい日本語勉強会』に参加 （「広報あしや」の外国人に必要な記事をやさしい日本語に言い換え、 情報誌として配布する活動）
	一回目受講しませんでした。
	自己内対話が大切だと思いますが、なかなか難しい。
	・交流の場を持つこと・自身の活動場所の近くではなく、日本語を学びに来ている外国人の方が住んでいる所にある公民館とか でイベントをすると、地域の友人ができるチャンスになるかも。
	教室でリサーチするつもりが、休みになったのでできなかった。
	共感的に認める会話をすることだったが、だんだんとこちら主導になってしまった。
	日本特有だと思っていた文化も外国人によって支えられていること。
	教室外の活動を取り入れて、普段話さないことを学習者と対話してみたら、距離が縮まった気がしました。
	増加永住者は日系ブラジル人とその家族
	対話型はあるけどできなと思う
	改めて、日本語教室の目的聞いて、対話をしながら、学習者にとっては先生だけど 相談とか、日常の会話ができる様にコミュニケーションをとっていきたいと感じました
	皆さんと同じ意見でした
	学習者に対等の立場で支援しようと思いましたが、N1受験の指導をしていることもあり、相手の希望は聴いていますが、 どうしても私主導になりうまくいきませんでした。対等の立ち位置に立つというのはなかなか難しいと感じました。
	兵庫県は、特別永住者が最も多く、次に永住者、留学生の順。日本語学習の必要性は人によって異なる。
	日本語学習者が日本語を学ぶ場所は、日本語学校、大学、国際交流機関、NPO、地方公共団体、 教育委員会等がある。おもに留学生を除いては、地域のボランティアの方が教えている場合が多いという状況がわかりました。
	町の文化協会に、「優しい日本語で話そう」の会を入会したいと問い合わせた。
	前回は残念ながら参加できませんでした。
	「日本語教師」ではなく、「近所のおばさん」として学習者の方と関わることを意識し、教科書ではなく、地域に必要な技能 （交通情報、新幹線の乗り方、チケットを買うとき、道を聞くときの会話練習、アプリの使い方練習）を行ってみました。
	これでいいのかなというところと疑問に思う事はたくさんありましたが、新しいことにチャレンジできて良かったです。
	学習者のニーズに合ったサポートをする、 ですが、それを試すのは明日です。
	学習（文法や文型）を望んでいる学習者も多いので、バランスを取る工夫が必要だと、思っています。
	ボランティアでZoomを使い支援者と話をした後、本当に内容はこれで良かったのかと考えてみました。
	表情は見えるけど間がつかみにく、先に質問などをしてしまうなど反省点が見えてきました。
	技能実習生の入国があまり進んでいないため、現状把握はあまりできませんでしたが、少しずつ緩和されつつあるので、 一日も早く入国が進み、日本語学習ができることを期待しています。
	神戸市東灘区の外国人の国籍や滞在理由を調べました。外国人の国籍（ベトナム、ネパールの方が増えている）や 滞在理由（特別永住者から、定住者へと）などに変化がみられるといったことを知った。
	ボランティアとしての支援について悩みながら考えてみても 結局は今の自分の求められていることをしていく感じです。
	私が学習支援した方に日本での今後の生活についてどうしていきたいというものはありますか？という内容のことを 聞いてみましたが、質問が答えにくい事だったと反省しました。やはり難しいと思いました。
	母語で会話している二人の中に、マスクして距離をとりつつ入るのは無理でした。
	多文化共生や対話ができる支援者等などについて大変理解が深まりました。
	在住外国人で日本語を交流協会で受けている人は大変少なく感じた。
	もっと受講し易い環境作りが大切だと思った。
	時間が必要ですが、汎用性があるのでおもしろい。
	子どもの分野の日本語教室を調べました。
	日本語を教えるだけではなく、学習者の居場所づくりや心のケアも担っている、そういったこともすごく大切なことに気づきました。
	自分の住む市における日本語教育事情・実態を把握することは意外と難しいと感じました。
	前回は欠席していたのでしていません。
	外国人在住者の実態（総数だけでなく、在住資格・年齢構成など）が、正確に把握できないことは問題である
	学習支援をされているボランティアの皆さんの熱意に感謝した。
	ボランティア日本語教室で雑談を試みた。本人の関心のある話題だと対話が成り立ちやすい。
	やさしい日本語は地域共生社会での共通言語として十分な役割を果たすことができる。
	限られた支援時間の中で、あれもこれもと思うと焦るばかりで空回りし、モヤモヤしています。そこに気づけたけれど、 このギャップをどう埋めるか、わからないままです。

令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」 3日目 アンケート結果

【研修概要】

名称 : 令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」
対話活動で伸びる・伸ばすコミュニケーション力～なぜ対話型？
文型学習はどうする？～

講師 : 澤田 幸子氏
(合同会社おおぞら日本語サポート)

日時 : 2021年12月8日(水) 18:00~20:30

場所 : Zoom オンラインミーティングにて開催

参加人数 : ①受講者79名 ※申込89名に対し88.7%の参加
②HIA6名参加

回答数 : 52名 (65.8%)

【アンケート結果 質問1「研修会の内容について」】

質問	回答（選択式）
質問1. 内容について （選択式）	とてもよかった（31人、59.6％）
	よかった（18人、34.6％）
	ふつう（3人、5.8％）

質問	回答
質問1. 研修会の内容について 「とてもよかった」 「よかった」「ふつう」理由	積み上げ式を広げて対話型にするということが理解できた
	対話活動の方法が具体的でわかりやすかった
	チラシやレシートなど生活に必要なものを利用するのが面白いと思いました。
	実際に使えるノウハウを色々おしえていただいた
	実例をあげての進め方がよくわかった
	理論に裏付けられているので納得できました。
	わかりやすいお話しでした。
	対話型活動と文型学習との考え方、取り入れ方など、具体的な内容でとても良かったです。
	具体的でわかりやすかったです
	澤田先生の話しがとても分かりやすかった
	澤田先生の講習会はいつもわかりやすく好きです。対話型は市民ボランティアとして活用しやすい活動方法だと思うので参考になりました
	モヤモヤがはれたから
	先生のたくさんのエピソードが聞けて参考になりました。
	自分が現在しようとしていた地域のボランティア教室活動（対話を中心にしたもの）は、正しかったんだなと励まになりました。一人で試行錯誤しながらしているので、相談できる人がいればいいのにな、と思っています。
	ベテランの先生のスキルに少し触れることができた気がした。
	具体的な活動例に触れられていたことがよかった。
	対話をする上で気をつけた方がいいことがよくわかった。ついつい、教えるということに力が入りがちだが、学習者に何をどのように話してもらうかという事が大切だと気づくことができました。
	従来から行っていた、対話型学習の方法でOKとわかりホッとしました。
	「繋がる活動」について理解できた
	具体的な内容を沢山紹介して頂いたことがとても良かったです。
	実際の教材や教え方の流れを聞けて学習の進め方がわかりました。
	すごく具体的な話で、わかりやすく、対話型活動についてイメージが持てました。
	これまで気付いていなかった問題点が分かった。
	日本語学習を始めたばかりの学習者を教えたことはありません。いつか初学者の方を担当する際に役立つ具体例をたくさんうかがえて良かったです。
	勉強と会話のバランスを考えさせられました
	実体験と具体例を話して頂いてとてもわかりやすかったです。
	ボランティア活動をしていて、日本語教師のような指導ができないと、学習者さんに申し訳なく思うことがあったのですが、今日の先生のお話を聞いて、ボランティアだからこそできる日本語支援があるのだと気づき、気持ちのモヤモヤが、す〜と消えていくようでした。
	日本語支援をするにあたって、とても大切なことを学びました。

疑問に思っていたことを説明頂けたから。

対話型の活動の話を初めて伺ってとても面白かったです。

対話型活動が地域日本語教室に合った活動スタイルであるというお話が聞けて
学校ではない短い時間での活動の中でしっかり準備してスキルを磨いていきたいと思いました。

対話型会話の中で「ちゃんとした日本語が必要か？」の課題について大変理解が深まりました。
文法や表現力が正しいかではなく、相手に気持ちを伝える「たくましい日本語」に認識を新たにしています。

経験にもとづく具体的な活動の進め方を教えてもらえました。

対話型活動について、実践する為の方法がハッキリして、自分への反省すべきことが見えてきた。

普段、実践していたことは、方向性は間違っておらず、少しでも学習者の役に立っていたと、安心できた。

以前から私は学習者さんには、週に1度しかない日本語教室で文法の勉強よりも、
自分の事を他に伝えられることや、楽しい生活を送るためにコミュニケーションがとれるようになってほしいと思っていたので、今日の先生の研修会を受講し、その思いは間違っていなかったと思いました。

具体的な日本語学習方法やボランティアの留意点などがよくわかった。

今、どうしたらよいかと考えていることに沿った内容だった。

多くの実践に基づいたご経験から、対話の活動をすすめていらっしゃる澤田先生のお話、
大変具体的で、勉強になりました。ありがとうございました。

実際の教室での体験談等を交えながらの講義は今後の活動に関して具体的にイメージできて良かった。

先生のお話の中に自分がほしいと思った答えがあったから。

日本語ボランティアの役割が明確に示され、対話型活動の有用性が整理できた。

対面活動の大切さがわかった。

私が支援している日本語教室では、「（多文化共生社会に於ける）日常生活に役立つ」日本語支援を理念としています。ただし支援方法は各支援者の裁量に委ねられているため様々です（支援者間で意見交換を行い、それぞれ参考にはしています）

今回「対話型活動」の意義を明確に示していただいたことで、支援方法について改めて支者間で見直す機会になったと思っています。

【アンケート結果 質問2「研修会のわかりやすさについて」】

質問	回答（選択式）
質問2. わかりやすさについて （選択式）	とてもわかりやすかった（32人、61.5％）
	わかりやすかった（18人、34.6％）
	ふつう（2人、3.8％）

質問	回答
質問2. 研修会の内容について 「とても分かりやすかった」 「わかりやすかった」 「ふつう」理由	実践的な説明が多くありとても参考になった。
	実演があったので
	説明が詳しかった
	先生の体験談を交えたお話が良かったです。
	わかりやすかったことについての理由を書くのは難しいです。
	方法がとても具体的でわかりやすかった。
	具体的にお話し頂きましたので、参考になりました。
	具体的なエピソードなどが多く、とてもよく理解できました。
	具体的でわかりやすかったです
	澤田先生が日頃して指定ラッサーする方法などを教えていただけて参考になった
	実生活に基づいての定着のさせかたを知ることができたから
	先生の分かり易い話し方のおかげ。
	示されていたから示されていたから
	レゾメに沿って進めるのは良いが、もう少し例や体験を多く話してほしかった。
	自分のことを語る など、分かりやすい事例がよかった。
	具体的な内容でしたのでとてもわかりやすかったです。
	実際に経験されたこととお聞きできてよかったです。
	実際の教室でされている対話型活動についての話や事例など聞く中で想像がしやすく、よくわかりました。
	説明がゆっくりで、理解しながら聞けた。
	対話型レッスンをしています。学習者の発話機会を多くしようと思っていますが、実際はどうか疑問です。一度レッスンを録音して聞いてみるのも一つの方法かと思いました。さっそく実行してみます。
	とても体験からの具体的なお話だった
	先生の本音や反省も聞けて良かったです
	実際の会話例や、題材などを提示していただいたことで、自分のこれまでの活動を振り返って考えることができ、今後の活動に役立てるための具体的なイメージがわかりました。
	実践していただいたので良く理解できました。
	資料の活動例（会話）がとても分かりやすかったです。会話の際にどのように聞いて、待って、話を引き出して、ちょっと手助けするという流れが、よい例とあまりよくない例の両方を聞いてよくわかりました。
	言葉の訂正方法について参考になりました。1，2問を簡単なメモに書いて渡すなど早速取り入れたいと思います。
	具体的な活動例が資料としてあったので、理解し易かった。
	活動例や、ワークシートの例、澤田先生の体験談などでわかりやすかった。
	先生のいろいろな体験や、実際につかっていらっしゃる教材で説明していただき、とても分かりやすかったです。
	具体例がわかりやすかった。
	とても具体的な事例、印象に残るエピソードを随所に織り込んでお話しくださったので、それが知識だけでなく、感情というか、気持ちの部分にも響いて、大変分かりやすく、また印象深く心に残りました。
	先生の丁寧な説明によるものと思います。
	理論に裏打ちされた実践例を挙げながら講演がなされたから
	支援の進め方がとても参考になった。

例えば、本研修の中心である「対話型活動の進め方」では、テキストの紹介や運用方法に留まらず、活動例についてもご紹介頂いた。

【アンケート結果 質問3「今日の研修で気づいたこと、感じたこと」について】

質問	回答
質問3. 今日の研修で気づいたこと、感じたこと	日本人同士の対話も基本は同じやな
	教室は出会い、一緒に学ぶ場。横の関係が大切
	対話型の大切さ
	インプットとアウトプットを繰り返すことによって学習者の実力が上がっていく
	待つことの大切さ
	学習者さん訂正用のメモ書きを参考にしたいです。
	お相撲さんが日本語習得が早く上手な理由
	ちゃんとした日本語を考えるきっかけになりました。
	自分はよくきいているつもりだったが、会話の先回りをしていることがあること
	テキストの言葉だけでなく、同じ内容でもいろいろな表現や言葉があることも知ってもらおうということ。
	対話型のレッスンができれば学習者は楽しいだろうなと思いました。
	「個人にかかわること」が心に残る！
	自分の話したい！という想いが学習意欲につながるし、習得を促進するのだと改めて感じました。学習者の「話したい」をうまく引き出して広げていけるような対話型活動を実践したいと思いました。
	多文化共生の役割 楽しく
	最後まで話を聞く話の途中に先をさして話をしない上手な聞き役
	日頃から活動に使えるような資料を気をつけておくことが大切だとあらためて感じた
	文章を書けない学習者さんへの手立てについて
	対話の時、一問一答にならないように気を付けようと思いました。きちんと反応したり
	自分のことも話すのは必要だと感じました。
	日本語を教える人ではなくて、「関心をもって寄り添ってくれる人、分からないことを聞いてくれる人」になりたいなと思われました。
	発話を促す聞き方、話の腰を折らない訂正の仕方という日本語教師の基本スキルの重要性
	トピックの選び方、話の展開の仕方でも学習者に話をさせることが可能になると感じた。
	何となく会話をするのではなく、緻密に計算することが大事だと感じた。
	初級学習者に対しても対話型活動ができるころがわかった。
	教えるではなく、繋がるために対話中心の必要性が大切だと分かった。第1回目のお話をさらに具体的に伺えたと思います。
	忘れてしまっていたことを思い出させていただいた感じがした。どうしても自分ばかり話してしまいがちですが、意識して気を付けていこうと思います。
	地域の日本語教室では、縦の関係ではなく、横の関係で。週1の限られた時間なので、文型を完全に教え込むのではなく、対話を取り入れて気楽にやればよいということ。日本語教室と日本語学校では、目的も学習の仕方も違うということに気づきました。
	柔軟に考えること、発想を豊かにする。学習者が話す機会を多く作ること
	個人についての話題を敬遠し、日本では、日本人は、とよく言っている。
	学習者の発話機会を増やす。会話を膨らませる。この2つの大切さ。
	学習者さんが答えを出すまで待っているのを見た他のボランティアさんに厳しいと言われたことがあります。間違いではなかったとホッとしました。
	待つ 聞く 事がとても大切だと再確認しました
	文型を教えることの難しさばかり気にしていたのですが、学習者さんにとって必要な日本語は、文型だけではなく、生活するために必要な日本語だったり、日本人と楽しくコミュニケーションをとれるような会話力を身につけることなのだと感じました。
	対話型日本語支援は学習者が自らの言葉を日本語（たくまいい日本語）で発信できるようにする近道であることを知ることができました。
	学習者はやはり日本語で会話をしたいと思い日本語教室に来ています。なので入門のレベルであってもあまり文型学習のみにこだわらず、少しでも会話を取り入れる工夫が必要だと思いました。
	話したい意欲を持ち続けて学習して行けるように対話型を単なるおしゃべりにしないための準備と心づもり、自分のスキルを磨くことが大切だと感じました。
	対話型活動は、学習者にとりつながるための日本語であることを再認識しています。また、レシートやチラシの活用なども大変参考になりました。身近な題材から学習者に寄り添う活動を心掛けたいと思います。

対話の中で、即座に文型を取り入れるには、文型に対する豊富な知識が必要。
対話型活動の実践方法が少し分かってきた。と同時に支援者としての役割、直すべきところが見えてきた。
対話(脱線)で、学習になること。
先生のベトナムの女性の話。自分の伝えたい事がちゃんと伝わるように話せるように、支援することが私の役目だと改めて思いました。
学習者の求める日本語は人間関係を作るための日本語であるということ。i + 1の iをやさしい日本語とすると、+ 1の部分で対話が発展する。対話のための文型を意識して学習方法を考える。文型学習を網羅的、積み上げ的行い、それを応用して会話学習を行う方法と、場面語彙を学習しそれを用いて文(発話)を構成するための文型を学習する方法を比較すると、後者が対話型学習には適している。
学習者が日本語を話す機会が意外と少なく、自然に上達するのが難しい。
言語の交流機能を重視した「対話型」と交渉機能を重視した「課題達成型」とは、考え方も持っていく方も違うということを再確認することができました。日本語教師が授業に取り入れようとする場合には、それをしっかり意識したうえで、組み込まねばと感じました。
対話活動の後「書く」活動も行うこともいいと思った
学習者は単に日本語習得が目的だけで教室にきているわけではなく、人とのつながりを求めているんだと感じた。
「わたし」の話が学習者のモデルになるということ。
もっと話してもらうためのコツ（もっと話してもらうためにやらない方がいいこと）がわかりました。
手作リシートを使った具体的な方法、活用したいと思います。
正しい日本語を教えなければという自分の思い込みに気づくことできた。
学習者を主体で考える。
自分では学習者の立場で支援しているつもりでも、文型に拘ることにより効果的な表現が出来ないことを気づかせていただいた。
例えば、たくましい日本語「周りは水！水！こわかった！」の件

【アンケート結果 質問4「よくわからなかったこと、疑問に思ったこと」について】

質問	回答
質問4. よくわからなかったこと、 疑問に思ったこと	対話の場所をどう確保するか
	これだけの責任や仕事をボランティアが請け負う今のシステムでいいのだろうか
	マンツーマンで90分対話をするのは大変なのではないでしょうか。
	取り組みたいことがどの文型なのか、テーマから入る時どれに当てはめればいいのかわからない
	内向的な学習者さんと会話する時のトピックの広げ方について、ちょっと困っています。
	学習者の満足度をどう測るか
	・具体的な活動例をもっともっと知りたいです。
	・地域日本語教室の軸足はどこに置くべきなのか、それは、対話、共生、居場所といった言葉がキーワードになってくる のでしょう。ただ「日本語教室」ということで、やはり日本語を学びたいというニーズは根底にはあるはず、能力試験の 勉強をしに来る場所ではないというのは分かるのですが、バランスをどこに定めるべきなのかが難しいです。「日本語学 校とは違う」とおっしゃっていましたが、その具体的なことをもっとお聞きしたかったです。
	相手の会話を先取りせず、だまって相手の話が終わるのを待つ。ということを行うために何かコツが あるのでしょうか？ 待っていると、話の主題がずれて行って、前に何を言ったか忘れてしまいます。
	地域ボランティア活動であるから、ということであるならば、関西弁ではこう言います、ということ を教えてあげてもいいのではないのでしょうか。私は時々教えています。
	自分の経験がないからですが、対話と文型のバランスはやってみないとわからないと思いました
	力士の日本語習得について、「辞書をひかない」とあったが、辞書はひいてもいいのでは？
	ありません。実践あるのみ。
	留学生などは、最終的に資格試験の勉強をみて欲しいと希望してきますが
	訂正の仕方、会話中の訂正のし方が難しく思います。
	対話型日本による日本語支援では、たくましい日本語を目標に支援すること。 仕事に活かすためや子どもの教育のための日本語に到達するのはやはり難しいのでしょうか。
	対話型活動で教えながら、語彙と文法と修正(訂正)の教え方との頻度又は時間の取り方 、方法が具体的にわからない。
	最近では普通に使っている間違った(?)日本語の扱い。(例:されかったです) 文法は間違っていますが、実際の会話では、よく使うと思います。 使ってもいいけど、本当は違う、と文法的なことをさっと伝えればいいのでしょうか？
	対話のための文型という考え方は理解できるが、地域社会でのコミュニケーションには具体的に どのような文型が必要もしくは有用なのか。
	小さな発音の違い(“いった”を“いた”というような)は直すべきか？ 通じやすいために必要だが、 こだわりすぎるのもよくないかと、兼ね合いが難しい。
	対話型の活動の中で文型を紹介して使ってもらおうとすること、文型を教える際の最後に行う 「自由度の高い、個人化した練習」は入り口、アプローチは全く違うけれど、表出される内容、到達点は同じようなも のになるのではと思いました。地域の日本語教室には、前者の方が向いていると思いますが、教師の行う授業の場 合、教師はシチュエーションやその文型を使う際の気持ちを教えることに苦労はするものの、後者の方が効率がいいの ではと思う部分もあります。セミナーの途中で「学習者によって…」というようなお話もちらっとあったように思いますが、 学校で効率的に学びたいタイプなら後者がいいのでしょうか。それともやはり、前者のやり方のほうが心に残り、定着 が速いのでしょうか。そのあたりについて、先生のご経験からお考えをうかがいたかったです。
	対話型も大切ではあるが、まったく初級の学習者が来たら、慣れないばボランティアはどう教える？
	地域日本語が注目され、「まるごと」が出版され、「みん日」への風当たりはますます強くなったように思います。 「みん日」は時代遅れなのか、「みん日」を使うのは不勉強であかんボランティアなのか、とまどっております。「みん日」 の著者である方が講師ということで、このとまどいについておたずねしたかったのですが、質問できなかったのは、このとま どいがうまく言語化できていないからです。
	現在所属している日本語ボランティア教室の役割をもう一度確認する必要があると感じた。
	多くの日本語教室の学習は週一回です。その条件下での「対話型活動」を効果的に行うためには、 教室外での学習がカギになるのではと思います。

【アンケート結果 質問5「本日のあなたにとってのキーワード」について】

質問	回答
質問5. 本日のあなたに にとってのキーワード	「おしゃべりの花を咲かそう」
	いい「声掛け」。いやな「声掛け」の違い
	日本語を話す楽しさを共有する場。対話が学習。
	つながる日本語・インプットとアウトプット
	アイプラスワン
	学習者が発信者になる
	対話型
	話を引き出す。
	その日の活動の定着、書くこと（可視化）
	やっぱり友達になること
	「たくましい日本語」
	熱心に聞く
	「個人にかかわること」が心に残る！
	楽しく・i+one・先回りしない
	たくまい日本語
	日本語ボランティアのの役目は学習者が日本語を話す場を作り話す手助けをすることということの再確認
	可視化のための書く活動
	上手な聞き役になる。相手に伝わるたくまい日本語。
	「まわりは水、水、水。こわかった」相手に自分の気持ちを伝える言葉。たくまい日本語
	積極的傾聴
	地域日本語教室の軸足をどこにおくか
	上手な聞き役になる。
	相手の話を終わるのを待つ。
	何を教えるかではなく「どんなやり取りをするか」
	ボランティアならではの良さ、活動
	日本語を使う楽しさを感じてもらって、真のコミュニケーションをとることが大切。
	上手な聞き役になること、100回の練習より「真」のコミュニケーション
	準備、心づもり、スキル
	3と同じ
	準備と心づもり
	つながるための日本語
	I+1 アイ+1
	正しい日本語、美しい日本語よりも、たくまい日本語
	ボランティアだからこそできる日本語学習支援
	たくまい日本語・発信者は学習者・待つ
	聞き上手になる
	個人にかかわることが心に残る。そこそこの準備と心づもり。
	たくまい日本語 対話型活動
	文章化して、書かせること。
	従来よりテキスト、問題集中心の教え方なので、いかにして対話型活動の教材又は教案を多く作ることができるかにあります。
	よく聴く、待つ：途中で自分が先に言ってしまうかもしれない。気を付けたい。
	アイ+1 やさしい日本語＝わかること＋わからないこと⇒わからないことを対話で知る（学ぶ）機会ができる（疑問を解決できる）。すぐ納得しました。
	つながるための日本語、I + 1
	欲張らないこと
	「周りは水、水、水。こわかった。」

	学習者が助けてもらいながら、楽しみながら、日本語の力をつけられるようにサポートする
	傾聴と対話
	自己開示
	「対話」と「文型」
	人間関係を作る日本語学習を学習者と共に積み上げていく。
	上手な聞き手になる。
	「初心に戻る」 今回の研修内容は、本来理解しているつもりでも実際には実施できていないことを気づかせていただきました。その意味からも「初心に返って」支援方法を見直すことが必要と感じました。

【アンケート結果 質問6「次回までの自分の宿題（したいこと、考えたいこと）」について】

質問	回答
質問6. 次回までの自分の宿題 （したいこと、考えたい こと）	怪しまれない「声掛け」手段を考える
	学習者との対話を広げる
	アイプラスワンになるような対話を心掛ける
	対話型活動
	実践する
	試験対策とのかねあい
	絵や写真だけで定型文を表す
	少しでも対話をふやせるようにトライする
	「訂正の仕方」として先生の紹介くださった「メモ」を実践してみたいと思います。
	身の回りの素材を考える
	ボランティア教室でワークシート・学習者に活動ノートを書いてもらう・B 5 サイズの 手作りメモノートの活用など、取り入れられないか聞いてみる
	入門編でもやり方によっては対話型が可能である事例を教えていただいたので試してみようと思った
	学習者さんが書けるようにする
	ボランティアで対話するとき、学習者に質問するばかりでなく自分のことも話す。 そして楽しく対話の花を咲かせるようにする。
	学習者が話せるトピックが何かを考えて、それを話題にする。
	自分の学習者との対話に使えるネタを複数考え、そのうちの一つでアイスブレイクする
	自分が実際に対話すると仮定して、トピックを選び話の考える考える
	極力、「相手の話を終わるのを待つ。」ことを意識しよう。
	「自分のことを語る」トピックを決め、自分なりの文章を準備してみる
	ご紹介いただいた市販テキストを読んでみたいと思います。
	考えてみます。
	先生が紹介されていたテキストやHPを見る
	先週の教室では日本のお正月について教えた。 今週は学習者の母国のお正月について話してもらう。 (話を先取りしないように気をつける)
	3 の実践
	学習者さんについて、もう少し聞いてもよいかなと
	手作りワークシートを作ってみよう。
	次回までにボランティア活動がありませんので、澤田先生が紹介してくださった「おしゃべりのたね」を 一度見てみたいと思います。
	学習者が少しでも日本語発信できるようにいつも以上に待って、学習者自らの発言を増やす。
	入門の学習者と少しでも会話を取り入れた学習を工夫する。
	対話型のレッスンを組み立ててみる。
	レシート、チラシで早速実践をしたいと思います。
	話したことを、文に書かせる。
	今まで余り対話型活動をしていないので、今からすべき課題又は反省点の洗い出し。
	次の日本語教室で今回のことを意識して、よく聴き、学習者が最後まで話せるように 待つ 。
	学習者が話しやすい、話したくなるトピックスを見つけるようアンテナをはる。
	生活場面の対話にやさしい日本語や文型学習はどのように関わるのか。
	次回のボランティア日本語教室で、30分は1週間の出来事、1時間は資料を使ったテーマを 用意して話題を広げる。
	テキスト「きいてまねてはなして」を見える。
	町の文化協会に「やさしいの本語で話そう」の会を申し込む
	前回の宿題が出来なかったため、引き続き補足資料にあるサイトを閲覧しながら、知識を深めたい。
	授業の時、自分のことを学習者にもっと話すようにする。

「みんな」と「まるごと」、「文型」と「対話」、「学校型」と「交流型」、「学習者中心」と「教授者中心」、「ボラ」と「プロ」等々、これらはそれぞれ対立するものなのか、整理してみたい。（次回までは無理ですが）

対話型ワークシートを作成してみる。

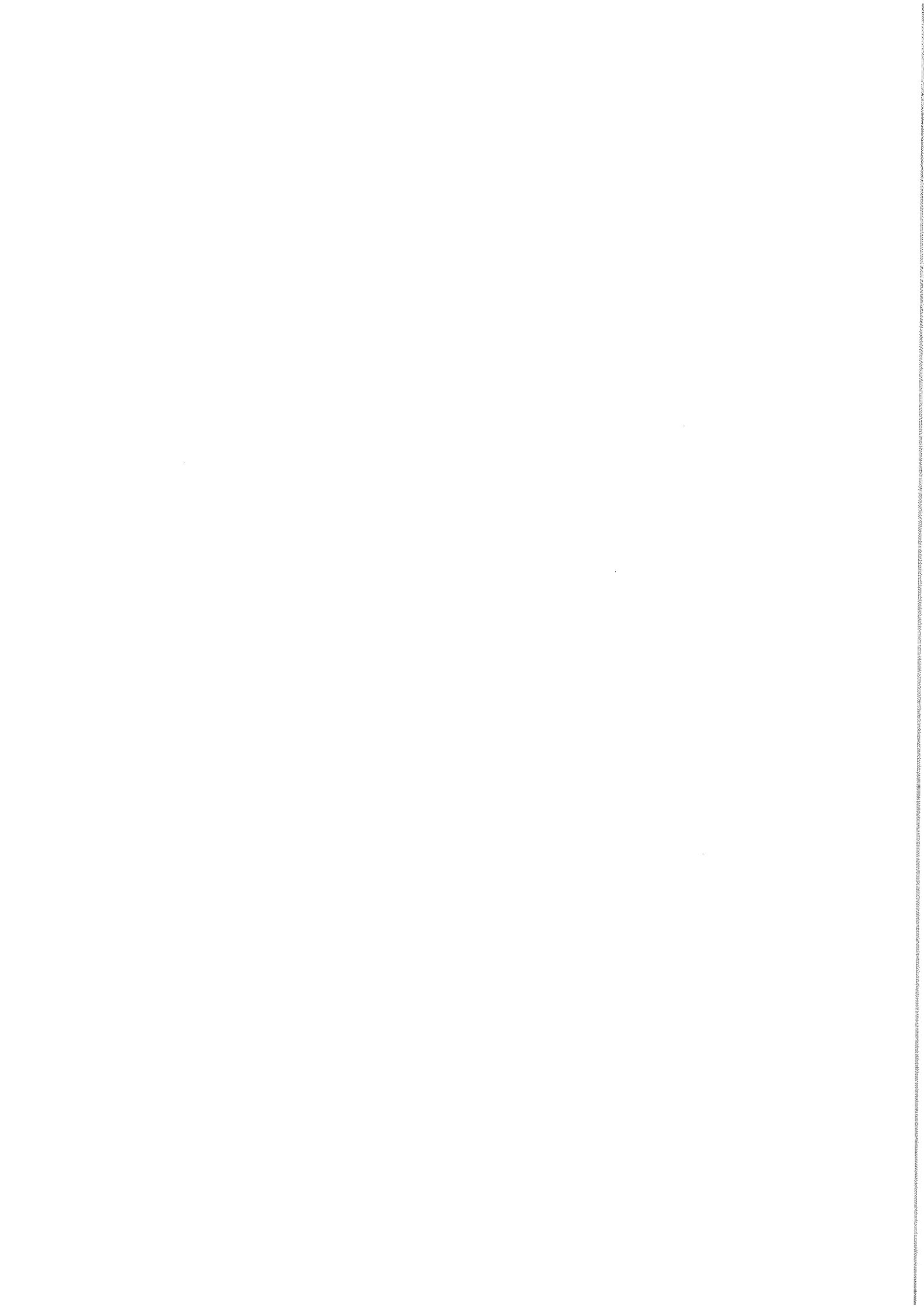
さいたまねしてはなしてを見る。

学習教室以外でもできる「対話型活動」について考えてみる。

【アンケート結果 質問7「前回（第2回、11月24日水曜日）の自分の宿題をしてみて思ったこと、感じたこと」につ

質問	回答
質問 7. 前回の自分の宿題をしてみ て思ったこと、感じた こと	日本語作文能力の低さを痛感
	積み上げ式をどう入れていくか、支援者同士で話し合った
	学習者さんとのコミュニケーションが良くなった
	傾聴と対話の活動を心がけるようにしている
	おおさかこども多文化センターのフェイスブックページを見る→すでにブックマークをしていつも参考にしているサイトだった (この研修をしたのもこのフェイスブックサイトでした)
	印刷物はチェックできなかった。市のホームページでは外国人向けのやさしい表記はみあたらなかった (少なくとも目に付く範囲では)
	見たものをやさしい日本語にしてみようと気をつけましたがなかなか難しいです。
	長年関わっているとマンネリになり、胡坐をかいてしまっている
	補足資料の聞いて・まねて・はなしてを見る事が出来なかった。仕事先で外国人とやさしい日本語で会話をやってみました。
	優しい日本語で対話をしたことで会話が弾むようになりました
	顔を見て目線を合わせて耳を近づけたら、オープンになってくれました。
	リラックス出来ると学習効果は上がると実感しました。
	支援者や学習者に役立つアプリがたくさんあり驚きました。少しずつ勉強して活用していきたいと思います。
	自分の教室での日本語が「やさしい日本語」になっているのかアンテナを立てる→「やさしい日本語」 という日本語の問題というより、私のコミュニケーションスキルが試されているなど感じる瞬間が多かったです。
	関連する本を4冊読んだ結果、概ね2つに分けられそうだ。 ①複数の用法があり、文脈に依存する表現表現 ②外国人にはない日本人の考え方に基づいた表現
	ネパールの方のコロナワクチン接種サポートを行った。本人のレベルはひらがなが解る程度。 接種券が来たけれど、内容が漢字・外来語ばかりが多く放置していた。 問診票の文言をできるだけやさしく言いなおし、記入をすませ、予約をとり、接種に同行。 副反応や、対処薬についても看護師の説明を言いなおし。 やさしい日本語に直すとき、適切な言い回しがすぐに出てこないことが多くあり、やはり、頭の中ではわかっていても、かなりの練習が必要であることを実感した。特に健康にかかわる語句については、正確にやさしく話すのは難しい。
	普段から・そぎ落とす・やさしくするには意識するとLINEなどでも長い文章が気になった。英訳の際も一旦日本語を優しくて英訳するとわかりやすくなることに気づいた。 何気なく話しているが日本人は日本人にさえ理解しにくいことを言っていることも多い（笑）。
	カタカナ語やオノマトペを使わないで、と考えたとき、なかなか代わりの表現を見つけることが難しかったです。
	日本にいる外国人は、病院、近所付き合い、職場、役所で日本語に困ることが多い。 行政に求めること→日本語学習の支援をもっとしてほしい 地域の日本語教室への要望→通える時間を増やしてほしい。 見えてきた状況として、日本語教室では、日本人とコミュニケーションをとれているが、一歩外にでると日本人とあまりふれあっていないのではないかと思います。また、病院や役所等助けがないと、対応が難しいのではないかと思います
	やさしい日本語に変える練習問題をしましたが、擬音語や擬態語、比喩、慣用句などをやさしい日本語に変えることができず、難しいと感じる問題もありました。今回グループワークで、日記をやさしい日本語で書いてみましたという方の話を伺い、色々な方法で、やさしい日本語を練習する機会を作っていくことができるなど感じました。
	漢語は同音異義語が多くて、学習者には分かりにくいと思った。 やさしい日本語は常日頃から意識していないと出てこない。
	やさしい日本語でレッスンすることの難しさ。 実際には、担当している学習者はどの方もN1合格者なので、やさしい日本語よりも、敬語や少し難しい表現を学びたいと思っています。私にはラッキーかも...
	間投詞は気づかぬうちに発している。
	やさしい日本語は難しい 柔軟な頭と思いやりが大切だと思いました。

ウェブサイト「つながるひろがるにほんごでのくらし」を閲覧し、とてもわかりやすいサイトだと思いました。レベルチェックをして、自分の苦手な分野の場面の動画は、日本語を勉強している外国のかたにとって、とても便利なツールだと思います。
残念ながら上記の教材を使用する機会はありませんでした。その代わりに家族の間で出来る限りやさしい日本語、単文で会話をする練習をしました。なかなか難しかったです。
学習者とのレッスンは、学習者の都合でお休みになったので、やさしい日本語を使っのコミュニケーションは次回に持ち越しになりました。日々の暮らしの中で、いろいろやさしい日本語に言い換える練習をしようとしていますが、置き換える言葉がなかなか思いつきません。訓練が必要だと感じました。
外国人へ向けての案内だったりパンフレットでもやさしい日本語ではなくて、市役所の窓口でも日本語から日本語への通訳が必要でやさしい日本語がもっと広まるいいと思いました。
副言語の活用について、本日の講話でも肯定していただき心強く感じています。活動中には、不明な点は英語やスマホによる画像などで学習者の心がなごみ、また、話題を提供してくれた時には熱心に傾聴し、その雰囲気を大切にしながら「やさしい日本語」で多少の緊張感を持ち、授業のメリハリを保っています。
対話型活動に対する知識、経験が余りに少なく反省点が多かった。
ちょっとした日本語でも、やさしい日本語にするのは難しいと思った。[いざという時]の[いざ]とか。
⑦やさしい日本語をつかう。⇒対面でやさしい日本語を使うのは、相手の反応を見ながら、「これはわからなさそうだから、もう少し、違う言葉を使って・・・」と、言い直しながら話すことができるが、文章、特にスペースが決まっている（文字数を多くできない）チラシなどを、やさしい日本語にするのはとても難しいと思った。
①オノマトペをやさしい日本語にしてみる。⇒やさしい日本語への置き換えが難しく、なかなか納得のいく置き換えができなかった。
やさしい日本語は地域共生社会での共通言語として十分な役割を果たすことができる。
N1レベルの学習者だったので、「やさしすぎる日本語」にならないか、程度の見極めが難しかった。
欠席してしまったので、「レジュメを読んで、そこから分かるところだけでも理解しておく」ということを自分の宿題にしましたが、やはりそれだけでは足りなかったなと思いました。今回みなさんの宿題の内容をうかがって、前回参加できなかったことが本当に残念に思われ、後半だけでも参加すれば良かったと後悔しました。
いろいろな手続きの言葉も載っていた。必要な時参考にしたと思う
やさしい日本語で話すこと、既習の言葉で話すことは難しいと感じた。
役所の市民向けのパンフレットは、だんだんわかりやすくなっていると思います。しかし、役所のパンフレットは「やさしい日本語」にするのは非常に困難だと思いました。制度は複雑で、多くの例外があり、それを誤解なきよう簡単にまとめるのはほぼ不可能だと思います。健康保険とか、保育所とか、ワクチン接種の案内などは、多くの言語に翻訳された方がいいのかも知れないと思いました。
和製英語（外来語）やオノマトペをやさしい日本語に言い換えることは難しいと再認識した。
日本人にわかりやすい文章と外国人にもわかりやすい文章への言い換え、書き換えが重要
前回は欠席させていただきました。



令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」 4日目 アンケート結果

【研修概要】

- 名称 : 令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」
対話を取り入れた活動～生活場面教材をつかうときの例、
県内の活動紹介～
- 講師 : (公財)兵庫県国際交流協会
- 日時 : 2021年12月15日(水) 18:00~20:30
- 場所 : Zoom オンラインミーティングにて開催
- 参加人数 : ①受講者70名 ※申込89名に対し78.6%の参加
②HIA6名参加
- 回答数 : 48名 (68.6%)

【アンケート結果 質問1「研修会の内容について」】

質問	回答（選択式）
質問1. 内容について （選択式）	とてもよかった（24人、50％）
	よかった（20人、41.7％）
	ふつう（4人、8.3％）

質問	回答
質問1. 研修会の内容について 「とてもよかった」 「よかった」「ふつう」理由	具体的でわかりやすかった
	教室から外へ、実際の社会での活動はつなげていく重要性
	実際の活動がよくイメージできた。
	他教室の活動内容を知ることができた
	事例紹介があった
	他の方々から、自分が思いつかない意見が聞けるのもいいです。
	「できるだけ」を使って対話を広げていくやり方がよくわかりました。
	実践的な内容だったので、活動を始めた時にとりいれたいと思いました
	すごくわかりやすかったです。「しかける」という言葉が印象的でした。
	グループ学習で他の地域の人達と話せたことが楽しかった。
	工夫が大切と理解しつつ、実践は難しいので。
	地域での、様々な活動を知ることができました。
	具体的な内容でどうするのが分かり、イメージもしやすい。
	活動の事例など聞けて良かった。
	他の教室での活動も知ることができた。
	「できる？できた！！」の教科書の使い方について聞けたから
	他のグループの活動を知ることができた。
	途中でディスカッションがあったので、他の人と考えを共有できた。
	いろいろ具体的なことを紹介いただいて参考になりました。
	ボランティアで 暮らしの日本語の教材を活用しています。 今日の研修で改めて活用の仕方が分かりやすくなりました
	具体的な教材をつかっての例が、イメージしやすかった
	1. 『できる？できた！！』はチューターをしている交流協会で拝見し、気になっていました。 詳しく聞くことができて良かったです。 2. 兵庫県内での日本語支援の取り組みを紹介してもらえたことは、参考になりました。
	資料をプリントアウトしていましたが、少し漠然としていて、あまり講義に集中できませんでした。 パワポ資料は画面で示すもの。これと講義内容は別ではないかと思います。 わたしは、パワポ資料とは別にレジュメを作ります。 3つのグループの活動紹介は参考になりました。が、芦屋 A C A でも実践できるでしょうか？ やはり、地域による外国人の方の日本語ニーズが違っているのかも...

三団体の取り組みが参考になりました。
実際の生活にマッチした学習支援方法でとても興味深った
日常生活に密着した具体的なテーマを取り入れて学習スタイルを提示していただき、実践に参考になります。 日本語教室の中で様々な活動が活発に行われていることに認識を新たにしています⇒「身体測定実施と成人病予防の話」など
対話を発展させるポイントや他の支援者の方がどのように工夫して活動しているのかなどを知る機会になりました。 できるできたの教材の使い方も教えて頂いたので機会があれば使ってみたいです。
対話の進め方を手探りで進めていたが、講習でいままで通りでよいことがわかり、ほっとした。
聞きやすかったです。
具体的でわかりやすかったです。
対話を取り入れた活動の良い点がよく分かりました。
実際に対話型活動を行う方法の解説がありよかったです。また県内の活動例の紹介がありより具体的で参考になりました。
いろいろな地域の実際の活動垣間見ることができました。
「対話」を行うための活動の方法が整理された。
これまでのセミナーをうかがって、兵庫県での取り組みはどうなっているんだろうというのが気になっていたところだったので、それを知ることができたのがとてもよかったです。 ただ、4名グループで組んでくださっていたはずのブレイクアウトルームがなぜか二人になってしまっていたので、もっといろいろな方にお話うかがいたかったなと思いました。
実践とつないで説明があつたので、わかりやすかったから
「できる！できた!!」は、私もよく使うテキストで、その使い方を詳しく解説していただき参考になりました。また、県内の支援活動の紹介は、今後の支援活動の在り方を考えるうえでとても参考になります。今後も期待しております。
「標準カリ」と「できる、できた」の関係が理解できた。
他団体の活動内容を知ることができた

【アンケート結果 質問2「研修会のわかりやすさについて」】

質問	回答（選択式）
質問2. わかりやすさについて （選択式）	とてもわかりやすかった（22人、45.8％）
	わかりやすかった（23人、47.9％）
	ふつう（2人、4.2％）
	すこしわかりにくかった（1人、2.1％）

質問	回答
質問2. 研修会の内容について 「とても分かりやすかった」 「わかりやすかった」 「ふつう」 「すこしわかりにくかった」 理由	写真などが多くわかりやすかった
	イラスト付き資料が理解の助けとなった。
	説明、話し方がわかりやすかった。
	レジュメの枚数を少なくして、一枚の内容を増やしていただけたら、より見やすかったと思います。
	実際に質問を考える時間があり他の方の意見を聞くことができたので
	実際の色々な活動例をみてイメージがつかえました。
	具体的な活動のお話が聞けたことがとてもよかったです。
	パワポによくまとめたので。
	学習さんも私たちボランティアもまずは会話が大事だと背を押してくれている。
	ボランティアとして、まだまだ経験は浅く、いつも悩みながら活動をしておりましたが、対話を取り入れた活動について、様々なヒントをいただき、とても勉強になりました。
	上記と同様
	前回までの内容のまとめみたいでわかりやすかった。
	きれいにまとめたPPTを用意して下さっていたから
	今までを展開する内容だったため
	遠藤先生の説明がとても分かりやすかったです
	今日の内容は、なぜかポイントがつかめず、講義に集中できなかった。（残念）
	資料を事前に頂けたこと。
	具体的な支援方法を沢山示していただきわかりやすかった
	対話のバリエーションや対話も意識してみる等など示唆に富むアドバイスが新たな気づきになりました。
	今回は買い物をするという項目でしたが、質問に使える文法や学習したい単語などが分かりやすくまとめられていて良かったです。
	具体例が非常に多く、すんなり理解できた。
	端的に解説されていたところ
	身近で具体的だから。自分の関わる姿勢も教えていただけたから。
	「できる？できた!!」を使って実際にどのように対話をしながら学習を進めていくかを丁寧に教えていただいたので、よく理解できました。質問を考えるポイントや対話のときのポイントなどを意識し、実践したいと思いました。
	対話型活動を行う上での学習者、支援者の心構えや、注意すべき点、すべきことが具体的に少しずつ見えて来たように思えました。
	例 2課の活動を詳しく説明されていたのでとてもわかりやすかったです。
	具体例が多く、参考になる。
	実際の活動例が多かったので、内容が非常に具体的で分かりやすかったです。
	BORで質問を出し合って話したことで、理解が深まったから
	充実した資料があった

【アンケート結果 質問3「今日の研修で気づいたこと、感じたこと」について】

質問	回答
質問3. 今日の研修で気づいたこと、感じたこと	学習者さんと双方向のやり取りをすることで日本語力が上がる
	傾聴の大切さ
	ベトナム人は自己開示欲が強い傾向がある。
	村上さんの報告がよく整理されて分かりやすかった。
	生活場面に密着したコミュニケーション活動の必要性
	一つの教室で親子を扱っていることに興味を持った
	対話に重点を置いた活動もやってみたいが、準備が大変そう。
	伝える事をよくばらない。
	i+1 とアウトプット
	活動にリアリティを持たせる大切大切
	スーパーでの買い物や、ゴミの出し方など実際に一緒に体験することが大切。
	対話がベースでそれに、必要な漢字やレジで聞かれること等必要な知識を加える。
	イエス、ノーで答える質問だけでなく、開いた質問をして話を発展させることが大切。
	より現実の場面で生かせることができるか考え、工夫することが、大切だということ。
	またそれが、学習者が日本で生活をするうえで、役に立ち、楽しい、面白い、もっと日本語を話したいということに繋がっていくのかなと感じました
	学習者が主役になれる質問を考える・互いに聞き合える質問を考えることの大切さ。
	日本語使用の新聞読まない、テレビ視聴あまりしない学習者さんたちが、普段どういうものを見たり聞いたりしているのか、あまり知らないなと気づきました
	開いた質問を豊富にする努力
	学習者にとって、必要な場面で、必要な日本語が話せるように、活動方法を考えていきたいと思いました。
	つい自分が話してしまいがちになるが、話の主役は学習者であり、学習者がどれくらい知っているのかを聴くことが大切。沢山質問をして学習者が話して楽しいことを探すこともよいことだと思います。
	学習者さんが主役になれる話題作りの大切さ。
	文化庁がこんな仕事をしていると初めて知った。外務省がすると思っていた。
	対話 × 生活に必要な日本語 + 情報 + 練習・活動
	他のグループの活動を拝見して、様々な活動ができることがわかった。コロナで途絶えている「テーマに沿ったグループ会話」をまた始められたらと思った。
	前回学んだが主体はあくまでも学習者であること。質問はこちらからの一方ではなく、双方向で行うようにするとよいこと。質問の種類はクローズドからオープンへとし会話が広がるように工夫するとよい。レリアや物品を用いると良い。といったことを学び、なるほどと思った。
	教室外の活動がとても楽しそうでした。季節の行事など、地域の人々と一緒にしてみるのはいいと思いました。
	何気なく自分が一生懸命になって対話がなかなかうまくできていないなかつた事を改めて感じました。また、学んだ事を見える化、私の生活ノートの活用や活動にリアリティを持たせる。実物を使う。学習者自身の学びの意識化～振り返り～のやり方など活用方法を取り入れていけば学習者にもわかりやすくなるという事を感じました
	現在の支援のなかでも、こちらアンテナをはってれば、取り入れられることがある、と思った。
	養父が定期的に行事も取り入れているが、こちらが一方的に紹介するのではなく、学習者も一緒に参加型で、準備段階から一緒にできるかも、ともおもった。
	・『できる？ できた！！』とても良い教材だなあと感じていました。データ化されていると今回初めて知りました。コピーするしかないのか、、、と思っていたので嬉しい情報でした。
	・他の県内の日本語支援の紹介も参考になりました。日本語支援について兵庫県がこんなに頑張っている！と思えて嬉しかったです。
	・今日はいつよりもリラックスした感じがしました。最後の方でみなさんとの共有時間もあったのは良かったです。
	学習者の方の会話を多くし、その会話の中でできた単語、テーマを利用して話を展開していく対話の大切さ。
	Q&A最後の「学習者との会話のきっかけ作りのヒント」参考になりました。
	コロナで立ち上げを断念していた地域の日本人を交えた日本語サロンについて方法を探りたいです。
	現在「みんなの日本語」を使って学習しているが、活動方法や活用ツールは自分達の周りに無限にあると知った。

日本語を教えるボランティアとして日本語の学習というより生活していく上での支援の部分がが多く、日本語を使うことを楽しんで学んでほしいと思って活動してきたのですが、きちんと文法を積み上げて教えていくことができずに疑問と不安も感じていましたが、支援の部分は間違っていなかったのだと思いました。
これからも学習者の話すこと勉強をすることへの意欲を損なわないような支援をつづけていきたいです。
多種多様な学習スタイルを知ることにより、言語的な正確さに捉われることなく学習者に寄り添う会話の大切さを心掛けたいと思います。
対話を取り入れた活動をするためには事前の準備が重要だと感じた。
写真などはよく使用するが地域の地図を準備するとい意見は私も取り入れてみたいと思いました。
対話の進め方を手探りで進めていたが、講習でいままで通りでよいことがわかり、ほっとした。
色々な教室があり、色々な活動方法が知れました。
開いた質問により会話を広げる。そして社会の中で行動できるようにすること。
私は今まで、数少ない経験の中ですが、学習者にできるだけ正しい日本語を覚えてもらいたいと考えてきました。その方が学習者にとって良いと思いましたし、それは日本語学習の最初に心がけておかないと、後になっての修正はなかなか難しいと考えたからです。ですから文型の積み上げ学習を一つ一つ地道にすることが当たり前だと思ってきました。しかし過去3回（1回目は欠席しました。）の研修を通して、学習者にとって必要な日本語について考えるようになりました。もっと実践的な日本語の学習を学習者は必要としているのかもしれないと思うようになりました。
対話をどんどん膨らませていく会話については、外国人と話しをする時、特に気を配らなければと思いました。やはり日本人同士の会話とは違うことを気に掛けるべきだと思います。
やはり対話によってお互いのことがわかり興味、活力が湧いてくると感じました。
あいてにあわせて、よく聞いて質問すること。
やさしい日本語で対話が續くようにすること
日本語教室の意義。言葉の習得以上に、学習者が主役となり、自分のことが語れる貴重な場であること。
いろいろな団体の取り組みをうかがって、地域の日本語教室の多様性に驚きました。また、「学習者/支援者が対等に自分の考えを話し、聞く場」「日本人/外国人、支援者/学習者という枠を越えて体験を共有する場」と考えると、日本語教室の可能性は無限にあると思います。もっといろいろな団体の取り組みを見たいと思いました。
テキストありきではなく、それをどのように目の前のパートナーの方に合わせて、活用していくかが大事だと感じた。
対話の導入に困ったとき、「質問攻め」から話題にできることをさがせる
対話から入って、単語や言い回しを「自分で」増やすことができる。自分で作る単語帳はいいですね。
「できる！できた!!」は、初級学習者対象のテキストということですが、例えばステップ4などは中級の学習者でも十分活用できると感じました。会話の意味は理解できたとしてもスムーズに会話することは、ある程度の練習が必要と感じたからです。
対話→自己開示→人間関係、教室外での体験共有→対話の活性化
言葉を学ぶ上で実際の体験が重要。言葉と体験をつなげる。

【アンケート結果 質問4「よくわからなかったこと、疑問に思ったこと」について】

質問	回答
質問4. よくわからなかったこと、 疑問に思ったこと	学習者が知りたいことにどこまで寄り添えるか？
	文化庁が新しい参照枠を出した意図
	会話の内容にタブーはあるか、宗教、政治など
	年令差がある学習者にどうやって関心の持てる対話ができるか、悩みます。
	リアルな活動は理想ではありますが、教室のイベントとしてならと思いますが 1：1の活動をして良いのでしょうか？
	根掘り葉掘りと聞いていいものかと悩ましい。
	あまり自分から会話をしようとはしない学習者さんと、どのように会話を発展することができるか困っています。
	グループ全員での活動は、専属スタッフがいなく、ボランティアそれぞれが多忙で、準備ができにくい。時間的調整も難しい。
	特にない。よくわかりました。
	地域の方とも交流されるような内容の照会がありました。学習会に来なくなってしまったような方にも声をかけたりされていらっしゃるのでしょうか。
	初級向けに いっぽにほんごさんぽ を採用しているので、 できるできた を使うタイミングが難しいです。内容を参考にはさせてもらっています。 マンツウマン体制なのとコロナで、グループワークが難しいです。
	「みんなの日本語」を主に「できる、できた」をサブ本として利用し、各課のダイアログを広げる、活用方法で良いのでしょうか？
	たくましい日本語で私とは対話ができても積み上げ文法ができていないと 社会で失礼に思われたり、困ることはないのかと不安に思います。
	平易な言葉でご教示くださり、特にありませんでした。
	今回ご紹介頂いた県内の活動紹介はとても興味深くとても良い活動だと思いました。 しかし、日本語教師ボランティアの実態は個々で教えている方が多く、ご紹介頂いたような団体に活動していない方が大半ではないかと私は感じました。 コピー代、交通費は自分持ちそれでも少しでも学習者の方の力になればと日々 試行錯誤している無償ボランティアの方がほとんどです。 できればそういう方にも取り入れやすい活動も一緒にご紹介して頂ければ今後にいかにせるのでいいなと思いました。
	生活者としての外国人のエンパワメントの実現検証は、ある程度時間がかかるので、 3～4年の留学生での検証はできないかもしれない。標準カリキュラム案の「健康」面で、医療通訳等の依頼をする線はどのあたりに置けば良いか？
	今現在担当している学習者がゼロ初級なので、このような場合は対話を通しての学習をどのように進めれば良いかよく分かりません。
	開いた質問、また相手の返事(解答)を想定した話題提起、話し方。
	閉じた質問、開いた質問 実際にしてみると途中で会話がつまづいてしまいます。 質問攻めにするという回答がありました。 とても参考になりました。
	学習者が十分理解していないと思ったときの対応の加減。あまり間違いを指摘すると 自信を無くすかもしれないので。
	現在、「できる？できた!!」のクラス活動に対話を盛り込もうとして、試行錯誤しているところですが、 クラス形式での「対話で始める」の実践に難しさを感じています。始めに行うことで、学習者の「真のニーズ」に気がついたり、語彙の理解がどの程度か分かるというのはその通りだと思うのですが、形態がクラス形式だと、その後に準備してきた、教科書を元にした授業がそのニーズとずれていると感じても、その場で内容をがらりと変更することもできず、ニーズをカバーしきれていないと感じることがあります。クラス活動で、課題達成型の教材を使用しながら「対話で始める」をクラスに取り込むというのは、なかなか難しいなと感じています。今回は支援者さんが対象のセミナーだったのかでうがえなかったのですが、そのあたりを、これまで実際に担当されてきた先生方はどのようにクリアされているのか、もっとうかがってみたいと思いました。(すみません！セミナーでの疑問ではなく、私の課題でした。)
	傾聴しようと思っても、つい「かあちゃん」のような気持ちになり、いっぱい教えたり、手を差し伸べたり、してしまう。 「先生」になってしまうよりましでしょうか。
	「対話型活動」に対して「文型積み上げ型」を効果的に組み合わせるべく支援方法

標準カリは8項目の生活上の行為を最短60時間で学習する。これには文字、発音、文法等の学習は含まれていない。来日後間もない外国人には難しいのではないか。
やさしい日本語で使える文型と、場面に必要な最小限の語彙とを組み合わせで会話を構成し、統語的な学習を対話によって行うことで、短期間で生活に必要な日本語が習得できると思われる。
対話型を受け入れないボランティアメンバーにどう説明すれば納得してもらえるのか。

【アンケート結果 質問5「本日のあなたにとってのキーワード」について】

質問	回答
質問 5. 本日のあなたに とってのキーワード	双方向のやり取り
	場面教材
	地域を巻き込んだ交流の機会を作る
	業務スーパーにハラルフード。
	積極的に外国人と交流したい日本人が少ない為、学習者が気楽にコミュニケーションが取れる機会がない
	対話の広げ方
	リアリティー
	閉じた質問、開いた質問
	互いに聞き合える質問
	学習者が主役になれる質問
	学習者が主役になれる質問
	日本語支援教室ならではの教室を離れた体験が大切。日本人も一緒に日本や異文化を学ぶ（支援者、学習者の枠をこえる）
	活動にリアリティを持たせる。
	「しかける」、「自由な発想」、柔軟に考えられるようになりたいと思いました。
	学習者が主役になれる質問
	返報性
	エンパワメント
	できる？できた!! うちのほんご
	・活動にリアリティをもたせる
	・教室での活動を外に繋げる
	自分の話も会話の中に取り入れてみる。
	お互いの自己開示
	日本語を使う楽しさを感じる仕掛け作り
	主体は学習者・質問は双方向に・質問の種類
	意識した対話
	学習者自身の学びの意識化～振り返り～
	質問は双方向。学ぶ中でも「リアルにする」
	「対話しながら生活に必要な日本語・情報、練習も盛り込んでいこう」を目標にします
	傾聴 話を膨らませる
	支援者のスキルアップ
	どんな風に質問するか、それが対話を広げる。学習者のみならず支援者のコミュニケーション能力をアップさせる。
	たくましい日本語で日本語を使って社会生活への参加の支援
	対話は双方向 自己開示(私に質問してくださいね)
	対話を取り入れた活動の難しさ。
	学んだことの記録（ボランティア側はおこなっていたが学習者には依頼していなかった）と見える化
	たくましい日本語
	自分が開示した量と深さに相手も応える。返報性
	たくましい日本語
	学習者が主役になれる質問
	日本語教室は全てまず、対話型活動から始めること。
	対話から始める、生まれる。
	リアリティーと見える化と対話の仕掛けづくり。
	閉じた質問と開いた質問
	高齢学習者は語る～みんな自分の物語がある～
	対話をしていく中で、学習者の方の今の力、必要としていることが見えてくる。
	開いた質問
	「対話」

対話のときのポイント「自己開示」 自分の思いを学習者に伝え、学習者が理解してくれて初めて効果的な会話が始まる。
標準カリキュラム、生活場面での対話
体験を通して言葉が身につく

【アンケート結果 質問6「次回までの自分の宿題（したいこと、考えたいこと）」について】

質問	回答
質問 6. 次回までの自分の宿題 （したいこと、考えたい こと）	対話することによって学習者さんの気持ちを共有し、受け止める
	学習者の関心ある分野を聞き出す工夫
	傾聴のスキルアップ
	『できる？できた！！』の研究をする
	生活の場面で学習者が主役になれる質問、互いに聞き合える質問を多く取り入れる
	一つのテーマに沿って会話を続けてみる
	文化庁の報告書に目を通す
	話を広げやすい質問を用意して教室に行く。
	レアリアを使って対話を広げる
	生活場面を使う活動で、どのような活動をしてみたいか考える。
	ボランティア活動の時、学習者に質問してもらえるように、質問は双方向ということを心がける。
	本日紹介があったHPをみる
	学習者が主役になり、どんどん話ができるようにもっていくようにする。
	学習者に質問してもらえるようにする
	日本語能力に対応した質問の工夫
	『できる？できた！！くらしのにほんご』を使った活動をしてみたい
	色々なサイトをご紹介いただいたので、教材をみてみる
	身近なツールを使いながら授業を試みる。
	学習者に質問してもらう。
	学習者さんにとって、小さなステップが何か考えて、真正性のある活動を取り入れる。
	対話を文章として学習者にまとめて書いてもらう。
	頂いた課題をこなしたいと思います。これまでの4回振り返る。感じたことをメモする。
	教室外活動を試みる。
	日本語教室で学んだ事が見える化、C a n D o 振り返りの活用を日本語教室にとりいれられるか提案をする
	行事活動のなかで、対話型につながるかとはいえないか、1月末にスキークラスがあるので。
	チューターレッスンの中で「生活の中で目にする漢字」も紹介してみよう。
	5の実践。早速、明日のレッスンから実践します。
	地域の人と結び取り組みについて
	「つなひろ」のサイトを見る！
	『できる？できた！！くらしのにほんご』の生活場面での具体例について考えてみる。
	学んだことを見える化する「わたしのことばリスト」について、学習者と検討したいと考えています。
	「閉じた質問」「開いた質問」から対話を続けられるようにしたいです。
	標準的なカリキュラム案121に目を通して、学習者形態（帰国者・留学生・就労者・主婦等）に分けて、優先順位を考えてみる。
	紹介していただいたサイトを読む
	自己開示による人間関係作り。
	実際の活動で、単語を並べるだけでもいいので対話に挑戦したいと思います。
	対話に興味を持たせ、どんどん膨らませる手法。
	閉じた質問、開いた質問をためらわず どんどんチャレンジして対話してみること。
	次回のボランティア日本語教室で生活場面教材を活用してみる。
	今日紹介してもらった、3つの団体のHPを見て、どんな活動をしているのか詳しく知る。
	今日紹介していただいた「買い物」以外の別の課で、どんな対話が可能か考えてみる
	「日本語参照枠」「つなひろ」を見てみる

Can-doリストをよく見てみる。

急速に「便利」になっていく世の中、外国人がCan notでも困らないことが増えています。高齢者が（体力の衰えが原因ではなく）Can notになってしまう事象が次々出現しています。コミュニケーションのあり方の変化をどう捉えたいのかわからないので、Can-doとは何か、よく考えてみたい。

「買い物する」について、中級以上の学習者と学習し、学習者の感想を確認する。

地域共通言語としてのやさしい日本語を標準カリの枠組みの中でどのように構成するか。

言葉だけに頼らない。具体例と共に示す。

【アンケート結果 質問7「前回（第3回、12月8日水曜日）の自分の宿題をしてみて思ったこと、感じたこと」について】

質問	回答
質問 7. 前回の自分の宿題をしてみ て思ったこと、感じた こと	学習者さんと話が盛り上がって心の距離が近くなったように感じた
	日本人同士の対話の課題も基本は同じ
	学びたいことを的確につかむ。
	仕事の関係で欠席しました。すみません。
	前回欠席の為、宿題はできませんでした
	優しい日本語を使いながら、学習者の仕事について会話をすることができた
	事例紹介があった
	つつい言葉を取って、助け舟をだしてしまふ。
	相手に話してもらうには質問の内容や聞き方で話はいくらでも広がっていくと感じました。
	まだ、日本語学習支援はしていませんが、するときは対話を中心にしてその中に文型学習を取り入れるようにしたいと思いました。
	相手のことばかり掘り下げないで、ボランティアのことを掘り下げる機会を与えるのは難しかったです。これからも一方通行にならないように気を付けたいと思います。
	第3回目の宿題ができなかったで、今回の宿題と一緒にしたいと思います。
	なかなか自分のことをうまく話せず、話が膨らんでいかなかった。今日の話で、相手の興味があることをどんどん聞いていくよう努力してみます。
	今の私の担当している方には無理でした。
	様々なアイテムを使うと、話が脱線して軌道修正が難しくなることが多い
	スーパーでの買物を「自分を語る」トピックにして絵で表したりしたが、本日の生活場面の表現と重なる部分があって驚きました。
	テキストが自分のイメージと合致したことが嬉しかったです。
	対話をする事で、学習者は新たな単語に出会えたりもする。
	「待つ」ことを意識して聴いていると、学習者が何ができて、何ができないかが、よくわかると気づいた。待つ時間も楽しい。
	学習者さんが話せそうなトピックを仕入れようと、彼が好みそうな漫画を読んだりして対話を試みたのですが、あまりうまくいきませんでした。泣
	書くことを面倒だと感じる学習者に書かせることは難しい。
	待つことは難しい事がわかりました。どうしても間が苦手で埋めようとしてしまふ。でも、意識して待つと、学習者さんの発話量は多くなることに気づいた。これからも意識して待つよう心掛けたいと思った。
	紹介いただいたテキストを近くの本屋さんで探しましたが見つかりませんでした。ちょっと残念でしたが、また三宮や大阪に行ったときに探してみたいと思います。
	宿題の内容を日本語教室担当の方に提案し検討して頂ける事となった
	ボランティアだけで学習者の方に教える事ばかりでしたが、研修の内容を担当者と対話する大切さを感じました
	課題が大きすぎたが、今後も考えながら活動していきたい。
	学習者、支援者共に「やさしい日本語、ハサミの法則」は必須。学習者がN1取得者であっても。実践あるのみ。
	支援者を対象にした勉強会でこのテーマを取り入れました。また、学級で採用しているテキストを使って支援者にモデル授業をしました。対話を意識して貰えました。
	前回以降の活動が無いのでまだ宿題が出来ていない状況です。次回試みてみるつもりです。
	"おしゃべりのたね" を使ったことがあるのですが、準備不足もあり 単なるおしゃべりに終わってしまっていたので、Unitに出てくる文型を意識して その文型を使った文章を作ってもらったり 一つその日の学習の成果を感じてもらえるようにしたいと思いました。
	対話のバリエーションや質問の5W等など対話力に理解が深まりました。毎回の講座が大変貴重で参加して本当に良かったと思っています。ありがとうございます。
	日本語教師ボランティアを初めてまだ1年でコロナの影響もあり今は学習者の方が少なく活動はしていません。支援者自身も学習者さんに教えて頂くこと、気づかされる多い中で経験不足を感じました。

非常に短い時間であったが、学習者と話をすることができた。従来からの癖である相手の話の終わるのを待てない状況は あまり改善しなかったが、話が終わる前に話出すことを気づくことができた。引き続き続けていこうと思います。こちら側の 気持ちが落ち着いていると、最後まで聞くことができる。気持ちが急いでいたり、落ち着いていないと「待つ」のは難しい
色々な教材を見ましたが、見るだけでなくうまく活用したい、また経験を積む必要があると感じました。
意識すると自分自身のできることが増え、支援や関係作りがいい方に向かうのだと思いました。
実際の活動で少しでも対話をと考えていましたが、学習者が欠席でしたので実現しませんでした。 次回に持ち越します。
今まで対話型活動に対して消極的で振り返れば、反省すべき点が多く又、知識もなかった。
ペットについて国によってペットではなく家畜を飼育することだという話になりました。 日本は幸せな国で安全な国だという話に発展しました。 ベトナムと日本の違いお互いが驚き他にもどのような違いがあるのか興味がわきました。
ボランティア日本語教室で「ペット」をテーマにしてみた。互いの経験から、最近のペット事情まで話題が広がり、 面白かった。
テキスト「きいてまねしてはなし」を見えるという宿題でしたが、一度個人指導で自分でも使ってみたい、学習者の 様子を 見てみたいと思いました。
イラストやビデオを活用した活動支援が準備できた。実際に使ってみる予定でしたが、学習者さんの都合で まだ実践ができていません。
文化協会に入会できれば責任が発生するので、しかりやっていきたい
〔宿題〕 学習教室以外でもできる「対話型活動」について考えてみる。 「対話型活動」は、対面学習（オンラインを含む）以外は難しいが、メールを使って学習し、その後の対面学習で 内容の確認を行う。
やさしい日本語で用いられる文型・文法を共有し、生活場面に必要な語彙を組み合わせると統語的な学習を進めると よいのではないが。
つつい日本人は～と言いがちだが、なるべく私は～で意見を言うように心がけた。しかしまだ私にとっては難しい。

令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」

5日目 アンケート結果

【研修概要】

名称 : 令和3年度 支援者対象研修「対話ができる支援者になろう」
まとめ・ふりかえり～他者との対話と自己内対話～

講師 : 神吉 宇一氏
(武蔵野大学グローバル学部准教授)

日時 : 2022年1月22日(土) 13:00~16:00

場所 : 対面にて開催

参加人数 : ①受講者46名 ※申込89名に対し51.6%の参加
②HIA6名参加

回答数 : 31名 (67.3%)

【アンケート結果 質問1「研修会の内容について」】

質問	回答（選択式）
質問1. 内容について	とてもよかった（21人、67.7％）
	よかった（10人、32.3％）

質問	回答
質問1. 研修会の内容について 「とてもよかった」 「よかった」理由	対話が多く、有益だった。
	話し合う時間がおおく、自分の真意と向き合えた。
	行政の取り組みが弱い理由として、移民政策に強く影響を受けていることが聞けた。
	なぜ携わりたかったのかを認識できた
	自分について考える時間や他の人の考えを聞いて話し合う時間を持つことで、短い時間でしたが対話を実践できた
	他の方々の考えや体験がたくさん聞けて良かったです。
	他の地域の方たちと十分な時間楽しく会話ができたので。
	1. 神吉先生のお話を聞くことができたから。2. 今までの5回を振り返ることができたから。3. ミーティングルームで他の受講者の方と考えを共有することもできたから。
	なぜ自分が日本語学習支援に関わっているのか考えることができた。
	経験の浅い私でしたが、とてもわかりやすく、様々な視点で、対話について考える機会をいただきました。
	3時間長いかなと思いましたが、振り返りの時間対話の時間がありあつという間に終わってしまいました。
	参加者の皆さんとブレイクアウトルームで沢山意見交換ができた
	ミーティングは必要なんだと分かってはいるのですが、多かった。 でも、沢山お話が聞けました。
	まとめ、振り返りをすることで、内容の定着に役立ちました。
	グループで話が共有できたいこと。どうしてこのことに取り組んでいるのかを聞けたのは、とても興味深かった。
	「なぜ対話なのか？」という、その意義と社会背景について非常に分かりやすく説明して下さい、そこから、多くの考える時間やグループでの対話の時間を用意して下さい、たいへん良かったです。
	大義での共生の必要性と現状がわかった。 グループミーティングでほかの方の気づきや実践が聞けた。
	ブレイクアウトルームでの課題についての発表、時間が十分あり支援者同士のコミュニケーションがとれて良かった。 そして、学習内容も多彩で充実していた。
	自己内対話をする時間がたっぷりとられていて、考えを深めることができた
	今日は他の参加者の方たちとお話する時間が多くあり、その中でいろいろな支援者の方といろいろな学習者の方の具体的なお話も聞けましたし、アドバイスもして頂いてとても勉強になりました。
	内省できたからです
	講習を通じて、考えていたことに非常に近かった。
	先生が今日の活動のポイントでおっしゃっていたように、「他者との対話」「自己内対話」の時間が多くとられていて、しっかり考えることができました。他の皆さんのお話からも刺激を与えてもらいました。
	ブレイクアウトでの話し合いがとてもよかった。 時間が十分にあり、参加者の話の中身が充実していた。

対話の重要性を再確認できた。学習者が発信者になれるよう、待つ姿勢をとるよう努めたいと思います。

ディスカッションの時間が多く、他のボランティアの方の話が聞けた。

ほかの参加者の方々の意見をたくさん聞くことができて、その中で気づくことや得ることも多くあった。

【アンケート結果 質問2「研修会のわかりやすさについて」】

質問	回答（選択式）
質問2. わかりやすさについて （選択式）	とてもわかりやすかった（17人、54.8％）
	わかりやすかった（13人、41.9％）
	ふつう（1人、3.2％）

質問	回答
質問2. 研修会の内容について 「とてもわかりやすかった」 「わかりやすかった」 「ふつう」 理由	先生のご説明が明解だった。
	先生の体験等を交えて話してくださったので分かりやすかった。
	「考える時間」「準備する時間」をとっていただいたことがよかった
	考える時間や話し合う時間を多くとっていただいたから
	BORで他の参加者の意見が聞けて面白かった。その上での講義だったからか。
	説明が丁寧でよく分かりました。
	地域の日本語教室に携わっているものに寄り添った内容であったから。
	時間に余裕をもって進行してくれたから。考える時間も十分あったから。
	言葉にすることで自分が考えていることが、まとまる感じが味わえた。
	今回は、グループでの対話がたくさんあり、その中で、たくさんの新しい学びがありました。そして、自分の考えや思いにも、目を向けることができました。
	色々な年齢や地域の方のお話が聞けて気づきや共感もありました。
	分かりやすいというより、自分の考えをまとめさせていただいたような回でした。
	先生が意図したことを理解できたし必要だなと思った
	対話する時間を多くとって頂いたので、実際に対話することで得るものの重要性を知ることが出来ました。
	資料や進め方のねらいが明確。
	伝えてくださった情報が一方的ではなかったですし、量的にもちょうどよく、何に集中して考えたらいいのかが分かりやすかったためです。
	スキルアップを目的に参加。講師のレクチャーに加えて、グループミーティングでの話し合いが参考になりました。
	振り返りを繰り返し、まとめをいただいてより方向性がはっきりしてきた。
	日本の人口がどんどん減少している中で、外国の人達の力がなければこれから産業などが維持できないという現実を再確認して、どうすれば共生社会を作れるかについて考える機会になりました。
	同じような対話を何度も繰り返すことの学びがわかったから。
	始めはBreak out がとても多いと思っていましたが、徐々にその意味が解ってきました。日本語を使って「対話」することの効果を実感できました。
	これからすることが少し先まで示されていたこと、ブレイクアウトルームに行く前にしっかりと今からすることが示されていたので、分かりやすかったです。
	ただ、私のグループでは、考える時間3のところ、つい4で話すような気づきまで話してしまったので、4の時には少し違う内容を話すことにしました。
	内容の軸がしっかりしていて、わかりやすかった
	考える時間を何度もいただき、受講者同士の意見交換ができ、有意義な時間を共有できました。
	語学ボランティアについてはまだ経験が少ないですが、考え方を整理することができました。受講者同士のディスカッション中に話していて気づくこともあり、対話の実践と理解しました。
	インドコミュニティの分断するのではなくみんなが主体になるというお話はわかりやすかったです。

【アンケート結果 質問3「今日の研修で気づいたこと、感じたこと」について】

質問	回答
質問3. 今日の研修で気づいたこと、感じたこと	皆、人生を豊かにするべく、日本語教育に携わっていると感じた
	学習さんに寄り添い、自己開示して対話するのが大切。
	多くの仲間がいること
	コミュニケーションは日本語でなくても構わないこと
	人にはいろいろな考えがあって、それをシェアして認め合うことは大切だと再認識しました。
	地域日本語教室の活動の中に会話の時間を設け、それを通して学習の定着を図るのが有効と感じた。
	コミュニケーションが好きで、語学にも興味があって、ボランティアを始めました。人の役に立てるのが嬉しいと思っていましたが、自分自身も成長できていると感じます。
	初回からふりかえて、色々と思い出しました。再確認の大切さが分かりました。
	改めてなぜ自分が地域の日本語教室にかかわろうとしているのかを再認識した。
	他の方の考えや意見を聞き、自分の考えをまとめることはとても大切だと思いました。そして、それには「他者との」「自己との」対話が欠かせないと実感しました。
	私は日本が好きということ
	対話をするだけでなく、そのあとのふりかえりが大切だということ
	自由な発想でリラックスして相手の話をよく聞くこと 再確認しました。
	対話は自己内対話が大切だと考えるが、それだけだと行き詰ってしまうので、今回のように同じ立場の人たちとの意見交換も大切であると考えた。
	ミーティングでみなさん使命感をすごく持っていて、時間を費やしてるのだなと知りました。
	人それぞれに考え方、背景、目的が異なる。それを気づかせてくれるのは対話なのだとことを学びました。私は、今まで自分の経験を基本に人はきっとこうしてほしいのだろう、こうするべきだと考え行動していました。しかし、本当に人がしてほしいことをするには、対話をしなければわからないということに気づきました。
	対話をどうする？ではなく、何のための対話を考える事について、改めてその大切さを感じた。
	これまで聞いたことをボランティアの立場で、どのように現場で実現させていくことができるのか、最後に質問させていただき、「運営会議の時に学習者の方もいっしょに参加する」というアイデアを頂きましたが、理にかなっていませんし、素晴らしいと思い、今度、みなさんに提案させて頂こうと思いました。。
	神吉先生のおっしゃる「共生」とはとても大きなもので、実際に身近に感じることはありませんが、「社会問題として重要だと認識すること」は大切だと思います。
	ボランティア講師の方々の実践内容が参考になりました。また、「ふりかえり」の大切さにも改めて気づきました。
	振り返り作業の重要性、目的の追求を怠らない姿勢の重要性に気づいた。
	外国からの方たちが日本社会に入っていくことで、日本の社会がもっと多様性を認める社会に変化していき、それは、私たちにとっても暮らしやすい社会になる。
	自分が何故今のボランティア活動を始めたのか、何をしたいのか改めて考えました。
	外国人が日本の中で、お客さんではなく地域の一人となれたら素晴らしいと思いました。日本語学習を通して、そのお手伝いができるよう頑張りたいと思いました。
	対話を繰り返す度に自分発見ができ、共に語り合う方々と連帯感が生まれ、どんどん居心地が良くなるのだと思いました。
	海外をルーツとする人にとって、日本語は共生のための一つのツールであって、共生の実現には、支援者の寄り添う心が不可欠である。
	「みんなが自分のできないことを社会に発信し、それを当然のように他者が補完する社会であればいいな・・・」
	ディスカッション2で気づいたこと
	・メンバー全員が「日本語教育」の話しをしなくなった。
	・人間の根っこの部分由来の動機・気持ちを話している。
	・結局、「日本語学習」は、対話の手段

・自己内対話によって、私が地域の日本語教育に関わりたと思った動機について、改めて気づかされました。また、いろんなことを考える際に、知らず知らず「どうやって」が優先されてしまいがちになることにも気がついたので、今後気をつけようと思いました。

・グループのみなさんが自己開示をしてくださって、気持ちや考えを共有することができ、「同志」というような気持ちになりました。いろいろな立場の方がいらっしゃったのですが、それぞれが違う役割を担いながら、「同志」とともに同じ方向を目指し進んで行こう！という前向きな気持ちになれた楽しい時間でした。

・セミナーそのものが「対話」「振り返り」を軸にしてくださっていたので、その良さを自分自身で実感することができました。「今日の活動のポイント」で具体的に挙げてくださったことを参考にさせていただいて、これからの自分の実践に考える時間や考えをまとめる時間、ふりかえり活動の時間をしっかり組み込んでいきたいと思いました。

どう教えるかではなく、何のためにやっているかを考えることで見えてくるものがあり、相手に寄り添うことが大切。できないことを発信できる力をもてるようにすることでつながることができ、それを通して、輪が広がる。

考える時間や考えをまとめる時間を確保したい。

時代に応じたupdateの必要性。相手によってゴールが違い、それによって対応の仕方も変えること。

日本語を勉強するのは日本語を話せるようになることがゴールではなく、それを使ってそれぞれが自分らしく生きるため、やりたいことが出来るようになるためのツール。

地域の活動の場は、その個人に寄り添い、日本語で対話して誰もができないことも発信できる場所。

研修会はいいけれど、苦手なのはグループワークです。今回はよかったです。

今回事前資料を見た時、たくさんブレイクアウトがあるとわかり、気が重かったのですが、日本語教室に関わる動機や夢や思いなど率直な気持ちを聞くことができ、また、わたしの話に耳を傾けていただき、よかったです。

思いを素早く言語化できなくても、ゆっくり待って互いに耳を傾けることができてよかったです。

日本語教室に関わる動機のような話は、ふだん日本語教室のボランティア同士で照れくさくてできません。また、今コロナで、ボランティア同士で、あれこれ話をするのができません。語り合うことは大事なことだと思いました。

なぜ地域日本語教育に関わるのか→対話は互いを理解するための重要な手段→言語の壁は厚く高いが、それを乗り越えないと相互理解が生まれない→対話による、差別のない、対等な人間関係を実現するには言語教育環境が必要。

【アンケート結果 質問4「よくわからなかったこと、疑問に思ったこと」について】

質問	回答
質問4. よくわからなかったこと、 疑問に思ったこと	なぜ「地域の…」から研修が企画されたのか。
	政府が移民政策に後ろ向きな理由が気になっていましたが、今日説明していただいて良かったです。
	最初に昔の教え方とは違ってきているとは どんなことだったのかと思い、これが思い出せません。
	外国人の地域への巻き込み方
	地域を巻き込んで交流がイベント参加で終わり。なんてことがよくあることで地域によっては難しい問題だと思いました。
	今回の研修を活かした活動が上手くできるだろうか、疑問符がついています。
	先生の教え子たちは外国人、LGBT等普通のこととして話しておられたが、疑問
	セミナーでの「共生」の環境には居ないので、私なりに身近な「共生」を実行しようとおもいます。 「マンツーマンレッスンでのふりかえり」とは...「今日はどんなことを話し合いましたか？」というようなことでしょうか？ 90分のレッスン時間に、これに時間をかける必要があるのか、考えてみます。
	全体を通して、支援者としてすべき行動範囲。
	外国人との交流に関心のない人たちにどのようにして関心を持ってもらうか。
	質問があります。 今日のテーマとは離れているのですが、最後なので聞かせてください。
	日本に永年暮らして日本語がとても上手な学習者さんの場合です。 どんな話題でも問題なく会話ができるのですが、いつも助詞の使い方を間違えるポイントがあります。2回くらいは指摘して直したのですが、やはり次の時も同じ間違いをします。おそらく永年そのままで会話をしてくて、何も問題なかったのだと思います。こういう場合はどうすれば良いのでしょうか。 たくましい日本語という考え方でいえば、全く問題ありません。 ただ、あまりに日本語が上手なものでもったいないといつも感じています。
	長い目で見ると、共生社会で共存するのは、支援者であり、学習初期の日本語指導者（日本語教師）ではないのではないか？ もしそうなら、日本語教室がボランティアの責任は大であり、日々の研鑽がいままで以上に必要である。
	日本語を母語としない学習者が求めることは何か？個々により違うと思うが、どれだけ寄り添えるか？
	現在の授業の進め方について受講者がどう思っているかを、どのように確認すればよいか。
	どうやって対話するか→何のために対話をするか：趣旨は理解できるが、ボランティアの立場からすると方法論は重要。

【アンケート結果 質問5「本日のあなたにとってのキーワード」について】

質問	回答
質問 5. 本日のあなたに とってのキーワード	「教えること」と対話は相性が悪い。
	対話と自己内対話
	「考える時間」
	サイドドア。 対話は日本語で話すことではなく理解・共生
	私の理想の地域とは？
	学習者のニーズ, 上達, 満足
	ふりかえり
	学習者が自分らしく日本で暮らすのが理想
	多文化共生のための対話
	主体性 対話
	どうやって対話をするか（教えるか）ではなく、なんのために対話をするか
	こちらが緊張していたらあちらも緊張
	リラックスして笑顔で対応 お互い間違えてもok 楽しみましょう。
	「同じ話を繰り返す」確かにそうだと思います。一度できただけでは次の時には忘れていきます。
	ふりかえり
	考える・振り返る時間は大事、正解は不要、何のために／何を・・・、が大事
	対話の欠如
	みなが主体的に参加して、地域の教室を作り上げていく。
	ふりかえり
	支援者としての目的意識の確立。
	「どうやって対話するか」という方法論ばかりにとられることなく、「何のために対話するか」「対話の先に何を求めるか」を考えながら活動していきたい。
	共生社会。「わたしの考え」あれもいい、これもいい。
	自分発見は対話から
	「対話」とは結局、個々の学習者に寄り添う気持ちである。
	「どうやって」にもややもしたら、「何のために」「なぜ」を考えよう。
	地域を作っていく主体となる。
	瞬発力だけでなく、考える練習・取り組みをしていく必要がある。
	ふりかえり活動の重要性。
	フィードバック
	Feedback

【アンケート結果 質問6「前回（第4回、12月15日水曜日）の自分の宿題をしてみて思ったこと、感じたこと」について】

質問	回答
質問6. 前回の自分の宿題をしてみ て思ったこと、感じたこと	『できる？できた！！...』の教材を知ることができ、よかった
	学習者さんの心に寄り添うことが大切。
	「関心ある分野」を聞き出すことは自分の世界を広げることににつながることである。
	「はじめまして にほん」が大変よくできている教材であること
	文化庁は、国際交流基金の参照枠より、より日本にける生活に即したCan-doを考えて、新しい参照枠を作成したということだったようだ。
	学習者がいつも行く店のチラシを持って行き質問などすると、話が広がりました。
	学習者が話してくれそうな話題でも盛り上がりかけたので、工夫が必要だと感じた。
	学習者に質問してもらい、自分のことを答える時に、だんだん難しく複雑な言い方になってしまった。 でも、それをわかるように説明し時間はかかったが理解してもらえた。だから、学習者の勉強になったかなと思いたい。
	学習者さんがいなくて実行できませんでしたが、「できる？できた！！*」を読んで、また、新しく学習者さんが来られたら、いろんな場面を想定しながら、チラシや写真などを活用したいと思いました。
	閉じた質問、開いた質問 会話を楽めるように内容をお正月料理にしてみました。 こちらは返事だけで結構話してくれました。相手の興味のある事だったの会話が続きました。
	自分が何を宿題としたのか忘れてしまいました（プリントへの記載漏れ）。すみません。ただ、ボランティア活動としてではないところですが、できるだけ学習者に話してもらいようにしました。話せないで「わかりません」と言ってくるのでわからないところがわかるようになりました。わかりますか、いいですか、では「はい、大丈夫です」でした。
	今の私が担当している学習さんにはなかなか難しかったのですが、正解はないのでは？ と思いました。
	地域の日本語教室において学習者主体、双方に質問できることの重要性を知ること、対等な関係づくりに大切だ、と感じました。
	日本語を使う楽しさを感じる仕組みを、授業で取り入れようと思い、真正性のあるテーマを選び、教案を準備したもの。。。逆に内容が難しくなってしまう、準備しただけで実行には移せませんでした。
	学習者の発話機会を増やすこと。興味のある話題からレッスンを始めると学習者の発話が増えること。 「やさしい日本語」にこだわりすぎると話しにくいので、まずは一文を短くする。 対話しているので、わからないことはどんどん質問してもらう。レアリアを活用する。
	問題意識を持つのも大切だが、やはり実践を重ね改善をしていくことの大切さ。
	「できる できた 暮らしの にほんご」を活用して、日本語支援をしようとしたが、全く話せない人には、このテキストを使う前に、さらに準備が必要であった。
	ゼロ初級の学習者さんですが、「お正月休みに何をしたか？」ということについて聞いてみました。とても楽しい時間でしたが、やはり知っている単語が少なすぎて、もう少し学習が進まないと対話は難しいと感じました。
	自己開示による対話は、相手との距離を縮めるのだと実感できました。寄り添うためにはまずオープンでいることで、自分を語らずしての支援は上滑りとなると感じました。
	「標準的なカリキュラム案」 →内容が総花すぎて全体がつかめない。 「同 活用ガイドブック」 →手順としては理解できるが、カリキュラムが昔の「教える」的で学習者への要求を一方的に羅列し、プログラムに対する評価について、触れられている部分が非常に「手を抜いて」ある。ここが、地域日本語教育を実施継続するうえで一番重要な点であると思う。 UNUTY教室での学習者のコース例は別紙参照のこと。 一人の学習計画を作るのは大変な作業。「カリキュラム案」を作った人は、実際に計画書を作ったことがあるのだろうか？
	地域の日本語教育の多様性を改めて感じました。そして、それは教える側ではなく、学ぶ側が選択していくものなのだと感じました。
	国の施策などもかわってきているので、それもしっかり知ることも大事。
	残念ながら、12月1日と日本語教室は活動休止中ですが、再開したら、これらの研修で得た知識を行かせていけたらと思います。
	新聞記事「訪日客の減少」を資料に経験や考えを議論した。様々な場面設定によって使える語彙が増えると思う。

<p> いろいろな生活場面での支援の具体例としては 市役所や病院などへ付き添い、そこで話される日本語をやさしい日本語にして対話をするという役割が 今までも何度かあり、どこまで踏み込んでいいのか迷うこともありましたが、地域の支援としては不安に思うことがあるときに窓口となれる場でありたいと思いました。 </p>
<p> Can-doリストをよく見てみる。 あまりに多く、細かいので、気が重くなりました。 学習者もボランティアも、高齢化している教室で活動しているのでそう感じるのでしょう。IT技術の急速な普及についていけず、can notだけです。その上、加齢によるcan notが増えています。 CEFRとか、JFスタンダードとかの角度ではなく、生涯学習としての日本語学習をどうとらえるか、一生成長したい人間として考えていきたいと思います。 </p>
<p> 地域共通言語としてのやさしい日本語は、生活に必要な最小限の文型・文法学習と場面語彙学習により短時間で学習できる。 </p>

【アンケート結果 質問7 研修全体について、ご感想やご意見がありましたらご自由にお書きください。】

質問	回答
質問7. 研修全体について、感想 意見など	学習者さんとの関係が厳しい時にあったので問題解決に当たっての視点が増えた。
	「対話をしていく」ことに少し勇気もてるようになりました。
	今の前向きな気持ちを持続させていきたいです。
	先生方、事務局のみなさん、ありがとうございました。
	参加してよかったです。ありがとうございました。
	地域日本語教室のレベルアップを図る上で、ボランティアが何をすべきかを考える参考にするために参加したが、もう一方の参加者である学習者のニーズ、上達、満足度に気を配る必要があると再認識させられた。「対話」を「雑談」ではなく「学習」のレベルに引き上げる工夫が必要であると感じ、幾つかヒントが得られた。
	5回の研修会、ありがとうございました。どの回も充実した内容で、参考になることがたくさんありました。また企画していただけたら嬉しいです。
	今回他の地域の方と意見交換できて、とても楽しかったです。ありがとうございました。
	オンラインで多数の受講生がいる研修でしたが、他の受講生と対話できる機会もあり、学ぶことの多い5回でした。それぞれの回の講義内容もとても参考になりました。地域の日本語教育において支援者としてどういう意識で外国人に向き合えばいいのか方向性を見出すことができました。充実して学ぶことの多い研修をどうもありがとうございました。今後また、こういった日本語支援者同士と一緒に学び合える場があるといいと思います。
	やさしい日本語を織り混ぜつつ、余裕を持って傾聴したくさん学習者が話せる場面を作っていきたい。たまに自己開示して。(私が話すときと長くなるので)
	とてもいい講義を開催していただき、ありがとうございました。日本で生活をしている外国人にとって、まだまだ理想的な社会にはなっていませんが、日本語ボランティアを通じて、少しでも、困っている人のお役に立ちたいと改めて感じました。これからも、様々な学びをしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。
	どちらの先生方も資料を作ってください本当にありがとうございました。 授業を受ける側 する側 貴重な体験ができました。 有意義な時間を過ごすことができました。 ありがとうございました。
	兵庫県国際交流協会の皆様、講師の先生方、ありがとうございました。今回参加させていただき、参加者の方々と交流することが出来てとても良かったです。今回学んだことをこれからの活動に活かしていけたらと思います。ありがとうございました。
	研修はいつも色々な視点をくれてありがたいです。 一度スタッフの方々がされている日本語教育の実践中にある四方山話を聞きたいなと思います。
	私が地域の日本語教室に参加したいと思ったきっかけは、自身が海外生活をした時にとても親切にいただき同じように訪日された方にも快適に日本の暮らしをほしいと思ったからです。 地域の日本語教室において、対話型の授業がどうして大切なかがよく理解することができました。
	さまざまな背景や教材など、学ぶことができました。ありがとうございました。
	神吉先生のお話、たいへん勉強になり、意識が変わりました。ボランティアの立場でできそうな現場ですぐに実行できる提案もして頂き、大変ありがたかったです。2回目～4回目の講義は、じゃあ「実際にどうしたらいいの？」という具体的なことへの事例を紹介して下さったのだと思いますが、一方的に教えてもらう形式の講義ではなく、現場で活動されているボランティアの方々とブレイクアウトルームなどで話し合う時間が、もっとほしかったなと思いました。ボランティア歴が長い方もいらっしゃるようだし、各自治体での取り組み、個人でされているクラス活動について伺ったり、悩み相談、アドバイスを頂いたりという時間があれば、もっとボランティアの方々と地域を超えて横のつながりを築くことができたりかもしれませんし、最後の対面を楽しみにしていましたが、この情勢下でなくなってしまい残念でした。このセミナーで学ばせていただいたことはたくさんあります。これから、現場の方々にお伝えしていきたいと思います。素晴らしい企画をありがとうございました。

講師の方のレクチャーに加えて、グループミーティングが（雑談のようですが）、参考になることも多く楽しかったです。オンラインだと参加しやすいので、今の時期、どんどん計画していただきたいです。

日本語教育能力検定試験が国家資格に格上げされる可能性もあり、ボランティア講師のレベルアップが必要だと思います。私は資格は取得していますが、経験不足なので、皆さんの活動内容をうかがうことから多くの学びがあります。もちろん神吉先生のレクチャーも、現状を知ることができて参考になりました。

良いスキルアップの機会を作っていただき、有難うございました。

今後とも宜しくお願いいたします。

ZOOMでの研修でも、良いことが多々有るので、色々な課題について続けて欲しい。

学習支援、日常生活での支援等で、多彩な資料、手法の紹介が欲しい。

このような機会をいただきありがとうございました。どのお話もなるほどと思うことばかりでとても勉強になりました。

他の参加者の皆さんからも、いろいろなケースのお話も伺えて、とても楽しかったですし勉強になりました。

全回参加させていただきました。経験の浅い私には学びの多い研修となり、有り難かったです。お世話になり、ありがとうございました。

「非常に内容の濃い」講習でした。いままで色々考えて来たことも一つの方法であると思えるようになりました。ありがとうございました。でも、疲れしました。

初めは、地域の日本語教育について、支援者さんがどのように考え、どのように行っているのかということを知るために参加したところがあったのですが、今日の振り返りの時間のおかげで、それだけではなく、自分がどのように考え、どのように行ってきたか、行いたいのかということに考えを巡らせることができ、とても充実した時間を過ごせました。ありがとうございました。

今回ブレイクアウトルームでの話の内容が充実していたので、まなべることがたくさんあった。

この経験から、自分の地域だけでなく他の地域の方たちともじっくり話ができる機会があればと思った。

講師の方の話を聞く形式ではなく、参加者同士で話すだけの会があっても、面白いし得るものもあると思った。

Zoomにより、有意義な研修を受講でき、ありがたく思います。日本語スキルアップだけでなく、生活全般、なんでも相談所みたいな側面が多々あります。SNSを通してつながっていますが、できうる限りのサポートをして行きたいと思います。12月初旬の赤ちゃんが生まれたベトナム人夫婦がいます。ことばの不自由な中たいへんなこともあるかと推察します。オミクロン株の心配な中でもありますし、少しでもお役に立てればと思います。ありがとうございました。

実例が多く、対話について様々な角度から考えることができました。まだ中級・上級レベルの受講者しか経験していないので、初級レベルでは全く違う問題点があることや工夫が求められることもわかりました。ありがとうございました。

とても有意義な研修をありがとうございました。

先生方のお話を聞いたり、ほかの方々とお話しさせていただいたりする中で、ボランティアとして活動する中でずっと迷いながらであったことが少し整理されてきました。

対話を大事にしながら 私個人はもっと日本語学習の勉強をして常にそこそこの準備を心がけておくことが必要だと感じました。

子ども支援者対象オンライン研修会アンケート結果

【研修概要】

- 名称 : 令和3年度 外国につながる子どもへの日本語・学習支援を考える研修会
「学習力を育てることにつながる日本語指導」
- 講師 : 田中 薫氏
(とよなか国際交流協会 とよなかJSL)
- 日時 : 2022年1月23日(日) 9:30~12:30
- 場所 : Zoom オンラインミーティングにて開催
- 参加人数 : ①受講者76名 ※申込91名に対し84%の参加
②HIA 6名参加
- 申込者住所 : ①県内: 神戸25名、西宮7名、尼崎7名、姫路6名、明石6名、
加古川5名、宝塚4名、芦屋4名、丹波3名、高砂2名、朝来2名、
各1名... 三木、淡路、たつの、丹波篠山、三田、加西、西脇
②県外: 大阪市3名、豊中2名、吹田1名、摂津1名、堺1名、茨木1名、
京都市2名、山梨県1名、埼玉県1名
- アンケート回答 : 41名(回答率54%)

【アンケート結果 質問1, 質問2】

質問	回答(選択式)
質問1. 内容はどうでしたか (選択式)	とてもよかった(36人、88%)
	よかった(5人、12%)
	ふつう(0人)
	あまりよくなかった(0人)
	よくなかった(0人)
質問2. わかりやすかったですか (選択式)	とてもわかりやすかった(28人、68%)
	わかりやすかった(12人、29%)
	ふつう(1人、2%)
	すこしわかりにくかった(0人)
	わかりにくかった(0人)

【アンケート結果 質問3「興味を持った内容」】

質問	回答（ママ）
質問3. 特に興味を持った内容について、理由と一緒に書きください。 （記述式）	<p>意欲がない子供たちへの指導方法は指導者の力量にかかわってくるということがわかりました。また頑張ります。ありがとうございます。</p> <p>子どもの実態とレベルに関して。本校では、カリキュラムがないため。</p> <p>実際の動画を見ながらの研修はとても分かりやすかったです。</p> <p>具体的な指導の流れ、方法を教えていただき、外国にルーツのある児童への日本語指導がイメージできました。</p> <p>教科と日本語指導連携 実例があってわかりやすかったです。</p> <p>日本語の勉強をどう教科学習につなげるかというのを具体例をたくさん列挙されて教えていただけて大変勉強になりました。</p> <p>日本語の診断について興味深かったです。</p> <p>簡単に日本語能力が診断できるというのが、興味深かった理由です。</p> <p>子どもへの指導は、日本語を教えるだけではない点</p> <p>即実践できるような内容が多く、参考になりました。</p> <p>理科や社会など教科の学習のよりよい理解のためには、必要な語彙を増やす必要があることがわかりました。また、何を学ばせたいのかをはっきりとさせると、自ずと教材の作り方もシンプルに分かりやすくなるのだなと感じました。具体的に教えていただき、ありがとうございました。</p> <p>日本語の支援でつく基礎学力について、の部分が大変興味深かったです。日常の日本語と教科で必要な日本語に違いがあることに難しさを感じています。</p> <p>教科と連携することで、子どもの困り感を軽減できれば、と改めて思いました。</p> <p>教科につながる日本語指導について、具体例がありわかりやすかったです。</p> <p>田中先生が現場で生み出された教材と、普段自分が留学生に用いているものとのさまざまな違いを感じました。子どもの日本語、また教科向けの教材についてももっと勉強したいと思うようになりました。たくさんの動画を拝見できたことありがたかったです。また、自治体、教育委員会、学校関係者のかたとの交渉、相互理解のための「コミュニケーション」力を自分自身が持っているか、持たねば、というお言葉にはハッとさせられました。もっともだと思いました。</p> <p>何を教えたいか、自分で考えて、教案を作る点。いろいろな方向からアプローチできることは発見でした。単純に語句の導入でなく、生活の結び付けて教える点。子どもの集中力、興味をもたせる教案、授業づくりが大切ということが大事なことがよくわかりました。</p> <p>日本語の基礎学力と教科学習を癒合させる教え方に興味を持ちました。教科学習が自然にできると思います。</p> <p>教科につながる指導</p> <p>教科とつなぐ日本語指導について。大人とちがって学力もつけていけない子どもたちへどのように教科学習へと連携させていけばいいのかがいつも疑問でした。どういうところを着眼点としたらいいのかが大変よくわかりました。</p> <p>具体的な指導方法を動画も交えて詳しく教えてくださったところです。見る・学ぶ機会がありませんので、とてもわかりやすかったです。</p> <p>先生ご自作の教材が素晴らしいと思いました。</p> <p>日本語指導の視点から教科へつなげていく方法。いつも悩み悩みやっていたので、とても参考になった。</p> <p>レベルの評価方法</p> <p>教え方で関連性のある言葉はその時に教えるのが良い。との言葉が今後の教え方の参考にしたいと思いました。</p> <p>様々な学習指導の順番について、「理由・効果」を説明していただき、モヤモヤしていたものが吹き飛びました。同じ学習事項でも、教える側・学習する側双方、納得できる方法があると思えました。田中薫先生の具体的な説明は、次回の活動にすぐに役立ちそうですし、その一方、「児童への日本語指導の意義」に関してのお考えは、長期にわたって活動の支えとなります。ありがとうございました。</p>

具体的な指導方法。（たくさん例が挙げられていてわかりやすかった。動画がある点も良かった。）指導方法や計画を表や文書に書き起こし、誰にでも客観的にわかるようにした点。（皆がわかるだけでなく、自分がかじけそうな時の指針になるため。）日本語教育と実際の授業を連携させて教える方法。日本語教育のことばかりを考えていたが、視点が変わって良かった。子供が困っていること具体例がわかったので、指導方法をどう変えればいいのか考えるヒントになった。

「日常会話と学習言語の境界を超えるために」と「初級段階で教科につなぐ視点」が大変勉強になりました。子どもは日常会話の習得が非常に速く、どのタイミングで教科学習の指導を始めるべきか悩んでいたため。

対象児童・生徒の実態把握をし、それに基づいて指導計画を立て実践していくという具体的な手立てを資料と共に示していただけだったので、よくわかった。

最初の段階で基礎がとても大事である事が分かりました。一つ一つ確実に学んでいける様に具体的な方法と目標が必要なのも分かりました。

発音について、舌や歯の位置、手を使って母音を表す仕方に興味を持ちました。

今、小学4.6年児童に関わっていますが、発音がとても大切だと感じたからです。

「理科の教科書から動詞を拾い内容の理解を深める」など、教科の中で日本語のどの部分を意識すれば理解しやすくなるのか、分析・指導することで教科の理解へつなぐことができる、という内容がとても具体的で参考になりました。

「教科へつながる」ものが具体的になんであるのか、田中先生が明確に提示してくださったのがとても良かったです。今後の支援の目安になりました。

教科に必要な語彙指導について。語彙の指導法について理解できたので。

預かったせいとさんの語彙力がかなり厳しいのでいろいろ試してみました。（小1）

例えばたべものの絵カード、色塗り、プリント絵言葉、などより関係のあることばを考えてもらったりしています。良い案が教えてください

教科の具体的な支援の仕方について、参考になったから

具体的な資料がとても多かったため。

【アンケート結果 質問4「今後取り上げてほしいテーマ」】

質問	回答（ママ）
<p>質問5.</p> <p>今後、「外国につながる子どもへの日本語・学習支援を考える研修会」で取り上げてほしいテーマ等があればご記入ください。</p> <p>（記述式）</p>	学校とボランティア教室との連携方法
	定期的にこのような研修会を実施していただければと思います。
	今日の先生のお話が盛りだくさんでしたので、具体的な指導案の立て方など、レベル別の詳しいお話を聞けたらいいな、と思います。
	今日のように、すぐ応用実践できる内容をお願い致します。
	高校生に対する日本語・学習支援について
	今日のような専門家のかたの実践例、教材例、子どものエピソードのお話はありがたいです。また学校の先生や自治体関係者との相互理解の機会があればよいのではと思います。
	小学校、中学校、高校、年代別での日本語指導について
	今日の話にもありましたが、日本語学習の支援方法のいろいろな事例を知りたいと思います。
	先生の授業参観、授業指導など
	子どもたちへの支援だけでなく、保護者への対応や支援についてや就学前の子どもたちへの支援なども取り上げてほしいです。
	教材を自作するのはなかなか大変ですので、市販の教材を使用することが多いのですが、市販の子供用教材の実際の指導法などの研修があればうれしく思います。 作文指導の研修も希望します。
	家族の都合で日本に来ざるを得なかったなどの理由で日本を受入れられない子ども。日本に来てからずっと友達ができず、日本語教師に友だち関係を求めてくる子ども。宗教や習慣の違いで保護者の価値観とギャップが生じ自暴自棄になっている子ども、その兄弟も精神的に不安定になっているなど、様々な心の問題に突き当たります。難しいことですが、そのような事例と対処のご経験などあればうかがいたいです。
	県立芦屋国際学校進学のための詳しい情報提供、作文の過去問への取り組み方、面接への準備のしかた、これまでの合格者の内訳、入学後の様子・後期卒業後の進路など、子どもの保護者と支援者双方にわかるようなセミナーを実施していただければ、たいへんありがたい。学校自身による説明会とは別に、第三者（研究者や専門家）の視点から、客観的に読み解かれた情報がほしい。
	学齢期前の児童に対する対応方法
	それぞれの母語とか、地域の違いによる適した教え方があれば教えて欲しい
	定められた時間内での、学習内容の時間配分。
	児童の興味が、様々に広がっていくとき、その日に学習すべき事項と、知りたがっている事への説明時間のバランス。
	特にありません。
	学年別の具体的な教科指導内容について。
	散在地域の子供たちへの支援の方法・組織の立ち上げ方
	感情的なケアについてどの様に援助できるか。
	本日のように具体的な指導につながる内容の研修会がいいです。
	低学年の子どもに対する文型指導について
	今は、じょうきの事でいっぱいです。
	補助教材は母語がいいのか、わかりやすい日本語がいいのかなど、教材について
	中学生となると受験を控え、テストでも点数が取れないと進路選択が難しくなる。取り出し授業とテストや入試への対策について知りたい。

【アンケート結果 質問5「その他ご感想やご意見」】

質問	回答（ママ）
6. その他、お気づきの点やご意見・ご要望があればご記入ください。 (記述式)	具体的なお話が多く、とても分かりやすく参考になりました。今日の内容を実践につなげたいと思います。ありがとうございました。
	参加出来てよかったです。ありがとうございました。
	ぜひ、田中先生の著書を購入しようと思います。
	本日はたくさんの資料とお話をありがとうございました。 大変勉強になりました。
	長時間の研修で、盛沢山の内容をご教示いただき、ありがとうございました。様々な分野で活動している大人たちが、もっと連携して、子どもたちにいい教育をしてあげないといけないと改めて思いました。自分も何かかかわれることを見つけて、やっていけたらと思います。
	忙しい日々の中、田中先生のお話を伺う度に「初心忘るべからず」ということを思い出し、自身の指導を振り返り、より良いものを学習者に提供できるよう今後も精進していこうと思います。このような機会を頂き、ありがとうございました。
	田中先生、スタッフの皆様、貴重な機会をありがとうございました。
	先生の著書は2冊とも購入しています。先生の著書にある現場から生まれた教案、教材を、自分の現場に合うようにアレンジして、使っていけるように、子どもの顔を思い浮かべながら考えて授業づくりを行いたいと思います。先生の生のお声で解説していただき、大変貴重な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
	いつも役に立つ講演を企画して頂きありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
	日本語指導員がいないため、県の多文化サポーターさんが日本語を教えているという事例を聞きます。通訳と日本語指導は両輪だと思います。子どもの日本語指導員の派遣をお願いしたいです。
	田中先生には、実例とともによくわかりました。本日教えていただいたことを自分の実践でどう生かしていくか考えていきたいと思っています。
	最後になりましたが HIAのスタッフの方々には、良い研修の機会を与えていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。
	本日はありがとうございました。小さい子どもがいましたが、Zoomでしたので参加することができました。
	とても有意義な内容で、参考にさせていただきたいことが多々ありました。有難うございました。
	参加者同士で居住地や活動地が近く、今後も情報交換したり協力し合えるような仕組みがあるとありがたいと思いました。
	何度か使用されていた授業風景の動画（算数）は、音声聞き取りにくく、生徒の背景や日本語レベルもわからないこともありとても長く感じた。動画部分を10分の一に減らすなど時間配分を再考されて2時間程度にまとめた方が、受講者側は有効感を持つと思う。
	今回の研修は非常に奥深い内容で、資料や出版書を元にもっと深く勉強する必要があると感じました。又、今回の内容は子供が対象になっていますが、成人に対しても初歩教育として活用出来るものかも知りたいかったです。最後になりましたが、ありがとうございました。
	大変有意義な研修会、ありがとうございました。今回、友人に教えてもらいこの研修会を知りましたが、次回、同様な研修会の日時を知るには、HIAのホームページをチェックするしか、方法はございませんか？
	私のパソコンにトラブルが起きてしまい、ご迷惑をおかけしてすみませんでした。アンケートのメールを送っていただきありがとうございました。
	「トラブル対応」を設置してくださっていたので、突然のトラブルにも動揺せず、安心して受講できました。本当にありがとうございました。
	本日は、貴重なお話し誠にありがとうございました。
	田中薫先生の子供たちに対する愛情と熱意に励まされました。感謝します。学んだ事を当てはめられる様に努力します。今日は参加できて良かったです。ありがとうございました。
	とても参考になる研修会でした。資料もたくさんいただき参考にさせていただきます。 田中先生の指導の面白さで子どもを引きつける、すなわち「熱意・気持ち・努力」そして子供達が楽しく興味を持つ内容の授業を。というお言葉が心に刺さりました。ありがとうございました。

・「外国につながる子どもへの日本語教育」という内容でしたが、日本国籍の（両親が日本人）で、海外に生活する子どもたちの日本語教育にも通じる部分がたくさんあると思いました。
・田中先生と子どもたちの現場から生まれた教材の数々はわかりやすく実用的で今日の研修でたくさん共有していただけたことに本当に感謝したいです。
・学ぶことの多いこのような研修を企画していただきありがとうございました。
Zoomで開催頂けとても有難いです(遠方なので)。ありがとうございました。
機械の扱いが余りできませんので、ごめいわくかけております。大変申し訳なく思っております。
本日はありがとうございました。

令和3年度 教師対象研修「チャレンジ！地域日本語教育」 1日目 アンケート結果

【研修概要】

名称 : 令和3年度 教師対象研修「チャレンジ！地域日本語教育」
「地域日本語教育とその教授法」

講師 : 岩田 一成氏
(聖心女子大学教授)

日時 : 2021年6月25日(金) 18:00~20:30

場所 : Zoom オンラインミーティングにて開催

参加人数 : ①受講者77名 ※申込90名に対し85.5%の参加
②HIA 7名参加

回答数 : 51名 (66.2%)

【アンケート結果 質問1「研修会の内容について」】

質問	回答（選択式）
質問1. 内容について （選択式）	よかった（45人、88％）
	まあまあよかった（6人、12％）
	ふつう（0人）
	あまりよくなかった（0人）
	よくなかった（0人）

質問	回答
質問1. 研修会の内容について 「よかった」「まあまあよかった」理由	「マス形と助詞をしっかりと」よくわかりました。
	地域日本語教育の現状理解につながった
	生活者向けの教授法が分かり易かった。
	地域の日本語教育で必要最低限のことが理解できたから
	時間的にゆつたりしていた。
	未知の先生と仲間と、一緒に学べたから。
	自分が教えていてわからないところがよく理解できた。みんなにちに対して、教えるにいきい、実際的でないとかねがね思っていたが、その理由がわかった。
	地域日本語教育について全くの素人です。すべてのことに目から鱗でした。
	現在の日本語教育の問題点を具体的に教示いただき、今後の指導方法の参考となった。
	日本語教育の問題点や流れについて知ることができて、とても為になりました
	途中からの参加になってしまったので
	ます形と助詞による初級の提案の考え方がよくわかりました。
	改めて留学生対象の日本語教育と地域日本語教育の違いを意識できました。
	助詞についての考え方・BORでの活発なディスカッション
	ます形・助詞を重点的に教える事が初級学習者には大切と知る事が出来た。
	中上級の学生に使わない文法をただ受験のために教えることに疑問を感じていたの。
	岩田先生の説明は、簡潔でわかりやすく、とても納得できる内容でした。大変、参考になりました。ありがとうございます。
	地域日本語教室の中で「どの程度の学習内容に絞り込むのか？」が常に疑問に思っていたので、そのあたりをピンポイントで教えていただけたので。
	L13までの文法を徹底的に運用練習する、試行錯誤していたボランティアとして、簡潔なヒントをもらえました。
	地域日本語教育では学習者のニーズに合わせた指導が大切だということは、認識していましたが、その中でも「助詞」「語彙」という具体的な項目が知れて良かったです。
	地域日本語教室の現場の声がきけたこと。日本語学校と地域日本語教室との違いを教えていただけたこと。
	期待した内容であった。
	最新の情報を色々お話しくださり、すぐに活動へ反映できそうです。
	地域の日本語教室が抱えている困難（特に文型学習に関して）についてのお話が聞けた。
	具体的な例を出していただき、よくわかりました。長年日本語教師をしています、文法についてはずっと考えていました。

運用力の大切さ を忘れてはいけない を認識できました。
地域の日本語においての教授法について理解できたので。
生活者としての外国人に対する指導の方向性について先生のバックアップを得たこと
みんなの日本語13課までのます形と助詞をしっかり学習すればかなり話せるということがわかり、よかったです。
お話もとても勉強になりましたし、他の参加者の方たちとのグループワークも楽しかったです。
文型中心ではやはりだめなのだなあとということを改めて思いました。
ボランティアに参加してまだ日も浅く経験も1人だけです。テキストはサンクスを使ってやっと初級がどういうものかがわかった状況です。サンクスの講習も受けて、いかに日常会話に文型を落とし込んでいくかを教わりましたが、今日のます型と助詞でまず日常に使えるようにするというのは、なるほどと思いました。テキストがあるとどうしても書いてある文型を教え込みたくなるし、生徒さんも達成感があるようで勉強したように勘違いしがちです。でも実際は日常でスムーズに使えていないので繰り返し勉強するしかないかなと思っていましたが、運用力をつけるための授業の組み立てをしないのいけないのだなと思いました。
今回良かったと思う点は、3つあります。 1、とても分かりやすく説明して下さったので理解しやすかったです。 申し込み時、 今回は日本語教師対象でありどちらかといえば専門的な内容である。 ボランティア対象の地域日本語教室向けは11月にあります、という説明を受けました。 ボランティアでも良いのかなと不安でしたが、 丁寧に説明していただき、理解できたので参加した良かった思いました。 2、初級の文法は、みんなの日本語13課迄で良いと言われ、 最初は驚きました。ただそれにプラスするものがあり、 助詞の運用とセットで教えることが大切だと教えていただきました。 今一緒に勉強している学習者にすぐに使えると思いました。 工夫して実際の学習のなかで活かしたいと思います。 3、ブレイクアウトルームの人数が4人と少なかったこと、 そしてメンバーの変更がなかったので、とても話がしやすく、楽しかったです。 限られた時間内では、 ルームのメンバーが変わると、自己紹介だけで時間がとられてしまいますので。 岩田先生のお話がとても分かりやすく楽しかったです。あつという間でした。
地域日本語教育のあり方についてとても勉強になりよかったです。
とてもテンポよく進行されていたので、内容が入ってきやすかったです。（上から目線みたいになりすみませんが、最近いろいろなセミナーを受けオンラインに少々苦手意識が出つつあったもので...）生活者として、実際に台湾で過ごしていっしょな経験を踏まえて、いろいろな話をしてくださり、「学習者目線ってやっぱり、教師側やボランティア側から見るんじゃない」と改めて思いました。
特に語彙について、各教科書での選定に統一性がないとのことで、文字のできるだけ少ない教科書で、身近な場面で使える単語を増やしてゆくの、一番実用的であることが明らかになった。今までの方法に間違いはなかったことにほっとしています。
知らなかったことが知れたり、他の教室のことが知れた
昨年暮れに開かれた研修会とだいたい同じハンドアウトだったので同じ内容ならやめておこうと思ったが、参加してよかった（単に忘れただけでも知れないが）
日頃ボランティアの活動で薄っすらと感じていたことを、岩田先生がはっきりと仰ってくださったこと。
「みんなの日本語」13課までの「ます形」「助詞」をマスターすればOPI中級程度まで話せるというのは、目から鱗でした。

【アンケート結果 質問2「研修会のわかりやすさについて」】

質問	回答（選択式）
質問2. わかりやすさについて （選択式）	とてもわかりやすかった（35人、77％）
	わかりやすかった（11人、22％）
	少しわかりにくかった（1人、1％）
	わかりにくかった（0人）

質問	回答
質問2. 研修会の内容について 「とてもわかりやすかった」 「わかりやすかった」「少し わかりにくかった」理由	導入を踏まえて本題を理解できた
	レジュメに沿った進捗が分かり易かった。
	考える時間が十分だった。
	語彙の大切さがわかった
	当方の実力不足。
	双方向的で、一方通行にならず、疑問に思ったところも説明してくださったのでわかりやすかった。
	先生の説明がわかりやすかったです。
	言葉が平易であった。
	説明がわかりやすく、楽しく話を聞けました。
	説明が分かりやすかったです。
	先生の台湾でのご体験が理解を深める助けとなりました。
	岩田先生 YES NOが明確で無駄に悩まず住みました。
	講師の講義説明が易しく理解出来ました。
	生活する上での学習のポイントが分かりました。ます形+助詞
	事前にシラバスが送られてきたこともあり、可能な限り双方向をとられようとしていたので。
	ズームの使い方や、ハンドアウトなどもあわせて、簡潔でわかりやすかったです。
	先生のご説明がとても分かりやすく、また、先生の外国語学習の例なども挙げていただいたので、想像しやすく分かりやすかったです。
	具体的な方法を教えて頂いた。
	地域日本語教室のあり方や共に活動（支援）していくうえでの課題が見つかりました。
	前もってのhandoutと、zoomの様々な機能を使われて、わかりやすかったです。
	丁寧に説明してくださり、聴いている側とのコミュニケーションを取ってくださっていたからです。
	例が面白かった。いろいろな機能を使ってやり取りができた。たくさんの質問に答えていただけた。
	岩田先生のお話、MCの遠藤さんの進行、とてもわかりやすかったです。
	先生の説明が 丁寧かつ明確で、理解し易かったです。
	言葉の運用面で疑問をもっていたため。
	助詞の知識のQなどもあり、よくわかりました。
	実際の地域の教室でとても役立つ内容で、いろいろな例を示してくださりとても分かりやすかったです。
	みなさんの質問と岩田先生、遠藤さんの応答を聴いていて教わる事がたくさんありました。
	パワーポイントが使われていたのと、あらかじめ資料が送られていたので、研修内容の概要が掴めていました。

「ます形＋助詞」または「場面と語彙中心の授業」については大変参考になりましたが、実際は地域の日本語教室に来られる学習者のみなさんは検定試験を目標にされている方が少なからずいらっしゃるので、その場合どうしても文法や問題集中心の授業になってしまいがちです。その場合どのように指導すれば良いのか？と感じました。また支援者（講師）の多くが資格を持たない方ですので、「ます形＋助詞」自体を知らない方も多く、支援者自身どのように教えれば良いのか悩んでいる方もとても多い状況です。
専門的なことも噛み砕いてお話くださったのでわかりやすかった。
論文を抜粋して紹介してくだるところと、ここは持論、と分けて説明してくださったので、自分がどこをどう考えなければいけないかがよくわかりました。
適切な例の選定で、研修をすすめられ、わかりやすかった。
適宜、問題を出してブレイクアウトルームでグループ討議をさせるなど、興味をひきやすくする工夫がなされていたと思う。
実際の指導に則した内容で今後の指導法についてもシンプルにまとめられているのがよかったと思います。

【アンケート結果 質問3「興味を持った内容」について】

質問	回答
質問3. 特に興味を持った内容 は何か	地域日本語教育が0 初級を苦手としていることを理解した
	「ます形」と「助詞」を駆使することで中級レベルの会話ができるということ
	初級文法
	推奨する教授法。
	ます形と助詞中心に教えるという話。いままでの教え方と全く違うので、大変興味深かったです。
	初級全教材で語彙の一致が1.7%だったということに、非常に驚きました。
	特別に列挙するものはありませんが、全体的に興味をもった。
	みんなの問題点について。文法解説授業だけではやはり話せないということ。
	て形を重視しないという考え方に興味があります。て形は必要だと思うからです。
	学習者が生活者ならまず「語彙」と「助詞」
	地域での学習者へのサポートの仕方の要点を解説して頂いたこと。
	日本語が上手いとは、何か
	地域日本語教育では何が必要なのか。
	日本語教師は有資格者であるものの、地域の日本語教室のことを本当に把握されるいるのだろうかといつも感じます。これまで地域の日本語教室を支えてきたのはだれと思ってしまう。
	文法など、みんなの日本語を使った、旧態依然とした教え方に、日ごろから違和感を持っていたので、とても興味深く、また納得できることが多かったです。
	みんなの日本語L13まで、ます形、助詞でカバーできること。
	学習者に必要な語彙について。
	初級教材の「語彙」や「文型」の選択のあいまいさ。地域日本語教育で必要とされるものが「ます形」「助詞」であること、生活に関わる「場面」を提示する、また、それらを学習者が選択できるよう柔軟に対応することが必要なのだと思いました。
	やさしい日本語の枠組み
	教える文法項目は必要最低限のます形＋助詞に絞るということ。 あれやこれやと文法項目を詰め込むより、簡潔な教授法のように思えました。
	OPIのこと、いろいろな教材の特徴、JLPT対策に関する賛否。地域の教室では、本当に様々なニーズがあり、教材やボランティアの質がかなり課題になるのだ。
	地域ボランティアの教室は、居場所でもあり、学習の場でもある。学習者により、環境、ニーズも異なるため、ボランティアスタッフのほうも柔軟な対応が必要であると考えました。他に動詞＋助詞でかなり多くのコミュニケーションが行えるということには、興味を持ちました。
	日本語能力試験 対策を含む授業 と それを除く授業 があることがわかりました。
	教科書によって使われている語彙がここまで異なっているということ。
	文化庁の瀬策に関する情報、自分たちが何かをする時に考えておくべきことが色々ありますから。
	語彙の参考書籍、活用させていただきます。
	以前から上級の学習者でも基本的な助詞の使い方を間違える人が多く、気になっていたので、動詞の活用より、助詞の教育を！ということに共感しました。
	「みんなの日本語」をL13で一旦切って、運用練習をする。それから次の課にすすむ。 実際に課は進んでいるが、あまり話せないという場合もよくあるので。
	どんな場面で、どんな日本語が話せばいいのかをつかみ、学習者が直面するであろう場面に合わせたテキストを使っていきたいと思いました。どんなテキストがいいのか、いろいろご紹介いただき、ありがとうございました。
	運用力。生活に添った語彙を増やす。生徒さんの生活環境や地域によって教材の工夫が必要だと思いました。

	<p>・今の日本語教育で扱われている語彙の問題と初級は動詞などの活用ではなく、ます形と助詞を使った運用能力を高める練習が大事だというん。</p> <p>確かに、自信のない学習者は助詞を省いて話すことが多いです。</p> <p>・ビデオを見て、言葉の巧さをどこで判断するのかという講義はとても興味深かったです。</p> <p>またその反応をホワイトボードを使って、スタンプで示すという方法も面白かったです。</p> <p>ホワイトボードの利用の仕方として、私たちの教室でも使えそうです。</p>
	<p>「ます形＋助詞」「場面と語彙中心の授業」</p> <p>今回の研修後、参加している地域の日本語教室で結果報告をする機会がありますので、みなさんと情報を共有して今後の活動に生かしたいと思っています。</p>
	<p>「ます形と助詞」で運用力をつければ、かなりコミュニケーションがとれるようになって実感したので、実践につなげていきたいと思う。</p>
	<p>生活者としての日本語教育に携わって歴が短く、終了後の質疑応答でボランティアと教師が対立構造になっているような感じで不思議でした。教師として、ボランティアとして、という立場があるのはもちろんのことですが、まず第一に「学習者にとって」があって、学習者にとっては教師もボランティアも一日本人、学習環境の一部に過ぎないのではないかなと...。「学習者」と「支援者（教師もボランティアもすべての人）」が「教わる」「教える」ではない、対等な語学習得を目指すには、私自身の考え方を含め、足りないものが多すぎるなと感じました。</p>
	<p>日本語教師の資格について、ボランティアとして活動している私たちの、立ち位置がだんだんと明確になってくるのが、一つの大きな関心事です。</p>
	<p>地域日本語教室、ボランティア、専門の教師、行政等の互いのつながりやありかたについて、同じ課題を見据えている人がおおぜいいることがわかってよかった。みんなで考えて取り組んでいくことができたらいいと思います。</p>
	<p>「みんな」13課まで終えたら、あとは、ます形と助詞で話す練習をさせるという考え方。とても面白かった。</p>
	<p>ハンドアウト4のQ「昨日、おじいさんとごはんを食べました」の解釈について。</p> <p>助詞「と」にはwithとandの意味があることは理解できてもその解釈については文脈によるところが大きいことを気づかされました。</p> <p>この例の場合、学習者が「おじいさん」という言葉の意味を知らなければandで解釈する可能性は大きくなるのが予想されます。また、少し考えにくいですがカニバリズムの習慣があれば、同様にandでの解釈も可能となり、文化的な背景も考慮が必要となります。</p> <p>逆に、「昨日、パンとごはんを食べました。」という例文では通常はandの解釈が大勢かと思われますが、パンという名前のペット（あるいはパンという名前、ニックネームの人）と食事をしたという解釈も可能となります。</p> <p>指導に際しては、学習者の文化的背景、学習レベル（語彙力）など事前の調査と文脈の設定が重要だと気づかされました。</p>

【アンケート結果 質問4「その他感想など」】

質問	回答
質問4. その他気づきの点やご感想など	ブレイクアウトセッションの際は時間を必ず伝えていただきたい
	参加者との交流の機会もあればうれしい（周囲に教えている人が少ないため）。
	この研修の受付が完了時に連絡がほしかった。受付ができていないかわからない状態でギリギリで連絡があり、困りました。今後の参考までに。本日はありがとうございました。
	非常に学ぶことの多い時間でした。ありがとうございました。
	特にありません。
	次週は、遅れず参加できるようにしたいと思います。ありがとうございました。
	この会の開催時間は、もう少し早いか遅い方が参加しやすいです。
	法整備について、もう少し伺いたかったです。
	生活者としての外国人にとって本当に必要な日本語リテラシーについてもっと考えていかなければならないと思いました。
	私は今回、兵庫県と縁があって、参加させていただいたのですが、住まいは名古屋です。愛知県でも、このような取り組みがされているのか、とても気になっています。地域による格差？なども、取り上げていただけると嬉しいです。
	3の内容や語彙や場面シラバスで教えることについて、ボランティア向けに実践講座を開いていただきたいなと思いました。
	今すぐ役に立つ情報ばかりで、大変ありがたかったです。
	普段、留学生に日本語を教えています。新たな視点や気づきにつながりました。ありがとうございます。
	質疑応答のチャットを拾うのが大変そうでした。
	言語保障の場を日本に住む（入国する）非母語話者にきちんと作るべきだと思います。なかなか、整備が進まないの、将来が心配です。
	ラストの 国と地方の金銭的な流れ等は 別のテーマにしてはいかがでしょうか？ そういう世界があることは勉強になりましたが・・・。
	まだ、現場に出たこともない者に この機会を提供していただき、感謝いたします。ありがとうございました。これから日本語教師を目指そうとする人間（私）にとっては 貴重な時間になりました。
	ありがとうございました。
	参加者の名前の後に、@参加地名 をつけてはどうですか。
	本日はありがとうございました。ブレイクアウトの時間がもう少しあればと思いました。 地域の日本語教室は様々な形態があります。歴史も有様も様々で、地域に必要とされる形で存続しています。それを一括りにして、話をされることに少々違和感がありました。地域の実情を知っていただきたいと思います。 また、難しいことだと思いますが、有資格の日本語教師は資格があるというだけで、質は問われないのでしょうか。一ボランティアが失礼なことを申し上げて、本当に申し訳ありません。
	2時間半という長い時間でしたが、あっという間に過ぎました。ありがとうございました。
	マス形と助詞が大切で、動詞の活用はその次、という点をもう少し詳しくお聞きしたかったです。助詞がなくてもある程度は通じる、と思えるので。
	・11月に地域日本語教室向けの研修があると聞き、とても心待ちにしています。 私が所属している地域日本語教室の支援者同士、これからの教室のあり方を考える良い機会になると考えています。 ・HIAまで行くのが大変な方も多いと思います。 コロナ収束後も、オンライン研修会を続けてくださるよう、お願いいたします。 岩田先生、HIAのみな様、今日はありがとうございました。
	日本語教師としての経験がないので最初は少し難しそうに感じましたが、実際参加してみてとても分かりやすく説明していただき、あっという間でした。2回目3回目の研修も大変楽しみにしています。宜しくお願い致します。
	2時間程度だとありがたい。
	ブレイクアウトルームの残り時間を表示してくれるか、残り3分くらいでカウントして下さると嬉しいです。残り10秒のカウントでは何もできなかったの....。

ZOOMのホワイトボードが面白い使い方ができる事がわかりました。
街中でやっている、シールを張り付けるアンケート結果表示としての使い方は、おもしろい。
ブレイクアウトはにがてです（しかたがないですが）
ZOOMを利用したミーティングに初めて参加しましたが、ホワイトボードやコメントなどリアルタイムで意思表示ができたり、双方向でのコミュニケーションができたりとオンラインでも有意義なひと時でした。

令和3年度 教師対象研修「チャレンジ！地域日本語教育」 2日目 アンケート結果

【研修概要】

名称 : 令和3年度 教師対象研修「チャレンジ！地域日本語教育」
「兵庫県の取り組みと、教材・教室活動」

講師 : 兵庫県国際交流協会

日時 : 2021年7月2日（金）18：00~20:30

場所 : Zoom オンラインミーティングにて開催

参加人数 : ①受講者 77名 ※申込90名に対し85.5%の参加
②HIA 7名参加

回答数 : 41名（53.2%）

【アンケート結果 質問1「研修会の内容について」】

質問	回答（選択式）
質問1. 内容について （選択式）	よかった（30人、73％）
	まあまあよかった（10人、24％）
	ふつう（0人）
	あまりよくなかった（1人、3％）
	よくなかった（0人）

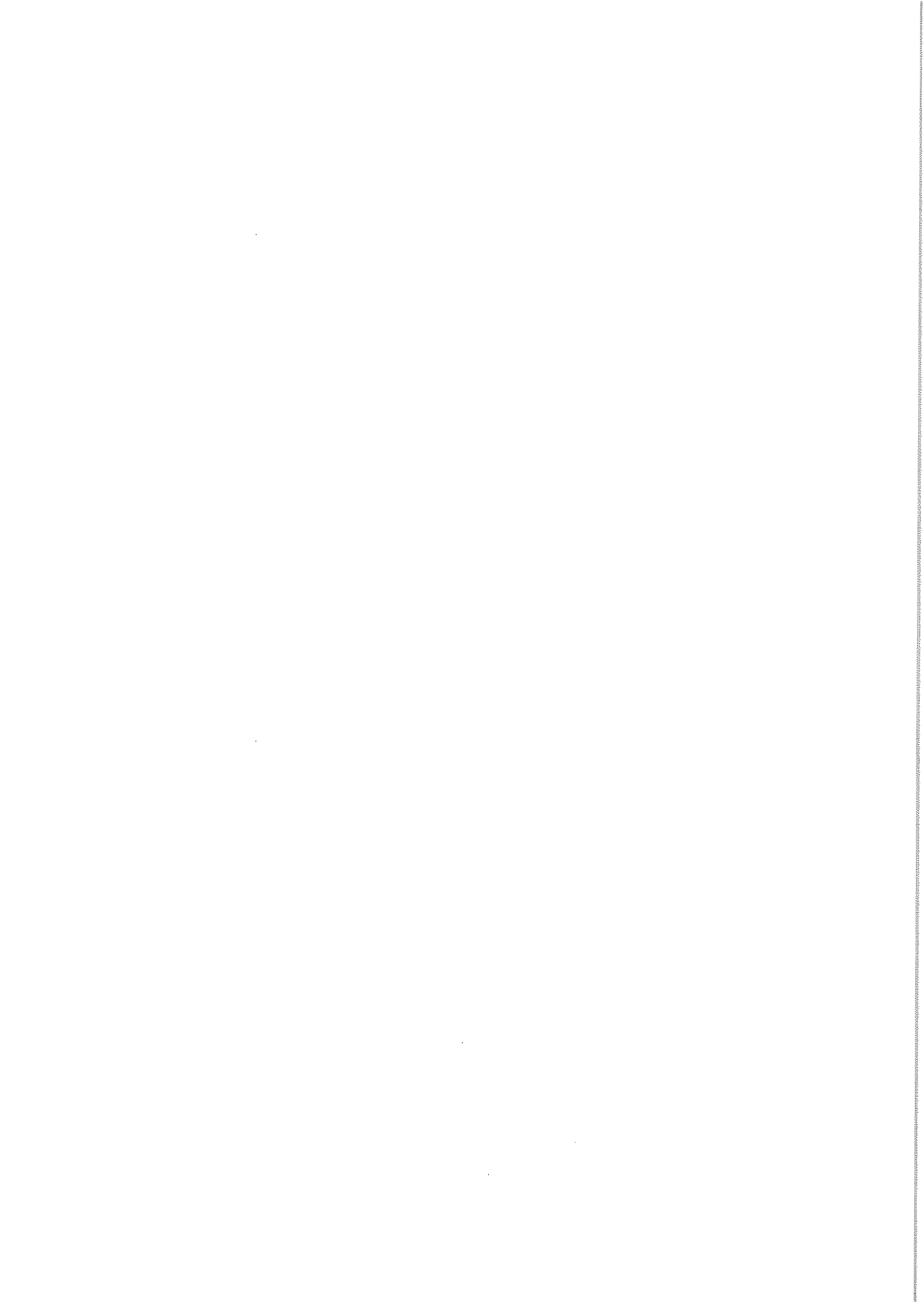
質問	回答
質問1. 研修会の内容について 「よかった」「まあまあよかった」「あまりよくなかった」理由	兵庫県の活動についてよくわかった。
	兵庫県のことが良く分かった。
	兵庫県のさまざまな取り組みを知りました。
	兵庫県の現状とあゆみについて知れて良かったです。
	兵庫県の方々がとてもがんばっておられることがわかりました。
	兵庫県の方針についてよくわかった
	兵庫県の日本語に関する内容がよくわかった
	他の教室の様子が知れた。
	昨年のたつの市の事業の詳細が知りたかったので助かりました。
	HIAで作られた『できる？できた！』を知りませんでしたので、良かったです。
	仕事の都合で出入りが多く全部を聞くことができず、残念でした。
	できる？できた！の使い方がとても理解できました。
	取り組みを全然知らなかったもので、それを聞いたことはとてもよかったのですが、説明が多すぎ？て 単調に感じてしまいました。すみません、偉そうなことを言って。
	兵庫県の取り組みが理解できた
	H I A の活動内容が 少し理解できました。
	学習方法の色々を知る事が出来た。
	自分の地域以外の状況を何も知らなかったので勉強になりました。
	日本語学校の副校長です。ここ2年ほど留学生だけでなく、企業様からのご依頼でエンジニア・実習生にも日本語教育を提供しております。地域の日本語活動について大変よく理解できましたし、現在実施している上記の教育にもフィードバックできると思いました。今回の研修で日本語教育機関の立場として、もっと地域へ出て、このような日本語教育の支援ができるのではないかと思います。コロナで日本語教師も授業が減っており、多くの非常勤講師が待機を余儀なくされております。日本語教育機関と地域の連携が図れるよう、H I A 様の働きを期待しております。また、本校は旧小学校を再利用した日本語学校で地域密着型ではありますが、日本語学校としても、もっと地域の方に参加して頂ける機会を設けていきたいと思いました。
	遠藤先生の講義のあとで、モデル事業をお聞きすることで、実際にイメージすることができ、とても良かったです。
	①時間配分が下手 ②HIAの実績報告がセミナーの目的にすり替わっているのは疑問 ③具体的なHIAの教授法の実例を期待していました。（あまりよくなかった）
	HIAの方の説明が大変わかりやすかったです。笑顔もステキでした。
	モデル事業の詳しいお話が聞けて、地元でも実践してみたいと思いました。

<p>今回はモデル事業の詳しいお話がきけて、とてもよかったです。</p> <p>「できる・できた」は一度聴いただけでは、理解が難しいです。</p> <p>これまでの研修会を含め、何度か聞くうちに理解が深まっていく気がしています。</p>
<p>モデル事業の、各地域の取り組みがとてもよくわかりました。 全体会議の時より、より具体的でわかりやすかった。</p>
<p>兵庫県で全市町村に外国の人の受け皿が有ると知り、素晴らしいと思いました。色々試行錯誤の段階で広めるために頑張っておられるのだなあと思います。自分のできる範囲でボランティアとして協力していきたいと思います。</p>
<p>国、県、市町村、地域の日本語教室のつながりがわかりました。</p>
<p>他の地域の日本語学校の方のお話が伺えた。</p>
<p>「できるできない くらしのにほんご」について初めて知ることができた。</p>

【アンケート結果 質問2「研修会のわかりやすさについて」】

質問	回答（選択式）
質問2. わかりやすさについて （選択式）	とてもわかりやすかった（15人、36％）
	わかりやすかった（22人、54％）
	少しわかりにくかった（4人、10％）
	わかりにくかった（0人）

質問	回答
質問2. 研修会の内容について 「とてもわかりやすかった」 「わかりやすかった」「少し わかりにくかった」理由	説明が丁寧だった。
	話が丁寧でわかりやすかったです。
	丁寧にご説明いただけ、都度、グループで話し合うことができたからです。
	パワーポの字が多かった。ハンドアウトにない資料も出てきたので、その出典も知りたかった。
	説明が丁寧だったこと
	事例が写真つきで想像しやすかった
	HIAが兵庫県の地域でモデル授業をされたことがよく分かりました。
	パワーポの出来が良かったです。
	出入りが多くなってしまったため、「できる・できた」の使用目的がよくわかりませんでした。（少しわかりにくかった）
	資料が「役所へ 行く」 セミナー-のでは病院 だったから？村上様の モデル授業が 先の方が（私としては） 分かりやすかったように思いました。（少しわかりにくかった）
	もう少し留学生などを対象にしている日本語教師に、地域の日本語教育の本質的なところが伝わる具体例などがあれば、よりよかったと思います。
	各地域での具体的な活動内容を写真等も見ながら説明していただいたのでよく分かりました。
	上記の通りです。※Q1副校長さんの回答
	「できる？できた！！」テキストを知りえたから。
	兵庫県における地域の日本語教育の現状について良く知ることができました。
	制度から生まれた教材の詳しい内容、実際のモデル事業での活用事例を知ることができたから。
	実際に見聞きすることができない地域の活動を、具体的に知ることができました。
	すいません、私の勉強不足です。今回いただいた情報をしっかり拝見致したく思っております。（少しわかりにくかった）



【アンケート結果 質問3「興味を持った内容」について】

質問	回答
質問3. 特に興味を持った内容は何か	「できる・できた」を初級の方に使いたいです。
	託児所付き、送迎付きなど、本当に手厚く活動されていて感動いたしました。
	モデル事業でどのように地域、行政と連携していけばよいのかを知れて良かったです。
	地域での活動がよくわかりました。
	兵庫県での日本語教育事業について、日本語教師、地域の人と連携しているということを知って、面白かった。本当なら日本語学校でもこのような形で学生を地域に溶けこましたり、生活のことをわかるようにしたいが、なかなか難しい。
	モデル事業 担当地域であるので
	日本語教室に日本人が参加することで、日本人にとっての外国人が名前呼びあえるほどの存在にかかわること。
	地域日本語教室では、教材のカスタマイズまで手が回りません。
	モデル事業での日本語講座の取組はさまざまな連携が可能だということがわかり、他の地域でも広げられればいいなと思いました。
	地域に密着した豊岡での活動を非常に興味深く伺いました。
	できる？できたの教科書について、地域の情報を盛り込む等使い方を具体的にお伺いできて良かったです。可能であれば、もっと使用例などをHP上で公開していただけると、使い方の想像がしやすく、他の方にも紹介できて良いなと思いました。
	モデル講座？ 日本語指導者が中心！というイメージがありましたが、本日のご紹介で、生活支援者、学習者、指導者のかかわりがあるというパターンが 新しくて印象に残りました。
	在住外国人との共生、地域との交流がもっと必要だと思いました
	外国人が生活に必要な日本語能力を身に付けるための様々な取り組みがよくわかった。
	モデル事業について、各地域での取り組みや成果が伺え、勉強になりました。
	各地域でのモデル事業。近隣の地域でこのような活動をしていることを全く知らなかったの。
	モデル授業
	モデル事業が、とても印象に残りました。モデルではなく、スタンダードとして、多くの企業や学校などでも取り入れられるようになるといいなと思います。
	市や教室以外の日本人の人も参加した講座はすばらしいと思いました。
	「できる？できた！！」の学習方法について
	モデル事業の事例報告。実際に参加された方の声がわかり、地元で実践するときに参考になりそうだから。
	モデル事業の説明 実施に至るまでの過程を具体的に聞くことができ、とても良かったです。 事前の聞き取り、そしてカリキュラムの組み立てなど、地域日本語教室ではできないことが多かったの、興味深く聞いておりました。 また学習者・支援者・日本語教師それぞれどのように参加したのか、授業をうけてどう感じたのかがわかり、参考になりました。
	モデル授業での地域住民や行政を巻き込んだ授業。多分、教室でボランティアだけとやりとりしているより、地域に暮らしているという実感や自信が生まれると感じました。
	「できる？できた！くらしのにほんご」 いろんな地域に住んでいて立場の違う人々に、どれだけ対応できるか、もっと知りたく思いました。
	モデル事業での取り組み

モデル事業の報告がとてもよかったです。地元のボランティアの方をはじめ、外国人を雇用している企業や、役所の職員を巻き込み、地域ぐるみで、「多文化共生」を実践していることに感動しました。

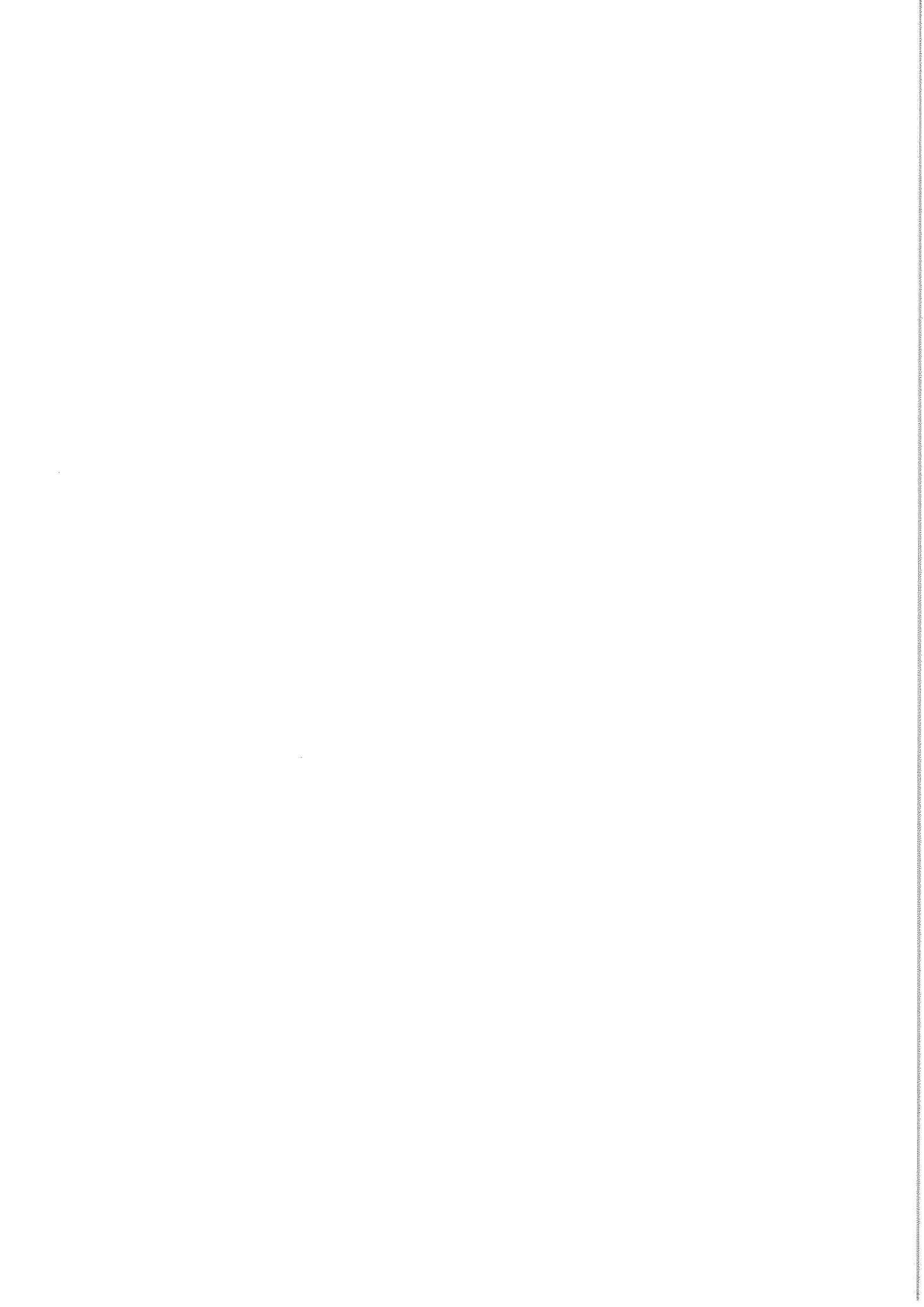
今までずっと地域に生活する外国人と交流し、理解し、共に暮らそうと考えるのが、日本語教室に関わる住民だけで、企業の人や役所、地域の人々からの関心を得るのが難しく、何か日本語教室という「居場所」に引きこもっているような気分だったので。

企業の同僚の人が、日本語支援者や教師の話し方を聞いて、「こう言えば通じるんだ」という感想をもらされたという話に、キーンとしました。

モデル事業（特に加東市東条）について。非常に画期的な取り組みだと感じたため。

【アンケート結果 質問4「その他感想など」】

質問	回答
質問4. その他お気づきの点やご感想など	大変勉強になりました。ありがとうございました。
	学校から拝見しておりました。学校の用事でzoomに出たり入ったりしてしまい、申し訳ありませんでした。
	今後も、このような機会がありますよう期待しています。 ありがとうございました。
	よい機会を与えてくださり、感謝しています。
	ボランティアに支えられている日本語教育が未だに多いと感じます。
	準備や 熱意、本当にありがとうございます。（それだけお伝えしたかったです）
	地域日本語教育の推進事業は、学習対象者が限られる。学習者のニーズは、多種です。
	今回、仕事の都合で出たり入ったりしてしまい、大変申し訳ありませんでした。
	ありがとうございました。
	私は名古屋在住なのですが、愛知県でも、兵庫県のような取り組みがされるのを期待しています！ ありがとうございます。
	日本語教師派遣の講座はこれからも続けられますか？
	「できる？できた！！」でのCanDoロールプレイなど自身が所属している日本語サロンでも活用できればと思いましたが、先週も同じことをコメントしましたが、実際にサロンに参加されている技能実習生やビジネスマンなどの多くは検定試験や教科書持参（または指定）による文法の学習、またはビジネスでのマナーや漢字学習などを目的とされる方が多く、なかなか今日学んだ学習方法を試す機会が難しいと感じました。 また、ブレイクアウトセッション中にも話題に出ましたが、あまりにも初級（ひらがな・カタカナも難しいレベル）の学習者の方だと実際に出来るのだろうか？とも思いました。 地域の日本語ボランティアには様々な属性の学習者が来られ、また学習者が学びたいことも多種多様ですので、ボランティア支援者では限界があることもたびたびあり、学習方法含め色々と課題が多いと感じています。
	『できるできた』の内容で変化していくもの（郵便のサービスやマイナンバーカード導入など）があると思いますが、改訂版などを作成される予定はありますか？
	・「できる・できた」は場面ごとに学べるとても良いテキストだと思います。 地域日本語教室では、一対一の授業だけでなく、全員参加の授業で使うのも、面白いと感じました。 ・実際に消防署の方が来られ、緊急通報の練習を日本語教室でしたことがあります。 そのような時に使うといいですね。 ・「できる・できた」のテキストは、私のが活動している教室では、知っている人がとても少ないです。地域日本語教室向けの研修会に期待しています。
	講義の中で説明がありました、Can-Doのチェック表は、「できる・できた」に対応したものが、ダウンロードができますか。 それとも、自分で作成するのでしょうか。ダウンロードできるとありがたいです。
	地域住民全てが安心、安全に 暮らせる！ 問題解決のヒントをたくさんいただいています。実践していくのは大変ですが、少しずつ実行していきたいと思ます。 H I Aの皆様の柔軟で、粘り強い対応に頭が下がります。
	「できる？できた！くらしのにほんご」は、今後、他の言語、ネパール語版など作成される予定はございますか？
	本日も貴重なお話、ありがとうございました。第3回目もよろしくお願い致します。



令和3年度 教師対象研修「チャレンジ！地域日本語教育」 3日目 アンケート結果

【研修概要】

名称 : 令和3年度 教師対象研修「チャレンジ！地域日本語教育」
「外国人のリテラシー課題と「生活の漢字」」

講師 : 新矢麻紀子氏（大阪産業大学）

日時 : 2021年7月9日（金）18：00~20:30

場所 : Zoom オンラインミーティングにて開催

参加人数 : ①受講者63名 ※申込90名に対し70%の参加
②HIA6名参加

回答数 : 34名（54%）

【アンケート結果 質問1「研修会の内容について」】

質問	回答（選択式）
質問1. 内容について （選択式）	よかった（28人、82％）
	まあまあよかった（5人、15％）
	ふつう（0人）
	あまりよくなかった（1人、3％）
	よくなかった（0人）

質問	回答
質問1. 研修会の内容について 「よかった」「まあまあよかった」「あまりよくなかった」理由	チャットルームでの会話が楽しかった。
	漢字を教えるのが大切だと分かった。
	簡単な漢字から順番に学ぶ方法しか知らなかったから。
	長すぎ（あまりよくなかった）
	リテラシーという視点を理解しきれていなかったの。今回の研究で理解できた。
	漢字を知ることで生活レベルが上がることを実感できたのでよかった
	具体的な事例を見せていただけたこと
	漢字教育について詳しく教示頂けた
	調査や経験に基づく内容が多く、参考になった。
	地域日本語教室で 年代も色々なボランティアと今回お勉強したことを参考に少しづつ活性化していきたいとおもっています。今後よろしくおねがいします。
	漢字指導をする時の 参考にさせていただきます。
	写真を使つてのグループチャットから入って、実際の指導の教材を提示してくださつた流れでわかりやすかったです。
	生活の中での漢字語彙の考え方が理解できたように思います。
	リテラシーが重要であることが改めてよくわかりました。
	いろいろな事例、活動の内容と実際の受講者さんの声を知ることができたが、実践的な内容が少なかった。
	地域日本語教育の変遷を整理できた上で、文字の必要性を考えることができ、勉強になりました。文字学習が生活の行動、豊かさにつながることを改めて感じました。
	地域の日本語教育で大事にしなければならないことがわかりました。
	生活の漢字学習が生活の向上につながる、人権や福祉にもつながっていることがよくわかりました。
	文字は希望する学習者さんにだけ教えればと思っていましたが生活者としてひつようである、生活の質をあげるためのものである事がはっきりしました。
	講義内容でのご指摘はよくわかりましたが、なんとなく違和感がありました。外国人のリテラシーを強調されていましたが、母国語と英語を話す外国人が多い中で、日本語学習の必要性を説くだけでは一方通行になりませんか。日本語を教える場合は同化政策に陥らないでほしい。多言語表記を進めたり、国際交流関係の会議などでは英語も使えるなど日本側の努力も同時に進めていただきたいと思います。
	文字学習、漢字学習が生活者としての外国人にどのように力を与えるかがよくわかりました。
	全2回と同じく、講師の方の説明がとても分かりやすくハキハキしていて良かったです。
	漢字教育は常に頭痛の種だから

<p>読み書きなど、文字の学習は人権の一つであるというお話が印象に残りました。</p> <p>また、職業選択肢を広げるためにも重要であるとの指摘も、心に残りました。</p> <p>実は外国人のための就労支援を行なったとき、仕事ができても読み書きができないと、上の役職にはつけないと講師の方が言われていました。そんな経験もあり、会話中心の地域日本語教室でも、読み書きを学ぶことはとても大切だと思っています。</p> <p>前半、文字情報が多かったので、ハンドアウトがあると助かりました。</p>
漢字学習の重要性を知れたから
どうして「とてもよかった」という選択肢がないのですか。
<p>私の主人は外国人で、漢字学習がまるでできず、もう諦めてしまったのですが、今日の研修で、ただ漢字が苦手だけでなく、背景に、母国での教育の問題があることに気が付きました。ありがとうございます。</p>
文字学習の必要性を改めて感じた
<p>北代 色さんの詩が感動的でした。それだけに、今ニューカマーにも同様のことが起こっているという警鐘がショッキングで、何とかしなければという思いに捕らわれました。</p>

【アンケート結果 質問2「研修会のわかりやすさについて」】

質問	回答（選択式）
質問2. わかりやすさについて （選択式）	とてもわかりやすかった（20人、59％）
	わかりやすかった（12人、35％）
	少しわかりにくかった（2人、6％）
	わかりにくかった（0人）

質問	回答
質問2. 研修会の内容について 「とてもわかりやすかった」 「わかりやすかった」「少し わかりにくかった」理由	多くの事例を紹介している。
	先生の説明がわかりやすかったです。
	進行が遅い（少しわかりにくかった）
	漢字学習のなぜ必要なのか、学習することでどのようなメリットがあるのかを考えられました
	具体例が多くてわかりやすかった
	課題（写真を撮ってくる）や 質問を その真意が理解できていなかったため。
	口頭のみでなく、図などで教示いただいたこと。
	具体的な例を挙げてご説明くださり、わかりやすかったです。
	漢字のお勉強のことが分かってよかったです。
	前半の リテラシーから 漢字指導のつながりは よくわかったのですが、少し範囲が広すぎて 前半の講義の重要性が あとになってやっと理解できました。すみません。自分の経験他の問題ですが、前半、少し難しかったです。（少しわかりにくかった）
	日本語教師を対象とした研修であったこと
	例示など、実際の調査、ご体験内容からのお話がわかりやすかったです。漢字学習をしたあとの感想などから、たんに漢字を覚える以外に、人として、自信がついたり、活動が変わったりするのだと思いました。
	地域日本語教室に対する見方の変化から、教室に求められていることや、これから求められるようになることが理解できた。
	先生の地域でのご経験、事例を基に文字支援を具体的に知ることができました。
	みんなで考える時間があったり、先生が詳しくわかりやすく説明してくださったからです。
	新矢先生のこれまでのご活動から教室での実際の授業まで、楽しく伺うことができ、勉強になりました。
	生活場面でのニーズから漢字を覚えることは効果があると思います。
	自身の日本語教室で役に立てる内容が多かったと思います。
	パワーポイントがよくできていたから
	文字の読み書きができることが、外国人の方にとって、どういう意味を持つのか、、、その重要性を例を出しながらお話していただいたので、よく伝わりました。
	前半の外国人に関する歴史的なことや、法律などの国の動きは、文字情報中心の画面では、記憶に残りにくい、そんな気がしました。
	漢字学習の大切さをわかりやすくご説明頂けたから
	いろんな角度から、文字学習を考えることができて、よかったです。
	たとえがあり、わかりやすかった。

【アンケート結果 質問3「興味を持った内容」について】

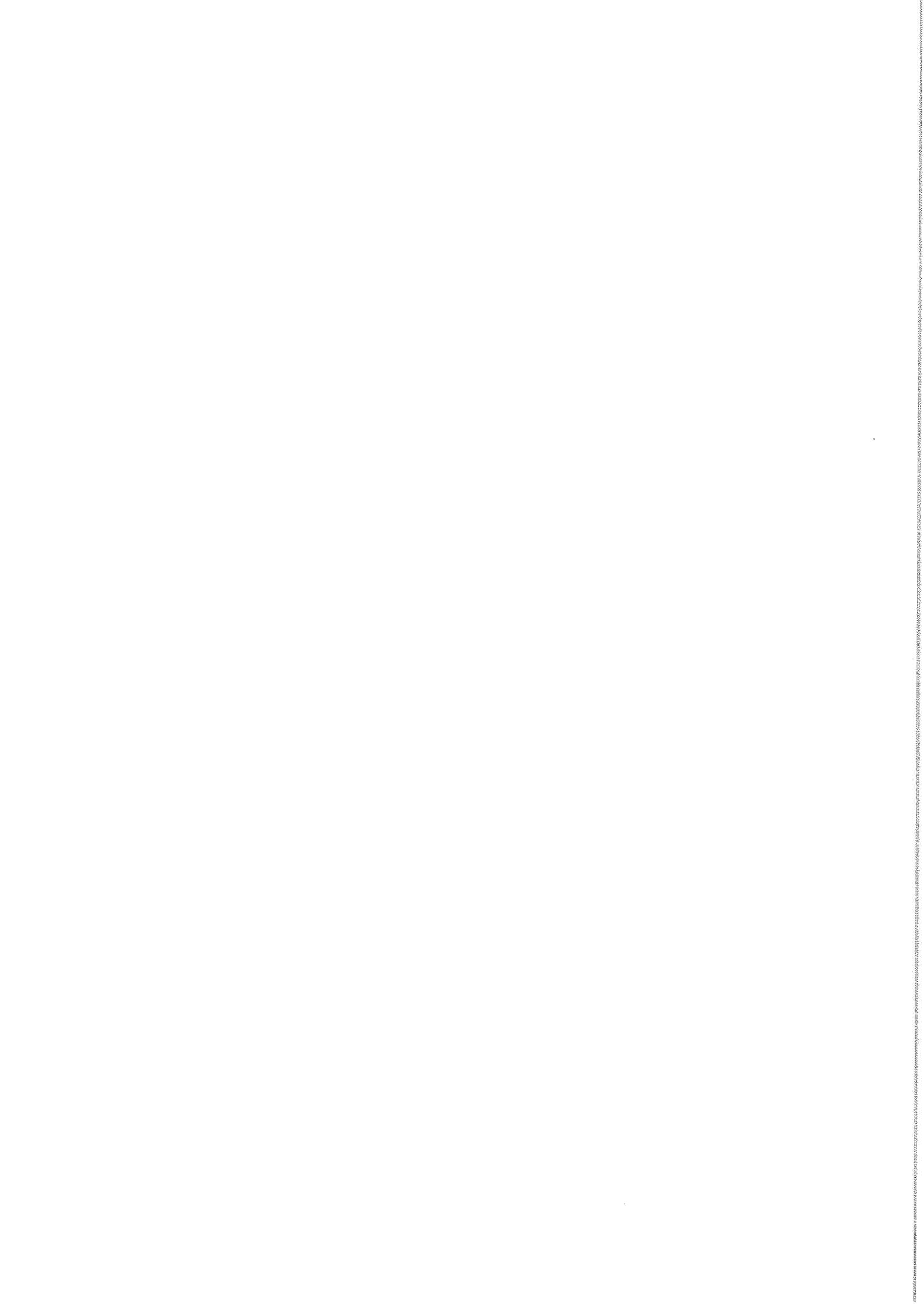
質問	回答
質問3. 特に興味を持った内容 は何か	漢字のテーマ
	表記の習得が社会とつながり自信が持て、生活を豊かにすることにつながる
	1 回完結型で達成感を持ってもらうよう組み立てる大切さがわかった
	生活の中で どんな感じが必要か いろいろな場面があることに気づけたこと
	リテラシー教育の要否とその背景
	漢字学習は入門時、適切な導入すると以降自律学習できるとのこと。
	漢字はどれですか、カタカナはどれですか・・・学習者さんがわからないことをまず、理解すること。何がわからない、何がしたい、それを知る努力の必要性がこの3回のセミナーでよくわかりました。
	「生活者としての外国人の日本語の特徴」ほか、生活日本語の中で漢字教育をどう考えるかにとっても興味をもったと同時に留学生を対象とした授業との違いがよくわかりました。ありがとうございました。
	漢字を学習したことで、生活が（行動が一人で行える）（夕焼けがきれいに見えるなど）変わるという点
	日本語の文字が理解できることによる、学習者の気持ちや社会参加についての変化。今まで文字学習を必要としている方に十分な支援ができていなかったのも、今後は支援を充実させて多くの方に社会参加していただきたいと感じたから。
	地域に日本語教師がどのようにかわれるか、考えるきっかけとなりました。
	生活のための日本語のカリキュラムについて。何が共通点であるかわかりました。
	今日勉強したことが生活ですぐ使える！学びながら使う！使いながら学ぶ！生活者のクラスだけでなく、留学生のクラスでも必要なことだと思いました。
	外国の人の人権を考えてずっと活動をされてきた事を日本人として誇らしく思いました。行政を動かすのは市民の仕事だと思えます。
	街にある漢字が写った写真を取るという課題から、学習者が関心のあるものを撮って来て、テーマにするのもいいかと思いました。
	漢字を学習し理解して行動できることが増える。そのことによって学習者が自信を得て生活がし易くなるということ。そして地域の日本語教室でも1回の教室で何かできるようになるように心がけた方がよいということ。とても勉強になりました。
	生活の漢字の必要性や学習方法など。
	生活漢字。場面シラバスとの相性がいいと感じたから。
	1、聞く話すは自然習得できるが、読み書きは自然習得は無理。読み書きができないと、職業選択肢が狭くなる。十分な社会参加が実現できない、、 2、リテラシーのお話。 3、外国人の声：字がわからないから出かけるのが怖かった。文字を覚えて自信が持てたなど。
	全て興味ある内容でした、特に学習者が本当は何かが必要かを見極める、漢字も日ごとの目標を設定してから授業に取り組む。に興味をもちました。今まで、会話の授業を重視して漢字を教えてきませんでした。今後は学習者さんのニーズをしっかりと分析し、必要であれば漢字教育も目標を設定して取り入れていきたいと考えることができるようになりました。

【アンケート結果 質問4「オンラインでの開催についてのご意見」】

質問	回答
質問4. オンラインでの開催についてのご意見 (研修会全体について)	特にありません。
	オンラインなので移動時間を考慮する必要がなく、参加しやすかった
	抽象的ですが、大変勉強になりました。(自分の経験と違っていたため) ありがとうございます。
	ブレイクアウトで様々な地域で活動されている方々とお話することができて、良かったです。
	ブレイクアウトの使い方に、もう少し検討が欲しい。
	色々な地域の方とお話が出来て大変参考になりました。また、参加したいです。
	オンラインでブレイクアウトをする場合、今回のように論点を明確にしていれば話しやすいのですが、そうでない場合、ただ自己紹介をするだけで時間が過ぎていくことが多いので、オンラインでのブレイクアウトは難しいかと思います。
	ブレイクアウトの時間を減らして2時間程度でもいいかもしれません(個人的にですが)
	どの回も大変興味のある内容で参加できてよかったです。
	マイクのオン・オフについて。指名の際にマイクをオンにするよう一言付け加えるとスムーズかなと感じた。
	サポートしてくださっておられたので安心して参加できました。
	勤務を終えて、開始時間の18時にパソコンの前に座るのはなかなか難しかったので、できれば19時くらいからにしていただけるとありがたいです。
	初めオンラインに不安がありましたが、スタッフの方々に親切に対応していただき、色々な地域の方とも情報交換ができて、コロナで例会もなく一人で教室をしている感じでしたが、広がりができ良かったです。教材も使いたいものを教えていただきありがたいです。色々ありがとうございました。-長澤たみこ
	オンラインはそく、皆さんの反応が分かるので、ワクワクします。しかし(涙) PCの不調や、操作不慣れでおいでいかれてしまうのが辛いです。
	オンラインによる研修は初めてでしたが、グループワークもあり、たくさんの方々と一緒に同じ会場で研修を受けているような感覚でとても集中して勉強できました。
	3回とも講師のみなさんの説明がとても分かりやすく、またブレイクアウトセッションも知らない方々と色々なお話ができてとても楽しかったです。
	漢字教育の実施状況など、研修内容に関連する活動実態についてのアンケートを事前にとってみてはどうか。講師に提供すると、受講者の背景が分かると思う。
	・オンラインの良さを享受することができた3回の研修でした。
	・コロナ禍でなくても、神戸のHIAまでいくのは、時間もお金も負担が大きいです。
	・ブレイクアウトルームの時間、もう少し余裕が欲しいです。
	・今日は、ブレイクアウトルームで話すテーマが、少し多すぎたように思います。
	短い時間であれば、テーマは一つが良いと思いました。
	授業の前後や休み時間などほかの方たちと交流できないことが少し残念です。
	毎回70人も80人もが参加でき、オンラインならではだと思いました。
	しかし、熱気は感じにくく、また、知り合った方と帰りにお茶でも(この時間ならちょっとビールでもか)とはならず、残念です。コロナさえなければ。。。
	オンラインのおかげで、名古屋から参加することができました。ありがとうございます。
	特にトラブルもなく快適に受講できました。今後もオンラインだと助かります。
	ZOOMセミナーに慣れていないと、前日に届くメールは入室情報の通知だと思いがちですので、事前課題は一週間前に言っていただくか、メールの件名に【事前課題通知】と明記してください。

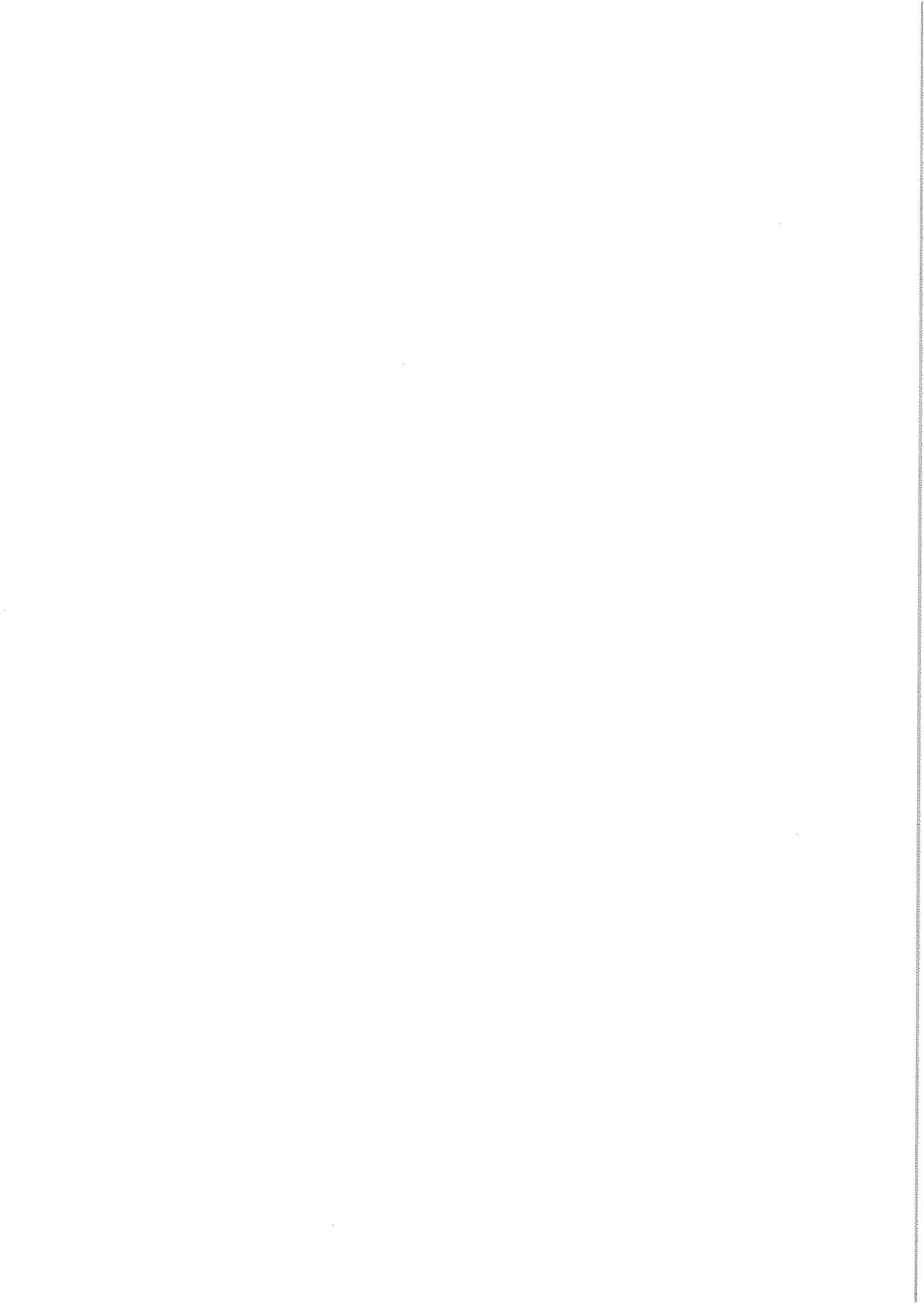
【アンケート結果 質問 5「今後取り上げてほしいテーマについて」】

質問	回答
質問 5. 今後取り上げてほしい テーマについて (研修会全体につい て)	子どもの日本語支援
	実際の兵庫県の 地域の日本語教室の様子や運営の仕方など
	やさしい日本語を地域の共通言語とするために必要なこと
	外国ルーツの子どもたちへの教育 (中学、高校)
	年齢や立場の違う方に対する日本語教育の違いや注意すべき点
	実際の教室で指導されているビデオなど。
	同じテーマでも、いろいろな先生のご意見を伺いたいと思う。
	地域日本語教室での日本語検定指導について。個人的には地域ボランティアでは荷が重いと感じています。
	ボランティア育成方法
	子供 (JSL生)の日本語教育研修をされるときにはぜひ参加したいです。
	日本語教師や、ボランティア対象の研修会もいいですが、自治体の関係部署の担当者と、地域日本語教室のボランティアがいっしょくたに参加するような研修会があれば、おもしろいことが起こりそう。「やさしい日本語」とか「地域日本語教室とは」みたいなテーマはなんでも。国際課や教育委員会だけでなく、市民課とか福祉課とか (そんなところから集まってくれはしないか) 役所の人はボランティアを低く見ているか、恐れているか、便利に使える市民と見ているか、どこか互いに誤解しているところがあります。同じ場で研修を受ければ、変わるかも知れません。地域日本語は今や国策なのですから、強気にでちゃえ。いっそハローワークや入管からも参加があればいいですね。
	オンライン授業について、効果的な進め方や、今後のあり方など、ご教示いただければと思います。
	在留資格ごとの特徴や兵庫県に多い国の人の文化的配慮 (宗教や生活上の違いなども)、歴史的配慮 (台湾をどう位置付けるか、ミャンマーやベトナム情勢など) など。
	私たちの何気ない言葉がヘイトスピーチになっていないか。(私の周りでは「あいつらは国に変えればいい」という言葉を気軽に言う日本人がいます)
	言葉の教え方以外に、私たちが気を付けなければならないことを知りたいです。
	CAN-DOで教える方法



【アンケート結果 質問6「その他ご意見、ご要望」】

質問	回答
質問6. その他ご意見、ご要望 (研修会全体について)	3回、本当に勉強になりました。ありがとうございました。
	能率的に進行して欲しい、
	時間ですが、2時間半は長時間なので、2時間程度にさせていただくとありがたいです
	お疲れ様でした。ありがとうございました。
	地域の日本語教室について、改めて考える機会となりました。自分たちでできることをしていきたいと思います。ありがとうございました。
	3回目の研修で使用されたパワーポイントは、資料としてpdfなどで配布していただけないのでしょうか。
	3回目の研修を除き、研修の対象者がよくわかりませんでした。私自身は日本語学校で日本語教師をしているのですが、やや消化不良の感があります。
	今回、遅刻することが多く、申し訳ありませんでした。18時半ごろからだに参加しやすい時間で有難いです。3回の研修、本当にありがとうございました。
	いろいろ考えながら進んでいったので、とても勉強になり、濃い時間になりました。ありがとうございました。
	時間が長いと感じました。
	「言うは易く行ふは難し」という言葉もありますが「いうも難し、行ふはもっと難し」の気持ちです。すぐに成果が出ないと感じるのは学習者だけでなく支援者も同じ。何か具体的なアクティビティについての紹介もしてほしいです。
	地域の日本語教室の支援者対象の研修も楽しみにしております。 ありがとうございました。
	1回目資料は早めにいただいたのですが、2回目3回目の資料等が届かず、いずれも前日にこちらから問い合わせようやく資料をいただきましたので、参加者や事務局の中で多少混乱がありました。
	これからも、いろいろなテーマで研修会をお願いします。 コロナ禍が収束しても、オンラインは残して欲しいです。 ありがとうございました。
	ありがとうございました。
	まだ地域の日本語学校での経験がないので、受講者の皆さんから、生の声を伺うことができ、とても有意義でした。ブレイクアウトルームは有効だと思います。またの機会を楽しみにしています。ありがとうございました。
	せうがくのコロナ禍での開催なので、それを取り入れた内容も聞きたかった。 例えば、「ワクチン接種」「PCR検査」など、学習者が困る医療と難しい語彙がでてくる場面です。 生活の中でも、消毒のトラブルが多いです。泡ハイターの内容がわからず手に付けて確認する、キッチンハイターの原液をそのまま布巾にかけて使用している、ワクチン接種で必要なもの「在留カード」でさえ文字だけ見てもわからず困っているなど。 他の方のそういった経験もお聞き出来たら、自分たちも気を付けて注意喚起できたかと思います。
	毎回、ほかの教室の方との交流もあり、楽しかったです。 ありがとうございました。



令和3年度 市町・国際交流協会職員対象 日本語教室担当者のための基礎講座 アンケート回答

日時：2021年 ①8月18日(水) ②9月29日(水) ③11月10日(水)

場所：HIA ギャラリー南

講師：山野上隆史氏（とよなか国際交流協会 事務局長）

参加者：延べ11名 ※小野市市民サービス課

国際交流協会(加東市、高砂市、播磨町、三木市、芦屋市、三田市、HIA)

回答数：10名 ※参加日にばらつきあり

1. 各回について

第1回 8/18(水)	・外国人を取り巻く状況と地域日本語教育の課題 ・多文化共生のまちづくりと課題
-------------	---

a. よかった 5名
b. まあまあよかった 2名

c. あまりよくなかった
d. よくなかった

理由

- 山野上先生の経験や具体的な話がよかった。
- これまで知らなかった情報が得られた。
- 日本語教育のさまざまなあり方を知れてよかったです。
- 最新の動向や情報がうまくまとめられていて整理して頭に入りました。
- 国の方針を聞けたり課題にどう導き出すか？多文化共生のまちづくりでの課題はどうなのか？いろいろ知ることが出来た回でした。

第2回 9/29(水)	・インタビューで得られた声から実践へ、コーディネーターについて考える ・現場の課題を整理し、実践につなげるための手法
-------------	---

a. よかった 6名
b. まあまあよかった

c. あまりよくなかった
d. よくなかった

理由

- インタビューで外国人の皆さんやボランティアの方々の意見、他協会の方々の意見を聞いたので。
- 課題の切り取り、分析ができたところ。
- 外国人の実際の声や地域による違いや同じところがわかってよかったです。
- 他市協会と課題を共有出来て、共感することも多かったです。

第3回 11/10(金)

・課題③の発表
・必要な取組を実現するための調整能力について考える

a. よかった 10名

c. あまりよくなかった

b. まあまあよかった

d. よくなかった

理由

- 発表の中で、自分たちの考えも整理でき、他協会の様子も知れた。
- 自分の考えだけでなく、他市の状況も知れて大変有意義でした。
- 前回からの分析後、行動計画まで導き出したこと。とにかくやってみます。
- 他の地域の課題を知りながら、行動計画を知り、たくさん自分たちのところに活かせる話が聞けてよかったです。
- たくさん情報共有ができた。発表内容も様々で興味深かった。
- 他市の取組み、アイデアが聞けてとても参考になりました。
- いろんな団体の課題、解決策を聞けてよかったです。

2. 講座全体について

a. よかった 10名

c. あまりよくなかった

b. まあまあよかった

d. よくなかった

理由

- 一度のみの参加でしたが行政の立場としてもためになりました。
- 様々な団体の話を聞いたのが、とてもよかったです！また、自分たちの課題をほりだせたりするきっかけになりました。
- 3回ともすごくいい雰囲気、みなさん打ち解けられていてとても楽しかったです！
- 他協会の取組がよくわかり参考になった。
- 他団体の活動内容や問題点、よい点が見えたこと。特に豊中の取組みは参考になりました。
- 先生の話聞くだけでなく、他の地域の状況や課題を共有する機会がたくさんあってよかったです。
- 講師の方が経験豊富な方でうまく取りまとめられていた。
- あいまいにイメージしていたものが、ずいぶんクリアになりました。
- 他市のお話を聞きみなさんのパワーをもらいました。ネットワークができてよかったです。

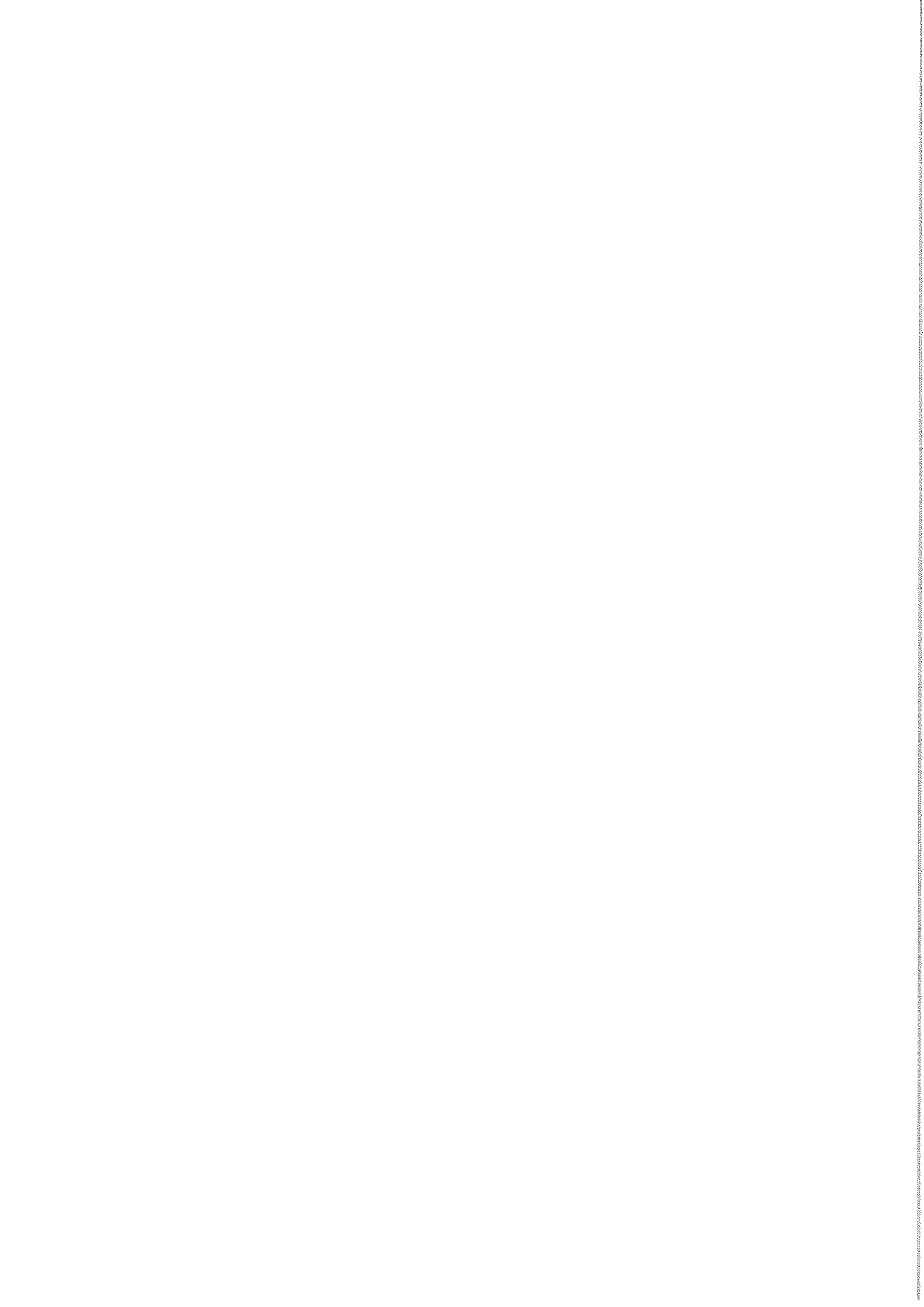
3. その他、ご意見・ご感想など

- とても貴重な機会ありがとうございました。
- 久しぶりに脳内リフレッシュできました。ありがとうございました！
- 良い機会をいただきありがとうございました。
- ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。
- いろいろなヒントを頂きました。山野上さんの話し方も柔らかくて良かったです。

令和3年度 県民講座 I 期(オンライン) 受講者アンケート Aクラス

【アンケート回答数】
講座全体:21名(回答率62%)
Aクラス:1名(回答率25%)

質問	回答(回答者1名)
1. どのように講座を知ったか(選択)	家族や友人の紹介
2. どうしてHIAの講座に申し込んだか(複数選択)	安い、レベルが適切、その他(おすすめされたから)
3. 講座を受講してどうだったか(選択)	とてもよかった
その理由(記述)	教え方がすばらしかったし、全員に話したり質問したりする機会があり、お互いにやりとりすることも多く、小さいクラスであることがとても良かった。学習項目も面白くてちょうどよかった。とても感銘を受けました！
4. 授業のペースはどうだったか(選択)	少しはやかった
5. 授業で扱う文法の量はどうか(選択)	ちょうどよかった
6. 講座を受講して日本語が上達したと感じるか(選択)	とても上達した
7. 受講前よりもスムーズに生活できるようになったか(選択)	できるようになった
8. 講座で学習して生活がどのように変わったか(複数選択)	住んでいる地域の人とコミュニケーションが増えました 生活で不便に思うことが減りました 生活で不安に思うことが減りました 日本の文化や習慣でわかることが増えました
9. 講座で学習してどのように生活に役立ったか(複数選択)	買い物、病院、知人との会話、その他(旅行)
10. 日本語をもっと勉強したいか(選択)	はい
11. 今後どのようなことができるようになりたいか(複数選択)	近所の人と話す、友人と話す、電話に出る、電話で話す、病院で医者と話す、その他(旅行先で話す)
12. オンライン授業はどうだったか(記述)	Zoomの問題が時々あったが、HIAがアップデートするようにアドバイスしてくれたので問題が解決しました。ありがとうございます。
13. その他感想など(記述)	先生2人のすばらしい授業にBig THANK YOUを伝えたいです。講座をとても楽しめ、先生の専門性のある教え方に感動しました。クラス内でのやり取りの量が良く、グループ学習をとても楽しむことができました。この講座は私の日常生活にとっても助けになりましたし、私に日本語に対する学習意欲を持たせてくれました。Arrigato Gozaimasu!!!



令和3年度 県民講座Ⅰ期(オンライン) 受講者アンケート
Bクラス

【アンケート回答数】

講座全体:21名(回答率62%)

Bクラス:4名(回答率80%)

質問	回答(回答者4名)
1. どのように講座を知ったか(選択)	HIAからのお知らせ 2 HIAのホームページ 1 家族や知人からの紹介 1
2. どうしてHIAの講座に申し込んだか(複数選択)	家や会社から近い 1 オンラインだから 3 レベルがちょうどいい 2 安い 1 夜の時間帯 1 その他 2(前回の講座がよかったから。/以前HIAで受講して楽しかったから。でも私にはもっと簡単な練習が必要。)
3. 講座を受講してどうだったか(選択)	とてもよかった 2 よかった 2
その理由(記述)	・もっと宿題があったら授業によりついていけたかもしれない。 次はもっと頑張ります。 ・英語の説明が無かったので、みんな同じページを見ているか確認が無いときは、ときどき授業で今何をしているのかとても混乱することがあった。
4. 授業のペースはどうだったか(選択)	少しはやかった 2 ちょうどよかった 2
5. 授業で扱う文法の量はどうか(選択)	ちょうどよかった 4
6. 講座を受講して日本語が上達したとを感じるか(選択)	とても上達した 1 少し上達した 3
7. 受講前よりもスムーズに生活できるようになったか(選択)	少しできるようになった 1 変わらない 3
8. 講座で学習して生活がどのように変わったか(複数選択)	生活で不便に思うことが減った 1 日本の文化や習慣でわかることが増えた 1 生活に必要な情報を集められるようになった 1 近所の人とコミュニケーションが増えた 1 生活で心配に思うことが減った 1 住んでいる地域についてより知りたくなった 2 地域の行事に参加したくなった 1 その他 2(Insufficient new material for any real change on lifestyle / No big change tho' talking with others in Japanese is good.)
9. 講座で学習してどのように生活に役立ったか(複数選択)	買い物 2 知人や友人との会話 2 役所、職場、学校 各1 その他 2(他の受講者に会って日本語を話した/より理解して聞けるようになった)
10. 日本語をもっと勉強したいか(選択)	はい 4
11. 今後どのようなことができるようになりたいか(複数選択)	近所の人と話す 3 友人と話す 2 電話に答える 3 市役所で手続きする 2 病院 1 メールを書く 1 その他 2(地域の文化を知りたい/「ブロークンな日本語」ではなく丁寧な日本語を話す)
12. オンライン授業はどうだったか(記述)	・とてもいい、自分のPCに問題もあったが大丈夫だった ・悪くない ・前と同じで大丈夫だった ・オンラインクラスが好き

13. その他感想など(記述)

- ・まだすらすらと文字を読めない。私の勉強不足だけれど、クラスではテキストでやっていることを理解するのに、私にはとても長い時間が必要。
- ・私達が教材を無駄にしていたとしても("otherwise we are wasting resources"), 学習者は先生が教えている内容を理解しています。
- ・もっと授業と宿題のリストが必要だと思った。宿題はいつもクラスの最後に急いで伝えられるので、一度もわからなかった。だから自分が必要だと思うことを勉強していたけれど、読む力が足りなくて何を勉強すべきか把握するのでさえもとても時間がかかってしまって、それがとても苦しかった。
- ・悪くなかった。

令和3年度 県民講座Ⅰ期(オンライン) 受講者アンケート
Cクラス

【アンケート回答数】
講座全体:21名(回答率62%)
Cクラス:4名(回答率57%)

質問	回答(回答者4名)
1. どのように講座を知ったか(選択)	HIAからのお知らせ 2 HIAのホームページ 1 その他(KICCから) 1
2. どうしてHIAの講座に申し込んだか(複数選択)	安い 4 夜の時間帯 4 オンライン 4 レベルがちょうどいい 3 家や会社に近い 1 その他 1(コースはよく構成されていて、経験方法で親切な先生が専門的に教えてくれる)
3. 講座を受講してどうだったか(選択)	とてもよかった 4
その理由(記述)	・私がミスをして先生たちはとても親切で、励ましてくれた。 ・上と同じ(※Q2の「その他」) ・とてもインタラクティブで、授業で扱われるとても教材もよかった。クラス授業でもとてもたくさんの練習ができた。 ・先生たちは親切です。新しい日本語を勉強しました。
4. 授業のペースはどうだったか(選択)	ちょうどよかった 3 少しはよかった 1
5. 授業で扱う文法の量はどうか(選択)	ちょうどよかった 4
6. 講座を受講して日本語が上達したと感じるか(選択)	とても上達した 3 少し上達した 1
7. 受講前よりもスムーズに生活できるようになったか(選択)	できるようになった 4
8. 講座で学習して生活がどのように変わったか(複数選択)	生活で不便に思うことが減った 4 生活で心配に思うことが減った 4 近所の人とコミュニケーションが増えた 4 日本の文化や習慣でわかることが増えた 3 生活の情報を集められるようになった 3 助言を求める日本人の知り合いが増えた 2 地域のルールでわかることが増えた 1 地域の行事に参加した 1
9. 講座で学習してどのように生活に役立ったか(複数選択)	電車やバス 4 買い物、学校、知人や友人との会話 各3 市役所、近所の人との会話 各2 仕事、就職、病院 各1
10. 日本語をもっと勉強したいか(選択)	はい 4
11. 今後どのようなことができるようになりたいか(複数選択)	知人や友人と話す 4 電話に出る、電話に答える 4 市役所で手続きする 4 病院で医者と話さ 4 メールを書く 4 近所の人と話す 3 学校からのお知らせを理解する 1
12. オンライン授業はどうだったか(記述)	・オンラインコースは素晴らしい。私にとってとても便利なので来学期もオンラインがあってほしい。 ・オンラインクラスはよかったです。 ・パーフェクト ・とてもよかった。
13. その他感想など(記述)	・このテキストが好きだが時々理解が難しい。練習はよかった。 ・私にとってこのテキストはついていきやすく、イラストも理解の助けになった。 講座全体を通してとても楽しい経験になり、他の人にも勧めたいと思っている。 ・適切な量の学習項目と親切で丁寧な先生方で、クラスはすばらしかった。 ・クラスはとてもたのしかったです。どうもありがとうございます。 また10がつにあいましょう。(ママ)

令和3年度 県民講座Ⅰ期(オンライン) 受講者アンケート
Dクラス

【アンケート回答数】
講座全体:21名(回答率62%)
Dクラス:5名(回答率71%)

質問	回答(回答者5名)
1. どのように講座を知ったか(選択)	知人からの紹介 3 その他 2(篠山国際理解センターから 1)
2. どうしてHIAの講座に申し込んだか(複数選択)	レベルがちょうどいい 5 家や会社に近い 3 夜の時間帯だから 3 オンラインだから 3 安い 3
3. 講座を受講してどうだったか(選択)	とてもよかった 5
その理由(記述)	・みんなのレベルは同じでした。先生は2人ともすばらしかったです。 ・先生たちはとても親切で、みんなが授業についてきているか、よく見ていてくれた。
4. 授業のペースはどうだったか(選択)	ちょうどよかった 5
5. 授業で扱う文法の量はどうか(選択)	ちょうどよかった 5
6. 講座を受講して日本語が上達したと感じるか(選択)	少し上達した 4 とても上達した 1
7. 受講前よりもスムーズに生活できるようになったか(選択)	少しできるようになった 4 できるようになった 1
8. 講座で学習して生活がどのように変わったか(複数選択)	日本の文化や習慣でわかることが増えた 3 地域のルールがわかった 2 地域の人とコミュニケーションが増えた 1 地域のことももっと知りたくなった 1 日常生活で不便に思うことが減った 1 日常生活で不安に思うことが減った 1
9. 講座で学習してどのように生活に役立ったか(複数選択)	買い物 5 仕事 3 電車やバス 3 知人や友人との会話 3 学校 1
10. 日本語をもっと勉強したいか(選択)	はい 5
11. 今後どのようなことができるようになりたいか(複数選択)	近所の人と話す 5 知人や友人と話す 5 電話で話す 5 役所で手続きをする 5 病院で医者と話す 5 メールを書く 3 学校からのお知らせを理解する 2
12. オンライン授業はどうだったか(記述)	・こまったことはありませんでした。たのしかったです。 ・すばらしかった、とても役に立った。
13. その他感想など(記述)	・もっとHIAオンラインコースで勉強したいです。 ・コースは私のレベルにちょうどよかったし、クラスは本当におもしろかった。 教科書もとても役に立つもので語彙の量もコースにちょうどよかったと思う。

令和3年度 県民講座Ⅰ期(オンライン) 受講者アンケート
Eクラス

【アンケート回答数】
講座全体:21名(回答率62%)
Eクラス:7名(回答率64%)

質問	回答(回答者7名)
1. どのように講座を知ったか(選択)	HIAからのお知らせ 4 ちらしやポスター 1 知人からの紹介 1 その他 1(篠山国際理解センターから)
2. どうしてHIAの講座に申し込んだか(複数選択)	オンラインだから 5 安い 4 夜の講座だから 4 レベルがちょうどいい 2 その他 1(以前の経験がよかった)
3. 講座を受講してどうだったか(選択)	とてもよかった 5 よかった 1 ふつう 1
その理由(記述)	・先生はとてもやさしいし、上手でした。 ・日本の生活につかうことばいっぱいならったから。 ・もっと日本語を使いたいです。 ・日本の文化が深く知りました。 ・ときどき私には少し速かったですがいいペースでした。 ・先生達はとても親切でした。 ・とくに共有スクリーンなどがよく準備されていて良かったです。 ・手元のカメラやホワイトボードを使っている時ははっきり見聞きすることができず、残念でした。でも共有スクリーンがある時は最高でした！先生の説明はわかりやすく、準備万端という感じでとても気に入りました！
4. 授業のペースはどうだったか(選択)	速かった 1 少し速かった 2 ちょうどよかった 3
5. 授業で扱う文法の量はどうか(選択)	ちょうどよかった 6 多すぎた 1
6. 講座を受講して日本語が上達したと感じるか(選択)	とても上達した 3 少し上達した 4
7. 受講前よりもスムーズに生活できるようになったか(選択)	できるようになった 3 少しできるようになった 4
8. 講座で学習して生活がどのように変わったか(複数選択)	日本の文化や習慣でわかることが増えた 5 日常生活で心配に思うことが減った 2 地域の人とコミュニケーションが増えた 2 生活に必要な情報を集められるようになった 2 地域についてもっと知りたくなった 2 日常生活で不便に思うことが減った 1 その他 1(少し自信を持って外出できるようになった)
9. 講座で学習してどのように生活に役立ったか(複数選択)	買い物 5 友人や知人との会話 3 メール 3 電車やバス 3 電話 2 近所づきあい 2 仕事 2 病院 2 役所 1 就職 1 その他 1(家族と話す)
10. 日本語をもっと勉強したいか(選択)	はい 7
11. 今後どのようなことができるようになりたいか(複数選択)	近所の人と話す 5 電話で話す 5 メールを書く 5 友人や知人と話す 4 役所で手続きをする 4 病院で医者と話す 4 学校からのお知らせを理解する 1 その他 1(日常生活のすべての場面で基本的なやり取りができるようになりたい。)

12. オンライン授業はどうだったか(記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・時々オーディオファイルが聞き取りにくかった ・スムーズにクラスについていけて、問題なかった ・とても楽しかったです ・何も問題ない ・人が多いので話すチャンスが少ないです ・すごくよかったです
13. その他感想など(記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・講座をありがとうございます。 ・Eクラスのあとで、HIAで勉強する機会は無いのですか？ ・すべて問題なかったです。 ・先生が本当によく教えてくれました！ ・先生たちがやさしくて説明しましたからもっと日本語をならいたいきもちになりました。メールを書くとき電話をかける会話もならいたいです。 ・先生がとても良いと思います。ありがとうございます。 ・もっとレベルのクラスが欲しいですが

R3年度県民講座Ⅱ期(オンライン)
受講者アンケートまとめ(Aクラス)

※Aクラス 回答1名

質問	回答
あなたのクラス	A
1. どうやってHIAの講座を知りましたか (選択)	HIAからのお知らせ HIAのホームページ 1 知人からの紹介 その他
2. どうしてHIAの講座を選びましたか (複数選択)	オンラインだから 1 夜のクラスだから 安いから レベルがちょうどいいから 家や会社に近いうから その他
3. HIAのオンライン講座はどうでしたか (選択)	とてもよかった 1 よかった ふつう あまりよくなかった よくなかった
4. クラスのスピードはどうでしたか (選択)	速い すこし速い ちょうどいい 1 すこし遅い 遅い
5. 文法の量はとうでしたか (選択)	多い すこし多い ちょうどいい 1 すこし少ない 少ない
6. この講座で日本語が上達しましたか (選択)	とても上達した 1 すこし上達した 変わらなかった
7. 講座を受ける前よりも、日本語を使ってスムーズに生活できるようになりましたか (選択)	できるようになった 1 すこしできるようになった 変わらない
8. この講座で勉強して、生活はどのように変わりましたか (複数選択)	地域の人とのコミュニケーションが増えた 1 日本の文化・習慣でわかることが増えた 生活に必要な情報を集めることが増えた 生活で不自由することが減った 生活で不安に思うことが減った ゴミ出しなどの地域のルールでわかることが増えた 日本人の知り合いや相談できる人が増えた 自分の地域について知りたいことが増えた 地域のイベントへの参加が増えた その他
9. この教室で勉強した日本語は、どんなときに役に立ちましたか (複数選択)	買い物 1 知り合いや友達 1 電車やバス 1 仕事 電話 メール 近所づきあい 役所 病院 学校 就職 引っ越し その他
10. これからも日本語をがくしゅうしたいですか (選択)	はい 1 いいえ

<p>11. これからどんなことをできるようになりたいですか (複数選択)</p>	<p>友達や知り合いと話す 1 電話をかけたり電話にこたえたりする 1 役所で手続きをする 1 病院で医者と話 近所の人と話 メールを書く 1 学校からの連絡を理解する その他</p>
<p>12. オンライン授業はどうでしたか。困ったことはありませんでしたか (自由記述)</p>	<p>オンラインコースはとても有意義で満足だった。何も問題なかった。</p>
<p>13. その他、授業やテキストについて自由に書いてください (自由記述)</p>	<p>コースは日本語学習にとっても役立った。クラスの進み具合はスムーズだったし、先生たちも親切で教科書もちょうどよかった。とても感謝している。</p>

R3年度県民講座Ⅱ期(オンライン)
受講者アンケートまとめ(Bクラス)

※Bクラス 回答5名

質問	回答
あなたのクラス	B
1. どうやってHIAの講座を知りましたか (選択)	HIAからのお知らせ 2 HIAのホームページ 知人からの紹介 2 その他 1(ハローワーク)
2. どうしてHIAの講座を選びましたか (複数選択)	オンラインだから 5 夜のクラスだから 1 安いから 4 レベルがちょうどいいから 3 家や会社に近いから その他 1(先生の教え方の質がよく、役に立つトピックだと友人に勧められた)
3. HIAのオンライン講座はどうでしたか (選択)	とてもよかった 5 よかった ふつう あまりよくなかった よくなかった
→ 理由	・先生たちがすばらしかった。いろいろな教材やテクノロジーを使っているのがよかった。内容も役立つもので、私のレベルに合っていた。いつもゆっくりはつきり話してくれるのでわかりやすかった。いつもプロフェッショナルでとても忍耐強く親切だった。 ・先生たちや教え方が素晴らしかった。 ・先生たちが親切で、教材や教え方が役立つものだった。
4. クラスのスピードはどうでしたか (選択)	速い すこし速い ちょうどいい 4 すこし遅い 1 遅い
5. 文法の量はどうでしたか (選択)	多い すこし多い ちょうどいい 4 すこし少ない 1 少ない
6. この講座で日本語が上達しましたか (選択)	とても上達した 3 すこし上達した 2 変わらなかった
7. 講座を受ける前よりも、日本語を使ってスムーズに生活できるようになりましたか (選択)	できるようになった すこしできるようになった 5 変わらない
8. この講座で勉強して、生活はどのように変わりましたか (複数選択)	地域の人とのコミュニケーションが増えた 1 日本の文化・習慣でわかることが増えた 2 生活に必要な情報を集めることが増えた 3 生活で不自由することが減った 3 生活で不安に思うことが減った 1 ゴミ出しなどの地域のルールでわかることが増えた 日本人の知り合いや相談できる人が増えた 1 自分の地域について知りたいことが増えた 地域のイベントへの参加が増えた その他 1(仕事が忙しくなかったらもっと勉強したくなった)
9. この教室で勉強した日本語は、どんなときに役に立ちましたか (複数選択)	買い物 4 知り合いや友達 1 電車やバス 2 仕事 電話 1 メール 1 近所づきあい 役所 1 病院 学校 1 就職 引っ越し その他 2(旅行、親戚と会う)

10. これからも日本語をがくしゅうしたいですか (選択)	はい 5 いいえ
11. これからどんなことをできるようになりたいですか (複数選択)	友達や知り合いと話す 5 電話をかけたり電話にこたえたりする 5 役所で手続きをする 4 病院で医者と話す 5 近所の人と話す 4 メールを書く 3 学校からの連絡を理解する 2 その他
12. オンライン授業はどうでしたか。困ったことはありませんでしたか (自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・とても簡単で便利だった ・とてもよかった。何も問題なかった。 ・オンラインコースは何も問題なかったとてもよかったし問題なかったが、週に2回だけなのでもっと日数がほしい。 ・先生達はとても親切で教え方もとてもよかった。リラックスしてハッピーな雰囲気の中で日本語が勉強出来て楽しかった。来年の講座にも続けて参加したい！
13. その他、授業やテキストについて自由に書いてください (自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ録画を欠席者が見られるようにしてはどうか。またZoomやPC操作が難しい受講者には、別の時間に操作を教えるか、操作がわかるビデオなどを紹介して、Zoomトラブルで授業を止めないようにするとともにいいと思う。教科書はいいと思うが全部の問題をしなかった。次のトピックに行く前に復習が十分じゃなかったように思う。授業中にもっと復習出来たらよかった。 ・コースはとても良かったし、教科書も大丈夫だった。もしかしたらもっと漢字を教えてほしかったかもしれない。日本人は早くから漢字を勉強しているので漢字を読むのは日本人にとっては自然なことだが、外国人にとっては漢字を知することは想像以上にとても大変。 ・教材、教え方、先生たちはすばらしかった。とてもおすすめ。 ・日本語を教えてくれて本当にありがとう。

R3年度県民講座Ⅱ期(オンライン)
受講者アンケートまとめ(Cクラス)

※Cクラス 回答2名

質問	回答
あなたのクラス	C
1. どうやってHIAの講座を知りましたか (選択)	HIAからのお知らせ HIAのホームページ 1 知人からの紹介 その他 1(芦屋国際からのお知らせ)
2. どうしてHIAの講座を選びましたか (複数選択)	オンラインだから 2 夜のクラスだから 2 安いから 1 レベルがちょうどいいから 1 家や会社に近いかから 1 その他 1(いい先生から文法を学べるから)
3. HIAのオンライン講座はどうでしたか (選択)	とてもよかった 2 よかった ふつう あまりよくなかった よくなかった
→ 理由	・まず何よりも先生たちが本当に本当によかった。日本語だけですべて説明しみんながちゃんと参加しているか確かめてくれていた。6人という少人数クラスもよかったしオンライン形式もよかったのでコースはとてもよく準備されていたと思う。この形でぜひ続けていってほしい。 ・私達は文法を勉強して、文を作って会話を練習した。覚えやすくて学びやすかった。
4. クラスのスピードはどうでしたか (選択)	速い すこし速い ちょうどいい 2 すこし遅い 遅い
5. 文法の量はどうでしたか (選択)	多い すこし多い ちょうどいい 2 すこし少ない 少ない
6. この講座で日本語が上達しましたか (選択)	とても上達した 2 すこし上達した 変わらなかった
7. 講座を受ける前よりも、日本語を使ってスムーズに生活できるようになりましたか (選択)	できるようになった 2 すこしできるようになった 変わらない
8. この講座で勉強して、生活はどのように変わりましたか (複数選択)	地域の人とのコミュニケーションが増えた 2 日本の文化・習慣でわかることが増えた 生活に必要な情報を集めることが増えた 1 生活で不自由することが減った 1 生活で不安に思うことが減った ゴミ出しなどの地域のルールでわかることが増えた 1 日本人の知り合いや相談できる人が増えた 1 自分の地域について知りたいことが増えた 1 地域のイベントへの参加が増えた その他 1(外出したり友達や家族に会うときにより自信が持てるようになった。そのことで、自分が本当に日本語の会話を勉強していけると実感できた。次のクラスが待ち遠しい！)
9. この教室で勉強した日本語は、どんなときに役に立ちましたか (複数選択)	買い物 2 知り合いや友達 1 電車やバス 2 仕事 1 電話 1 メール 1 近所づきあい 1 役所 2 病院 1 学校 1 就職 1 引っ越し その他 2(旅行、親戚と会う)

10. これからも日本語をがくしゅうしたいですか (選択)	はい 2 いいえ
11. これからどんなことをできるようになりたいですか (複数選択)	<p>友達や知り合いと話す 2 電話をかけたり電話にこたえたりする 2 役所で手続きをする 2 病院で医者と話す 1 近所の人と話す 1 メールを書く 1 学校からの連絡を理解する その他 1(友達や家族が何を言っているかわかるために語彙を増やして、会話に加わりたい。)</p>
12. オンライン授業はどうでしたか。困ったことはありませんでしたか (自由記述)	<p>・最高だった！時間や形式は私のスケジュールにぴったりだった。週に2回、夜HIAに行って対面クラスに参加するのはできないと思うので、対面クラスを再開するとしても、これからもオンラインかハイブリッドを続けてほしい。例えば2週間に3回Zoomで、対面は1回とか。</p> <p>・オンラインコースがとても好きだった。私の仕事のスケジュールからは少し時間帯が早かったけれど、コースについていけるようにした。</p>
13. その他、授業やテキストについて自由に書いてください (自由記述)	<p>・オンラインクラスはとてもよかった。文法、語彙、読むこと、話すことがちょうどよくミックスされていた。週に2回HIAに通うことはできないので、オンライン形式が最高。ブレイクアウトセッションで、サポータースタッフと話すのも、「本当の会話」をできるのでとてもよかった。英語の説明なしに日本語だけで教えられるのも気に入った。教科書もちょうどよく、少しチャレンジ要素があるけれど難しすぎないという点で、私にとって適切なレベルのクラスに参加していると感じられた。このままこのコースを続けてほしい。次のクラスにも申し込むつもりだし、必要ならもっと高い受講料でも問題ない。学習の機会を本当にありがとうございました。</p> <p>・クラスや先生の教え方が好きだった。常に私が日本語で言おうとしたことを理解しようとしてくれた。ときどき日本人ゲストがいたのもスペシャルだった。クラスに感謝している。次のクラスが楽しみ。</p>

R3年度県民講座Ⅱ期(オンライン)
受講者アンケートまとめ(Dクラス)

※Dクラス 回答6名

質問	回答
あなたのクラス	D
1. どうやってHIAの講座を知りましたか (選択)	HIAからのお知らせ 3 HIAのホームページ 2 知人からの紹介 その他 1(多可町日本語教室からのお知らせ)
2. どうしてHIAの講座を選びましたか (複数選択)	オンラインだから 5 夜のクラスだから 5 安いから 4 レベルがちょうどいいから 3 家や会社に近いかから 3 その他 1(日常生活で日本人や街の人に迷惑をかけないように、日本語をよく学ばなければなりません)
3. HIAのオンライン講座はどうでしたか (選択)	とてもよかった 3 よかった 3 ふつう あまりよくなかった よくなかった
→ 理由	・先生たちがよく助けてくれたし、コースの内容もよかった。ただすべて日本語の説明なので、まだ少しわからない文法もある。 ・先生たちがいつもゆっくりはっきり話してくれて、受講生に答えてくれて嬉しかった。 ・HIA組織のスタッフは一生懸命働き、すべての留学生のあらゆる側面を真剣に受け止め、責任ある姿勢を心から達成しています。先生はみんなとてもプロフェッショナルな日本人です。多くの面で非常に注意深く各レッスンを説明してくださいました。
4. クラスのスピードはどうでしたか (選択)	速い 1 すこし速い ちょうどいい 5 すこし遅い 遅い
5. 文法の量はどうでしたか (選択)	多い すこし多い 1 ちょうどいい 5 すこし少ない 少ない
6. この講座で日本語が上達しましたか (選択)	とても上達した 3 すこし上達した 3 変わらなかった
7. 講座を受ける前よりも、日本語を使ってスムーズに生活できるようになりましたか (選択)	できるようになった 3 すこしできるようになった 2 変わらない 1
8. この講座で勉強して、生活はどのように変わりましたか (複数選択)	地域の人とのコミュニケーションが増えた 4 日本の文化・習慣でわかることが増えた 4 生活に必要な情報を集めることが増えた 5 生活で不自由することが減った 3 生活で不安に思うことが減った 5 ゴミ出しなどの地域のルールでわかることが増えた 1 日本人の知り合いや相談できる人が増えた 1 自分の地域について知りたいことが増えた 地域のイベントへの参加が増えた その他 1(外出したり友達や家族に会うときにより自信が持てるようになった。そのことで、自分が本当に日本語の会話を勉強していけると実感できた。次のクラスが待ち遠しい！)

9. この教室で勉強した日本語は、どんなときに役に立ちましたか (複数選択)	買い物 6 知り合いや友達 4 電車やバス 4 仕事 4 電話 2 メール 2 近所づきあい 3 役所 1 病院 1 学校 就職 1 引っ越し その他
10. これからも日本語をがくしゅうしたいですか (選択)	はい 6 いいえ
11. これからどんなことをできるようになりたいですか (複数選択)	友達や知り合いと話す 6 電話をかけたり電話にこたえたりする 6 役所で手続きをする 5 病院で医者と話す 5 近所の人と話す 4 メールを書く 5 学校からの連絡を理解する 1 その他 1(コンピューターやスマートフォンの操作に関すること)
12. オンライン授業はどうでしたか。困ったことはありませんでしたか (自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったです。問題ない ・オンラインクラスはよかった。スピードがとても速かったので、まだ教えてもらった文法を使うことにはあまり自信が無いけれど、努力したい。来年もう一度同じクラスに参加出来たら、次はもっと自信をもてと思う。 ・いい先生たちと親切な友達がいて、この講座は私にとっても合っていた。 ・来学期もオンラインクラスがあることを強く望んでいる ・問題なかった ・とてもよかった!!とてもよかった!!!
13. その他、授業やテキストについて自由に書いてください (自由記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・ほんとにありがとうございます。I hope that new class will open soon. ・すてきな日本語講座を提供してくれてありがとうございます。新しい人達や親切な先生たちと話することができてよかった。よいクリスマスとよいおとしを! ・先生と受講生とで短い日常会話ができるところが好きだった。 ・Teachers were great and very kind. せんせいすばらしくてしんせつでした。クラスもおもしろくてたのしかったです。どうもありがとうございます。またらいねんあいましょう ・コースの進め方がさらに良くなったように感じた。いつかのコースではやり取りが少なかったのが残念だったことを覚えている。私が理解できることが増えたのか、コースの進度がゆっくりになったのかわからないが、いずれにせよ私にとって良かった。先生たちが授業をよく準備してくれているのがよくわかった。HIAのみなさんにこのような日本語を学べる機会を与えてくれたことを感謝している。 ・HIAに心から感謝します。HIAのすべてのスタッフに心から感謝します。今後は、HIA、HIAのスタッフ一同、アドバイスやご支援をお願いしたいと思えます。日本語を上手に学び、日本社会にできることを貢献するために一生懸命頑張ってください!!!

R3年度県民講座Ⅱ期(オンライン)
受講者アンケートまとめ(Eクラス)

※Eクラス 回答6名

質問	回答
あなたのクラス	E
1. どうやってHIAの講座を知りましたか (選択)	HIAからのお知らせ 4 HIAのホームページ 1 知人からの紹介 その他 1(篠山国際理解センターからのお知らせ)
2. どうしてHIAの講座を選びましたか (複数選択)	オンラインだから 5 夜のクラスだから 5 安いから 4 レベルがちょうどいいから 3 家や会社に近いか 2 その他 1(仕事の後で授業に参加できるのが便利だから)
3. HIAのオンライン講座はどうでしたか (選択)	とてもよかった 6 よかった ふつう あまりよくなかった よくなかった
→ 理由	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが親切でとてもよかった。 ・先生たちがとてもよくて、忍耐強かった。2人ともちがう教え方だったが先生たちの教え方が好きだった。読むこと、話すこと、聞くことのバランスがよかった。 ・先生の説明がわかりやすいからです。 ・少し日本語を話せるようになりました。
4. クラスのスピードはどうでしたか (選択)	速い すこし速い 2 ちょうどいい 4 すこし遅い 遅い
5. 文法の量はどうでしたか (選択)	多い すこし多い ちょうどいい 5 すこし少ない 1 少ない
6. この講座で日本語が上達しましたか (選択)	とても上達した 3 すこし上達した 3 変わらなかった
7. 講座を受ける前よりも、日本語を使ってスムーズに生活できるようになりましたか (選択)	できるようになった 2 すこしできるようになった 4 変わらない
8. この講座で勉強して、生活はどのように変わりましたか (複数選択)	地域の人とのコミュニケーションが増えた 5 日本の文化・習慣でわかることが増えた 6 生活に必要な情報を集めることが増えた 3 生活で不自由することが減った 3 生活で不安に思うことが減った 3 ゴミ出しなどの地域のルールでわかることが増えた 2 日本人の知り合いや相談できる人が増えた 1 自分の地域について知りたいことが増えた 2 地域のイベントへの参加が増えた 1 その他 1(会った人と話せるし、何を言っているか理解できるので、日常生活がもっと嬉しいものになった。職場で英語を話せない同僚とのコミュニケーションにも役立った。)

<p>9. この教室で勉強した日本語は、どんなときに役に立ちましたか (複数選択)</p>	<p>買い物 4 知り合いや友達 6 電車やバス 2 仕事 6 電話 4 メール 3 近所づきあい 2 役所 1 病院 1 学校 1 就職 1 引っ越し 1 その他</p>
<p>10. これからも日本語をがくしゅうしたいですか (選択)</p>	<p>はい 6 いいえ</p>
<p>11. これからどんなことをできるようになりたいですか (複数選択)</p>	<p>友達や知り合いと話す 6 電話をかけたり電話にこたえたりする 6 役所で手続きをする 5 病院で医者と話す 5 近所の人と話す 5 メールを書く 6 学校からの連絡を理解する 1 その他</p>
<p>12. オンライン授業はどうでしたか。困ったことはありませんでしたか (自由記述)</p>	<p>・毎回とても集中できた。簡単ではなかったけれどもとても役立つ内容で、先生達もとても外交的で親切だった。</p> <p>・楽しかった。Eクラスの後にも参加できるクラスを開講してほしい。</p> <p>・自宅で参加をできて気楽だ。(ママ)</p> <p>・とても便利だと思います。</p> <p>・オンラインも大丈夫だけれど、対面クラスが好き。神戸に住んでいるので、前HIAに通うのは簡単だった。でも状況も理解できるし、オンラインだと兵庫県全体から参加できるところはとてもいいと思う。</p>
<p>13. その他、授業やテキストについて自由に書いてください (自由記述)</p>	<p>・いつもとてもいい体験になっている。</p> <p>・先生達は私達が理解できないときに助けてくれてすばらしかった。クラスメイトもみんな仕事の後で疲れているのにいつも一生懸命で、楽しくておもしろいクラスにするのに努力していた。本当にEクラスの後にも受講できるクラスがあつてほしい。絶対申し込むのに。</p> <p>・もしクラスのとに30分ぐらい自由にクラスメイトと話せる時間があつたらもっといいと思う。</p> <p>・お世話になっております。Hiaのオンライン授業を続けてほしいです。ペラペラになるまでに続けたい。移動の時間がなく、時間を有効に活用できることがとても便利だと思います。よろしくおねがいします。いろいろありがとうございました。</p> <p>・2月間の日本語クラス、宿題を書いたり、会話をしたりして、楽しかったです。優しい先生が丁寧に教えてもらって大変感謝しております。もっと日本人っぽく話たいんですので、また次のクラスを期待しております。</p> <p>・良かったと思う。次のレベルに進みたい。</p>

令和3年度県民講座Ⅱ期(オンライン) 受講者アンケートまとめ(全クラス)

※単位(人)

1. どうやってHIAの日本語講座を知りましたか

HIAからのお知らせ	9	45%
HIAのホームページ	5	25%
知人からの紹介	2	10%
その他	4	20%
篠山国際理解センター		
芦屋国際ひろば		
ハローワーク		
多可町の日本語教室		

2. どうしてHIAの日本語講座を選びましたか(複数回答)

オンラインだから	18
夜のクラスだから	13
安いから	13
レベルがちょうどいいから	10
家や会社に近いから	6
その他	4
・いい先生からよりよく文法を学べるから	
・先生の質がいいのととても役立つ内容だからと友人に勧められた	
・仕事の後で授業に参加できるのが便利だから	
・日常生活で日本人や街の人に迷惑をかけないように、日本語をよく学ばなければなりません	

3. HIAのオンライン講座はどうでしたか

とてもよかった	17	85%
よかった	3	15%
ふつう	0	0%
あまりよくなかった	0	0%
よくなかった	0	0%

4. クラスのスピードはどうでしたか

速い	1	5%
すこし速い	2	10%
ちょうどいい	16	80%
すこし遅い	1	5%
遅い	0	0%

5. 文法の量はどうでしたか

多い	0	0%
すこし多い	1	5%
ちょうどいい	17	85%
すこし少ない	2	10%
少ない	0	0%

6. この講座で日本語が上達しましたか

とても上達した	12	60%
少し上達した	8	40%
変わらなかった	0	0%

7. 前よりも日本語を使ってスムーズに生活できるようになりましたか

できるようになった	8	40%
少しできるようになった	11	55%
変わらない	1	5%

8. この教室で勉強して、生活はどのように変わりましたか(複数回答)

地域の人との コミュニケーションが 増えた	13
日本の文化・習慣でわかることが増えた	12
生活に必要な情報を集めることが増えた	12
生活で 不自由することが減った	10
生活で 不安に 思うことが減った	9
ゴミ出しなどの地域のルールで わかることが増えた	4
日本人の知り合いや相談できる人が増えた	4
自分の地域について知りたいことが増えた	3
地域のイベントへの参加が増えた	1
その他(※3ページに記載)	3

9. この教室で勉強した日本語は、どんなときに役に立ちましたか(複数回答)

買い物	17	学校	3
知り合い友達	13	就職	3
電車バス	11	引っ越し	1
仕事	11	その他	2
電話	8	・旅行	
メール	7	・特にない、今度親戚に会う	
近所づきあい	6		
役所	5		
病院	3		

10. これからも日本語を学習したいですか

はい	20	100%
いいえ	0	0%

11. これからどんなことをできるようになりたいですか
(複数回答)

友達や知り合いと話す	20
電話をかけたり電話にこたえたりする	20
役所で手続きをする	17
病院で医者と話す	16
近所の人と話す	14
メールを書く	16
学校からの連絡を理解する	4
その他	2
・友達や家族が何を言っているかわかるため に語彙を増やして、会話に加わりたい。	
・コンピューターとスマートフォンの操作に関すること	

令和3年度県民講座Ⅱ期(オンライン) 受講者アンケートまとめ(全クラス) 記述回答

3. HIAのオンライン講座はどうでしたか(「よかった」「とてもよかった」の理由)

- ・先生たちがすばらしかった。いろいろな教材やテクノロジーを使っているのがよかった。内容も役立つもので、私のレベルに合っていた。いつもゆっくりはっきり話してくれるのでわかりやすかった。いつもプロフェッショナルでとても忍耐強く親切だった。
- ・先生たちや教え方が素晴らしかった。
- ・まず何よりも先生たちが本当に本当によかった。日本語だけですべて説明しみんながちゃんと参加しているが確かめてくれていた。6人という少人数クラスもよかったしオンライン形式もよかったのでコースはととてもよく準備されていたと思う。この形でぜひ続けてほしい。
- ・私達は文法を勉強して、文を作って会話を練習した。覚えやすくて学びやすかった。
- ・先生たちが親切で、教材や教え方が役立つものだった。
- ・先生たちがよく助けてくれたし、コースの内容もよかった。ただすべて日本語の説明なので、まだ少しわからない文法もある。
- ・先生たちがいつもゆっくりはっきり話してくれて、受講生に答えてくれて嬉しかった。
- ・先生たちが親切でとてもよかった。
- ・先生たちがとてもよくて、忍耐強かった。2人ともちがう教え方だったが先生たちの教え方が好きだった。読むこと、話すこと、聞くことのバランスがよかった。
- ・先生の説明がわかりやすいからです。
- ・少し日本語を話せるようになりました。
- ・HIA組織のスタッフは一生懸命働き、すべての留学生のあらゆる側面を真剣に受け止め、責任ある姿勢を心から達成しています。先生はみんなとてもプロフェッショナルな日本人です。多くの面で非常に注意深く各レッスンを説明してくださいました。

8. この教室で勉強して、生活はどのように変わりましたか(その他の回答)

- ・会った人と話せるし、何を言っているか理解できるので、日常生活がもっと嬉しいものになった。職場で英語を話せない同僚とのコミュニケーションにも役立った。
- ・外出したり友達や家族に会うときにより自信が持てるようになった。そのことで、自分が本当に日本語の会話を勉強していけると実感できた。次のクラスが待ち遠しい！
- ・仕事が忙しくなかったらもっと勉強したい。

12. オンライン授業はどうでしたか。困ったことはありませんでしたか。

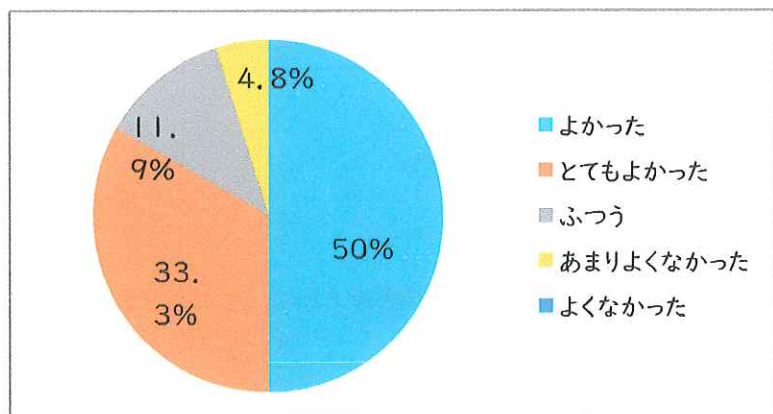
- ・全然なかった
- ・自宅で参加をできて気楽だ(ママ)
- ・とても便利だと思います
- ・オンラインも大丈夫だけれど、対面クラスが好き。神戸に住んでいるので、前HIAに通うのは簡単だった。でも状況も理解できるし、オンラインだと兵庫県全体から参加できるところはとてもいいと思う。
- ・楽しかった。Eクラスの後にも参加できるクラスを開講してほしい。
- ・毎回とても集中できた。簡単ではなかったけれどもとても役立つ内容で、先生達もとても外交的で親切だった。
- ・オンラインクラスはよかった。スピードがとても速かったので、まだ教えてもらった文法を使うことにはあまり自信が無いけれど、努力したい。来年もう一度同じクラスに参加出来たら、次はもっと自信をもてると思う。
- ・楽しかったです。問題ない。
- ・いい先生たちと親切的な友達がいて、この講座は私にとっても合っていた。
- ・来学期もオンラインクラスがあることを強く望んでいる
- ・問題なかった。
- ・とても良かった！！とても良かった！！
- ・最高だった！時間や形式は私のスケジュールにぴったりだった。週に2回、夜HIAに行って対面クラスに参加するのはできないと思うので、対面クラスを再開するとしても、これからもオンラインかハイブリッドを続けてほしい。例えば2週間に3回Zoomで、対面は1回とか。
- ・オンラインコースがとても好きだった。私の仕事のスケジュールからは少し時間帯が早かったけれど、コースについていけるようにした。
- ・とても簡単で便利だった

- ・とてもよかった。何も問題なかった。
- ・オンラインコースは何も問題なかった
- ・とてもよかったし問題なかったが、週に2回だけなのでもっと日数がほしい。
- ・先生達はとても親切で教え方もとてもよかった。リラックスしてハッピーな雰囲気のおかげで日本語が勉強出来て楽しかった。来年の講座にも続けて参加したい！
- ・オンラインコースはとても有意義で満足だった。何も問題なかった。
- ・コースは日本語学習にとっても役立った。クラスの進み具合はスムーズだったし、先生たちも親切で教科書もちょうどよかった。とても感謝している。

13. その他、授業やテキストについての感想

- ・いつもとてもいい体験になっている。
- ・先生達は私達が理解できないときに助けてくれてすばらしかった。クラスメイトもみんな仕事の後で疲れているのにいつも一生懸命で、楽しくておもしろいクラスにするのに努力していた。本当にEクラスの後にも受講できるクラスがあってほしい。絶対申し込む。
- ・もしクラスのあとに30分ぐらい自由にクラスメイトと話せる時間があってもいいと思う。
- ・お世話になっております。Hiaのオンライン授業を続けてほしいです。ペラペラになるまでに続けたい。移動の時間がなく、時間を有効に活用できることがとても便利だと思います。よろしくおねがいします。いろいろありがとうございました。(ママ)
- ・2月間の日本語クラス、宿題を書いたり、会話をしたりして、楽しかったです。優しい先生が丁寧に教えてもらって大変感謝しております。もっと日本人っぽく話したいんですので、また次のクラスを期待しております。(ママ)
- ・良かったと思う。次のレベルに進みたい。
- ・HIAに心から感謝します。HIAのすべてのスタッフに心から感謝します。今後は、HIA、HIAのスタッフ一同、アドバイスやご支援をお願いしたいと思います。日本語を上手に学び、日本社会にできることを貢献するために一生懸命頑張ってください！！
- ・コースの進め方がさらに良くなったように感じた。この前のコースではやり取りが少なかったのが残念だったことを覚えている。私が理解できることが増えたのか、コースの進度がゆっくりになったのかわからないが、いずれにせよ私にとって良かった。先生たちが授業をよく準備してくれているのがよくわかった。HIAのみなさんがこのような日本語を学ぶ機会を与えてくれたことを感謝している。
- ・Teachers were great and very kind. せんせいすばらしくてしんせつでした。クラスもおもしろくてたのしかったです。どうもありがとうございます。またらいねんあいましょう(ママ)
- ・先生と受講生とで短い日常会話ができるのが好きだった。
- ・すてきな日本語講座を提供してくれてありがとうございます。新しい人達や親切な先生たちと話すことができてよかった。よいクリスマスとよいおとしを！
- ・ほんとにありがとうございます。次のコースが早く開講されてほしいです。
- ・オンラインクラスはとてもよかった。文法、語彙、読むこと、話すことがちょうどよくミックスされていた。週に2回HIAに通うことはできないので、オンライン形式が最高。ブレイクアウトセッションで、サポータースタッフと話すのも、「本当の会話」をできるのでとてもよかった。英語の説明なしに日本語だけで教えられるのも気に入った。教科書もちょうどよく、少しチャレンジ要素があるけれど難しすぎないので、私にとって適切なレベルのクラスに参加していると感じられた。このままこのコースを続けてほしい。次のクラスにも申し込むつもりだし、必要ならもっと高い受講料でも問題ない。学習の機会を本当にありがとうございました。
- ・クラスや先生の教え方が好きだった。常に私が日本語で言おうとしたことを理解しようとしてくれた。ときどき日本人ゲストがいたのもスペシャルだった。クラスに感謝している。次のクラスが楽しみ。
- ・日本語を教えてくれて本当にありがとう。
- ・教材、教え方、先生たちはすばらしかった。とてもおすすめ。
- ・コースはとても良かったし、教科書も大丈夫だった。もしかしたらもっと漢字を教えてほしかったかもしれない。日本人は早くから漢字を勉強しているので漢字を読むのは日本人にとっては自然なことだが、外国人にとっては漢字を知ることには想像以上にとても大変。
- ・ビデオ録画を欠席者が見られるようにしてはどうか。またZoomやPC操作が難しい受講者には、別の時間に操作を教えるか、操作がわかるビデオなどを紹介して、Zoomトラブルで授業を止めないようにするともっといいと思う。教科書はいいと思うが全部の問題をしなかった。次のトピックに行く前に復習が十分じゃなかったように思う。授業中にもっと復習出来たらよかった。
- ・コースは日本語学習にとっても役立った。クラスの進み具合はスムーズだったし、先生たちも親切で教科書もちょうどよかった。とても感謝している。

1.研修会の内容はいかがでしたか。



1.上の回答について、よろしければその理由を教えてください。36 件の回答

丁寧に教えていただいた。

私はなんとか Zoom のアカウントを取得し、オンラインでレッスンをしています。今日は、初心者の方に Zoom について、自信を持って説明できるように、基本を確認したかったのですが…本職のセミナーと重なってしまい、肝心のところが受講できず、残念でした。ただ、初めのブレイクアウトルームで、参加者の方々と情報交換できてよかったです。

多くの方とオンライン授業の悩みや難しさについて意見交換でき、講師の先生に気軽に質問することができたため。

オンライン授業の悩みや難しさについて大勢の方と意見交換でき、講師の先生にも気軽に質問できたため。

いろいろな操作をやってみることができてよかった

私用で途中から参加したので、最初から参加出来たら本当によかったと思います。

zoom のことがわかりました。

改めて、つながることの大切さを教えていただけたこと。

ZOOM を使用する意義、詳細な操作方法がよく分かり良かった。

ZOOM の新しい使い方を学べた。

今まで解らなかったズームの機能を知ることができたから。

いままで我流で ZOOM を使っていましたが、一つ一つ再確認ができて良かった。

ZOOM の初歩的なことから、ゆっくりと教えていただけて、安心して参加できました。参加者も同じようなレベルの方々だったので、他の方の質問が私の質問でもありました。

zoom の詳細の説明を受ける機会はなかなかないと思うので興味深い内容でした。ただ アカウントという言葉が日本語で言うとうどういう意味か、とかご説明いただけると PC 初心者でも理解が進むと思いました。その後続く操作の説明も理解しやすいと思いました。

ゆっくり、丁寧な説明である試す時間もあり良かったです

マンツーマンの英会話は受講したことがあったが、多人数授業でのオンライン講座を体験できたこと。

自分と同じくらい初めてオンラインを活用しようという方から、学校レベルでハイブリッドなども経験されている方まで、さまざまな参加者とお話が出来ました。

オンラインレッスンについて、不安なことがたくさんありますので、今回はまだ入り口ですが丁寧に説明していただき、次回からの講義も、とても楽しみです。

とりあえず ZOOM でやってみようかな?と前向きになれたこと

zoom を通常使用していますが、自己流の理解の下で使っていたものが、きちんとした理解へとバージョンアップできました。

Zoom の基本操作が学べてよかったです。

初心者へのわかりやすい内容だった。

画面上のボタンの意味や使い方がかなりわかった。

ZOOM の使い方を懇切丁寧に教えていただいた。

オンラインコミュニケーションのメリット、デメリットが明確になった。

zoom のホストの操作が少し理解できた。

コロナ下での今後の日本語ボランティアの在り方を考えるいいきっかけになりました。

グループで話し合う時間が短かった。

コロナ禍の環境下でタイミングの良いテーマでの講習会はありがたかったです。

前半の講座は特に問題なかったです。後半の講座はホワイトボードあたりからかなり困難でした。(私のパソコンには、先生の指示する場所に文字も何も出なかったです。)

説明が丁寧であった。

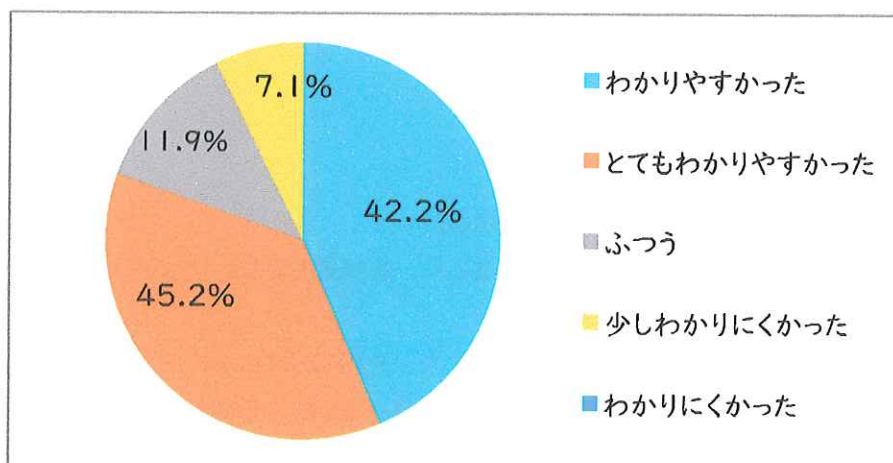
今回の研修会の時間配分がよくなかったと思います。時間が長かった割には、前半の導入部分に時間をかけ過ぎ。後半、肝心の「使い方」の説明部分を急がれていてもっと時間をかけて欲しいと感じました。

①Zoomでの授業の良い点悪い点が明確になった。②Zoom操作が学習できた。

ZOOM の活用は初めてで解りやすく丁寧に教えて頂きました

全体的に良かったと思う。一部:[1]海外に住んでいるとき、「2」対面の良い点」は個人的には時間短縮された方が良かった。ズームの操作に慣れている参加者は別として、不慣れな参加者にとっては、画面共有などスムーズに使える事を今回の目的にしての参加を希望しての人も多かったと思うので、初歩的な操作方法にもう少し時間をかけてもらいたかった。

2. 研修会はわかりやすかったですか。42件の回答



2. 上の回答について、よろしければその理由を教えてください。32件の回答

いつも分かったかどうかチェックしてもらった。

全レクチャー聴講できなかったの。

操作の細かいことで躓くのですが、意外に質問できる機会がありません。「ここがわかりません」と聞いて教えていただける、貴重な機会です、何度もあるとありがたいと感じました。

手順でつまずくのはとても小さい箇所ですが、それを質問する機会が意外とありません。「ここがわかりません」と言って教えていただけて、助かりましたし、勉強になりました。

手持ちのパソコンと表示の仕方が違うところがあり少し戸惑った。

具体的に Zoom を動かしながらの研修は初めてだったので。

丁寧な説明でした。

質問に丁寧に指導してくださったこと。

説明が細部まで有り、又丁寧に適度なスピードで助かりました。

ゆっくり丁寧な説明があり、疑問にもすべて答えていただけたこと。

既に使っているもので、内容は良く分かった。

同上

進行ご担当の方が 私達にすごく気を使われているのがヒシヒシと伝わってきました。聞く側は授業でもそうですが、ハッキリとご説明いただける先生には共感がもてるものだと思いますので、単刀直入に説明いただいたほうが研修では収穫が大きいかな、と感じました。私は外国人の方の日本語学習会をしながら、その事の大切さにあらためて気づきました。シャイはないほうがいいみたいです。逆にわかりにくくなる事もあるそうですね。

上記の説明と同じ

機器操作等が分からない場合、たいてい複数の人に共通する事項なので、他の人の質問回答やそのやり取りが自分にも参考になった。

幅広い層を対象にしたご説明でした。

実際にホワイトボードを使わせていただいたりして、身につくように教えていただけて嬉しかったです。

初歩なので、だいたいのことは知っていた

困ったことにも丁寧に対応していただいたため

スマホで受講しましたが、パソコンでの講義でしたので、違いが理解しづらいところがあった。

実際に PC を操作してやってみることができた。

初心者者の疑問などを捉えてすぐ詳しく説明や指示をしていただけた。

受講者の環境が違う・すでに知っていることが違うので、操作がすぐに完了しない。が、自分と違うことがたくさんあることが分かった。また、その時々で、受講者から解決策出されたのは良かった。

説明が丁寧でした。私自身は ZOOM を使ったことがあるので理解がしやすかったのかなと思います。

わからない方への対応に時間がかかり、明確ではなかった。

参加者のレベルが違うので (ICT の)、より丁寧な指導が必要でなかったか？

パソコンが異なるせいか (先生の言う場所に文字等が出ない) 先生の説明だけではわかり辛く、他の受講者さんが発言してくださって初めて理解できることが多かったです。(特にホワイトボードの件)

話合いやパソコン操作の時間を充分取って頂いた。

講師の方は丁寧に対応されていました。

分からない点がすぐに質問出来たのが良かった。

各質問者に時間を取って対応されていた点

3. 今日の研修で気づいたこと、感じたこと 38 件の回答

パソコン中心の講習なのでタブレットやスマホには的確なアドバイスが少ない。

参加者の使っているデバイスの種類が複数で、しかも参加者の IT 知識や慣れの程度も色々なので、講師の方はご苦労だなあと思いました。オンラインではなく、教室での方が楽ですね。画面表示の説明には、パソコン、iPad、スマホの 3 種類の画面表示を示すと、レッスンの進行がもう少しスムーズになるのではと思いました。

コロナ禍がきっかけになったともいえますが、今後もオンライン授業の重要性は増すと思いますので、もっと慣れていきたいと思いました。

オンライン授業はコロナ禍を機に広まりましたが、コロナ後も重視されるでしょう。もっと慣れていきたいと思いました。

パソコンの様々な操作を熟知しないとズームでホスト役は難しそう。

同じ様な疑問をお持ちの方がいて、心強かったです。

スムーズに操作できないと焦って、余計混乱すること。

ZOOM は大変便利なツールなので色々な機能を最大限利用していきたい。

わかっているつもりの操作でも戸惑うことが多く、使いこなすには慣れることが一番だと改めて感じました。

ノウハウや技術を学びながら、まず実践し始めることが大切だと思った。

オンライン授業は、まずできることからでいいんだということ。ちょっと安心しました。

講師側(ホスト側)から聴講者のマイクを OFF にすることはできないのでしょうか?ある学習者の私語が多く流れた。

今まで、他の団体の日本語支援の方たちと交流する機会がなかったので、とても新鮮でした。同じような悩みを持っていることを知ることができました。

自分がホストになった時に聞かずに、わかりやすく説明する大変さを学びました

PC に3時間向き合うのは疲れます。途中で休憩を入れていただいていたよかったです

オンラインで行う場合、受講者側には様々なハードや通信・受講環境があり、それぞれに異なった疑問やトラブルが生じるので、それらの全てに適切な対応やアドバイスをするのは困難あるいは、普通のボランティアレベルでは不可能なのではないかと思った。

対面、オンラインの良いところを考えて、対象の条件に応じて、提供者が対応できるようになることが肝心かな、と思えました。

日本にいる海外の方に対して、日本語を教えるだけではなく、話し相手になったり、困った時に頼ってもらえる存在であることが、ボランティアとして大切なのだと思いました。

ICT を活用している人たちは属している教室が環境を作ってくれていること

「できることからする」という発想で、自信を得ることができました。

多可町日本語教室でICT活用支援がどのようにできるのか?具体的に何ができるのか?考えたい。

とくになし

研修のテーマに合わない意見への対応で時間が取られた部分があり、ホストの大変さを感じました。

時間的にもう少し短いほうが良い。3時間はきつい。

zoom は便利ですが、皆さんの持っているデバイスがいろいろあって、それによって若干画面の表示や操作方法が違うので、お互いが操作に慣れないと使うのが難しい場面があると感じました。

ソフトの操作をオンライン講習で伝えることは難しい。インストラクターは受講者の操作画面が見えないことが主因であり、リモート講習の難点といえる。zoom 接続機器は PC、ipad、スマホなど様々なので、画面表示や操作等の相違についても解説(それぞれの画像を見せるなど)があるとよい。アカウントの取得を目標にするなら、とりあえず最も基本的な一連の操作を最後まで示し(できた人は退出できるので)、再度初めから操作を示しながら質問を受けるとよいかもしれない。

指し示すことができないオンラインの難しさ

地域日本語ボランティアの役割として、不安感や楽しいことを誰かと共有したい、誰かに話したいという学習者の気持ちを言葉として改めて認識できました。

学習者がスマホしかない時など、環境の問題が大きいと思った。

みなさん ZOOM 授業の必要性は感じているが、実践に対しては不安と抵抗感がある。

ZOOM の受講はできるのですが、ホストはあまりに困難で全くできそうにない印象でした。(パソコン等の種類によって形状が違うため、先生でさえあまり説明できない様子でした。私のような無知な者が日本語もあやふやな学習者さんに操作方法を伝えられそうにないと感じました。)

オンラインは補完的に使うには良いツール

今からオンラインを始める方から、もうされている方までいろんな方がおられるのだと分かりました。

今日の導入部分で、本研修の最終目標に向けて三日間のプログラムが示されていれば良かったと思います。zoomで「出来ること一覧表」が示され、今日の達成目標は○まで、二日目は▼、三日目は△というように受講者が前もって知っておけば質問の内容も変わると思います。また、3時間は長いです。

参加者との会話時間がもっとあれば良かった。（経験豊富な参加者の話を聞きたかった。）

当日の資料も事前配布して頂けると事前に質問出来て良かったと思います

ブレイクルームの時間がもう少し長い方がより活発な意見アイディアがでたのでは？

4.よくわからなかったこと、疑問に思ったこと

タブレットの使い方

今回は全レクチャーを聴講できなかったのが、次回に期待しています。

オンライン授業ならではの内容、指導で気を付けることなどを、ご教授いただければと思います。

オンラインならではの授業法、気を付けるポイントがあれば、ご教授ください。

資料の共有の仕方がまだ分かってないですが、次回講習会が楽しみです！

今のところはありません。

現在、ZOOMを使って日本語教室の支援者として指導していますが、学習者がスマホを使用している。実際の画面を見ていないので、学習者が快適に学習しているのかどうか分からない。

ホワイトボードに皆で書き込むやり方がわからなかったが、解決したのでなしです。

次回以降のプログラムにあると思いますが、著作権違反にならない画面共有できる資料の範囲を詳しく教えてほしい。例えば、学習者と写真・動画を一緒に見るときに、使用して良いものや違反となるもの等。（教育目的の場合の特例も含め）

ZOOMを使うときの、パソコン、スマホ、タブレットによる違い

わからないのはPC操作ですね、今日初めてPCでのzoom参加だったのです、これからの研修で少しでも理解が進むようにがんばりますので よろしく願いいたします。

Macを使用しているのが画面の違うところがあり、ちょっと困りました

トラブル対応のスタッフも置かれていましたが、実際に多数相手の講座をする場合、一人当たり何人程度の受講者を目安に人員を配置するのが適当なのか、そんな目安はあるのでしょうか。

1対複数の1側のデメリットがよく語られるので、次回以降にその辺りを学びたいと思いました。また、オンライン授業は、教室の中では対面と混在しては、実施できないのだなと気付きました。

次回は、自分がホストになってみるということですが、どのようにするのかな、と気になっています。

今のところ無し

特にありません

義母の急逝で後半ブレイク以降受講できなかったことが悔やまれる。あと毎土曜日午後三時以降が連夜祝いの為中座せざるを得ません。Zoom accoutの取り方を学びたかったのに残念でした。またの機会を期待したいと思います。宜しくお願い申し上げます。

とくになし

いろいろ（オンラインに不慣れな高齢者には、用語の予習が必要ですね）

画面共有で「ホストとが共有することをストップしている」といメッセージが出ているにもかかわらず、ビューオプションの操作で書き込みができるということに違和感を感じた。

学習者がスマホでzoomをする場合、画面も小さく、どのように工夫すればちゃんと授業ができるだろうかと思いました。

ブレイクアウトルームでの話し合いのテーマは、対面とオンラインのいい点についてだったが、みんなの意見は同じようなものになることは大体予想ができたし、実際発表がほとんど似通っていた。できればもう少し論点を絞ってもらった方が良かった。

Zoom の操作について、ちょっとしたことが分かっていなかった。

「デスクトップに写真を準備してください」と言われましたが、どうやってするのでしょうか？「画面共有」「ブレイクアウトルーム」の場所の説明はありましたが、それを押すとどんな画面になってどうなるのか、資料にイラストもなく全然わかりませんでした。Zoom のアカウントは資料を見ながら取りましたが、資料と違う点も多々ありました。特に「クイズが出されるので指示に従います」は画面に出て来なかったので飛ばしてしまいました。きちんとできているか不安です。また、受講の最初の2〜3分は5〜6回ネットが途切れました。もし、私がホスト役の時にそうなったらどうすれば良いのでしょうか？

これから教えて頂けるのだと思うのですが、オンライン授業での課題の出し方。

日本語学習者のICT環境がスマホの場合が多いので、それに合わせたzoom使用方法を学びたいが、本研修では対応されていないのか疑問に思いました。

今回の研修の中ではありません。

最初に名前の変更をしてください。との内容がありましたが、目的も分からずと求められている内容が不鮮明であったと思います。日本語の漢字にしないで？との事だったのでしょくか？

ズームの初心者にとっては、なぜアカウントを取らなければいけないのか？アカウントとはなにか？をいまいち理解できていない人がかなりあったように思えたので、事前に説明を加えて貰えれば時間的に短縮出来たのでは。ホストの経験がある人はまだ少ないと思う。

5. 本日のあなたにとってのキーワード

「できることから始めよう」

アカウント

タブレット

全レクチャーを聴講できなかったもので、分かりません。

チャット

Zoom に馴れる♪

ズーム

「つながる」ことを「学び」につなげる

便利な機能を使いこなす。

「つながる」ことを「学び」につなげる。

できることから 始めよう！

「つながる」学習者は日本語が少しわかるとはいいいえ、生活の大部分を母語を使って限られた範囲のコミュニティで生活しています。コナでそれもままならないので、安心して日本語が使える日本語教室に熱心に通ってきます。心配を少しでも安心に変えられるとうれしい。

時間内に最大限 いい zoom 開催ができるようになりたい！です。

挑戦

??

それぞれのメリットを活かす

対面のよい点、オンラインのよい点

45 分

できないことを悔やまない

仲間と話す

？

ZOOM 恐るるに足りず

ホスト側の操作法

誰もが、誰かとつながっていただける安心感を必要としている。

みんな同じような悩みを持っているんだなー、との共感を得られました。

特にありません。

ツールの活かし方

楽しくオンライン♪

双方向コミュニケーション

オンライン授業は、今後必須なスキル

オンライン

ズームのスムーズな操作方法の習得

6.今日の研修で学んだことで、ご自身の活動に活かしてみたいこと

ホワイトボードを利用すること。

なんとか Zoom でレッスンをしている現状なので、自信を持ってレッスンできるようになりたいと思っています。今一番知りたいのは、学習者に予習のために資料を送る方法です。iCloudで共有したり、CamScannerでpdfにしてメールで送っていますが、対面で印刷物を手渡す方が見やすいようです。良い方法をアドバイスいただけると、幸いです。

チャットや画面共有を活用したいです。

チャットや画面共有を活用したいと思います。

Zoomを使いこなして授業をしてみたい。

オンライン授業の実施

「つながる」ことから始めたいです。

ZOOMでの学習をできる限り、対面学習に近づけたい。

「つながる」ことを「学び」つなげるためにパソコンに慣れて私でもできることから始めたいです。

今までズームはこちらから発信ばかりだったが、ホワイトボードを使えば、学習者からも発信できることがわかり、これは使えると思いました。

今までの対面学習をそのままオンライン学習に持ち込むことに無理がある。全く新しい学習方法方法として、今までの知識やテクニックをベースに新しい学習方法を組み立てる必要がある。特に1:複数の学習クラスでは。

講師の方々のゆったりとした雰囲気がとても心地よく、自身の日本語ボランティアでも参考にしたいと思いました。

自分でしたい仕事があるので、しっかりこのコロナ禍でもオンラインで仕事もできる力をつけたいと思っています。

チャット、ホワイトボードの活用 次回のホストになり方を期待しています

当面は日本語の勉強を学習者とマンツーマンでできるように、画面共有などのテクニックも活用できるようにしたい。

次回以降のセミナーでも学んで、実際に学習者さんと交流したいと思いました。

ぜひ共有を使ってみてみたいと思いました。

勉強時間を増やしたい人がいれば、応じてみようかと

学習者への個人対応を怖がらないで行う

是非ICT 活用しながら、多可町日本語教室での支援活動ができればと考えています。

Zoomでの授業でアクションなどの機能をつかってみたい。

まだ全部終わってないので、どう活かせるものなのかわかりません。

ZOOM の理解が進みオンライン授業への抵抗が少なくなった。 井上隆司

今現在、なんとかオンラインで活動はしていますが、もっとチャットを使ったり、ホワイトボードも活用していきたいと思います。

ホストとしてどのようなことができるのか、機会があればボランティア日本語支援に活用したい。

まずできることからやってみること

オンラインで日本語を教えたい。

地域日本語ボランティアは日本語習得だけでなく、駆け込み寺の役割を持っていると思っている。コロナ下ではオンライン学習は強い味方になるが、それぞれの学習環境の違いで日本語学習格差が起これないようにするため、考えることは多いと思います。

まだないです。

チャットの入力、ホワイトボードの使用による伝達力の向上、など。

今回は自分のパソコン能力が低すぎて学びもあまりなかったです。次回からは何かボランティア活動に活かせる学びを得たいです。

オンライン授業の活かし方

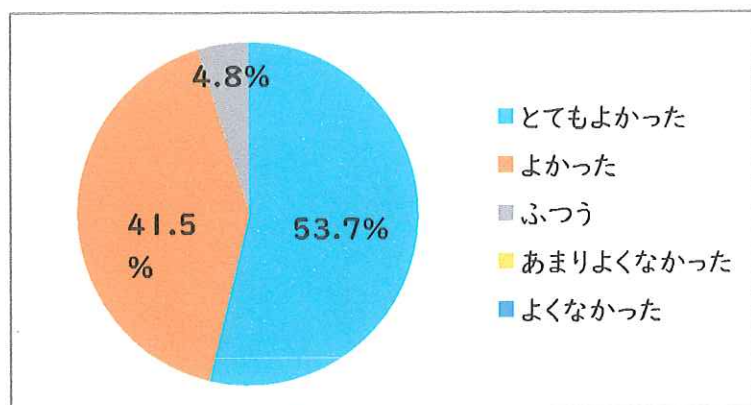
生徒さんのお気持ちに寄り添って、楽しく活動をしていけるようにしようと思います。

ZOOM授業をホストとして実施してみたい。

ZOOM の活用

観念的に難しいと思っているズームでのオンライン授業が数%は前向きになれたかな?と思う。

1.研修会の内容はいかがでしたか。(41 件の回答)



1. 上の回答について、よろしければその理由を教えてください。(30 件の回答)

ズームについて疑問に思っていたことがわかったから。

使ったことのない機能がいっぱいあることが分かりました。

実践的なことで役立てることが出来そうです。

丁寧にガイドしていただき、トライアルの時間も楽しかったです。

事前に資料が送られており良く理解出来ました

知らなかったことを知れて、今後の使い方を考えるヒントになった。

ホストとして半年近く 1:1 で日本語教室をしています、カットアンドトライで自己流で行っていました。今回、できていることでもあらためて聞くことができて、方法に間違いがなかったことで安心しました。

聞きたかったことがたくさん分かったので。

オンラインでの活動実践の例を教えていただけたこと

画面共有の利用しての活用例が、とても良かったです。

ブレイクアウトルームや画面共有の仕方など、知りたかったことがわかりました！

オンラインでの活動と対面との差(特異性)が良くわかりました。オンラインでの活動実践で大変良い例をたくさん頂きました。大変参考になりました。

分からなかったところが明らかになりました。

懇切丁寧に教えて頂いた。

使い方が分かりました。

後半の共有画面の使い方が実践も交えてわかりやすかったです。

zoom の使い方が良くわかりました

ゆっくりしかできない者用のグループを組んでいただき安心できた。

画面の共有などの操作方法が良く理解出来た。

zoom の予約方法やブレイクアウトルームの作り方等よく分かりました。

1 回目を欠席しましたが、大変分かりやすい講義で大満足です。

ホストのできる機能がよくわかった。

ZOOM のホストとしての進め方が分かった。

とても詳しくご説明いただき勉強になりました。

zoom 実践例を体験できてよかったです。

ホストを疑似体験できました。

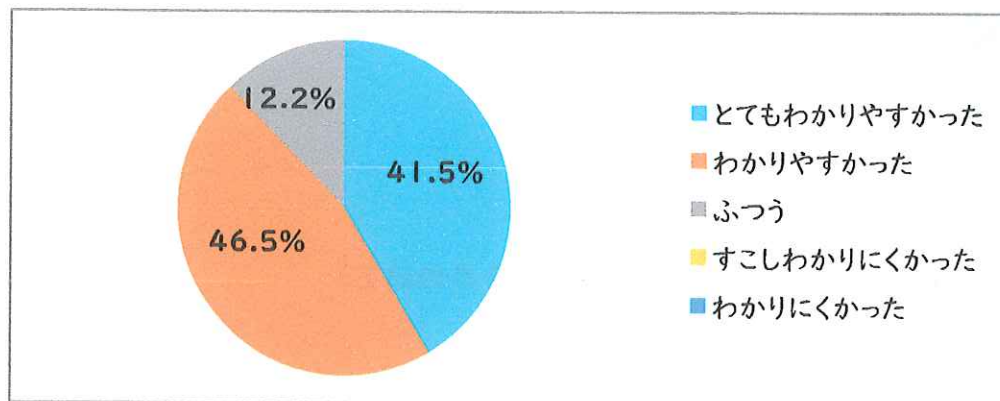
前回より細かい説明でわかりやすかった

よくわかりました。

具体的に使い方を説明いただいたのでとても良く分かりました。

ブレイクアウトルームの作成については初めてだったのですが、資料を見ながらでわかりやすかったです。

2. 研修会はわかりやすかったですか。(41件の回答)



2. 上の回答について、よろしければその理由を教えてください。(28件の回答)

質問に対して丁寧に答えていただけた。

丁寧な説明と実演ありました

実際に操作しなければ、なかなかわかりにくい

後半は非常にわかりやすかったが、前半は少しとまどった。終了後の説明で理解できたので、有難かったです。

リアルタイム、チャット両方に1つ1つお答えいただいたので、わかりやすかったです。

丁寧な説明で分かりやすかったです

新しいツールを使いこなしながらの講義は、先生もわれわれ受講者もなかなか大変ですね。

以前から使っていた昨日が80%以上あったから。

画面の共有の仕方がよく分かったから。

説明は少しスピーディーでしたが、実習させていただいてよく分かりました

zoomホストの操作方法がよくわかった。説明のスピードについていけないときがあった。

個々の質問にも丁寧にお答えいただいて、わかりやすかったです。

説明が丁寧で、分かり易かった。体験練習も参考になりました。

事前にレジメも頂いていたこともあり、確認もしやすかった。

初期のレベルの人には難しい部分があった。

オンライン活動の仕方が学べました。

相手がいないと練習に限りがあったので

資料に基づき丁寧に説明していただけたので…。

ひとつひとつ丁寧に教えていただいたので、わかりやすかったです。

ホストの役割など詳細な説明とともに、注意点など参考になりました。また、ユニークなクイズ形式など認識を新たにしていきます。

資料が丁寧にできていたので。

懇切丁寧な説明でした。

zoom 授業が何とか自分でできそうです

写真や地図など共有しながら、生活に直結した勉強ができると思います。

共有画面(カラー)、資料(書き込みができる)両方を見て、理解しやすかったです。

自分のパソコン対応能力が低すぎるため

よくわかりました。

小グループでの講習があり、細かいことまで質問できたので助かりました。

3. 今日の研修で気づいたこと、感じたこと(29 件の回答)

写真の見せ方、インターネット、動画の見せ方がわかった。また、オンラインで注意することなど

オンライン授業の長所

WEB には WEB の良さもあるので、いかしてみたい。

音声のデレイタイムを考慮することが大事だと思いました。

発言される方により音量が違うので調整が必要かと思いました

前回もありましたが、オンラインでお二人の山田さんの呼びかけは難しいですね。オフラインなら手で指したり、アイコンタクトでもできるのですが。オンラインでスムーズにやるにはどうすればよいのでしょうか？

著作権について、内容が複雑であろうと予想していましたので、次回に持ち越しして別途行われるということで、うれしく思っています。

Zoom は、どんどん体験しなければ身に付かないと感じた。

実際に学習で使う場合にはいろいろな教材を準備しておかないといけない pc

他の方の質問内容を聞くことで自分だけでは気づくことができなかった事も知ることができ、グループで参加することの意義を感じました。

オンラインでの活動でまだまだ知らない事がたくさん有ることがわかりました。

具体的な授業のヒントを幾つか教えていただいて参考になりました。海外の学生に教えている時、地域によっては動画を見せながら途中で切れてしまうことがあったが、思いからだということが分かって納得した。

55 人の生徒にレベル差があるので、レベル分けをした方がいいのでは？

準備に時間が掛かりそうです。

パワーポイントなくても共有を便利に使えそう

私は iPad を使っていますので、アイコンがパソコンと違う場所にあるため探すのに時間がかかり理解できないままです。んでしまいます。他の方と共通点が無いので質問も遠慮してできません。でもこの講座はパソコン使用の方用と聞きましたので仕方ないと思っています。ところが後で一人復習しているとアイコンが見つかり、思いの外上手くいくときがあります。その時は嬉しいです。

じっさいに練習します。

工夫をすると ZOOM でも授業も内容が豊かに出来そうだと思います。

慣れていきたいと思います。

対面授業が難しくなった現在では、オンラインレッスンの活用の需要が増えてくると思うので、とても有意義な講義でした。

職員の皆さまのきめ細かな準備や講義内容に、学習支援に理解が深まりました。

教室とは違ったオンラインに合った授業のやり方があることがわかった。

まずは実践して慣れることが大切だと

今、担当している学習者さんたちにいろんな手順を覚えてもらうのはかなり難しいと思いました。

全くの初心者とかかなりの熟練者がおられるので初級の質問がし難い。
まだZoomでの指導をしたことがないのですが、やりたいと思います。
自分がもっと勉強しないといけない
実際にやてみるのが大切ですね。
オンラインならではのいろいろな授業展開例を伺い、ぜひ取り入れたいと思います。

4.よくわからなかったこと、疑問に思ったこと(24件の回答)

サインインしたら、あとでサインアウトすることと言われたが、いつも自分はサインアウトしてないのが、気になった。
Zoomでは、相手のことはよく見え、よく聞こえるのですが、自分のことがどのように相手に見えているのか、聴こえているのかを確認することがおぼつかしいな、と思っています。
地図へのハートマーク出し方が分かりませんでした
最初の時、地図の共有でスタンプをつけることができる人とできない人がありましたが、ブレイクアウトルームごとで説明があつたりなかったりしたのでしょうか。
疑問がいろいろ明らかになりました。
YouTube 動画等を実際うまく使えるかどうか 少し不安が残った。
PCに入っているファイルとか写真を共有する場合、デスクトップに出してすぐ使えるようにしておいた方がいいのか?インターネットを使う場合も。探している間に、トラブルが起こるのではないかと心配。
ホストの使用機器はPCがよいと思うが、参加者はスマホやipadもあり得るので、使用機器でできることとできないことがあるかどうか。
今のところありません。
オンラインでの、学習者への招待状の送り方。多人数に纏めて一括で送る方法。送付できるメールの種類等。
ZOOMへの招待、の意味がよくわからない。招待された人は基本のZOOMを設定する必要がないのか?
実際に使ってみないと分からないと思いました。
共有画面に参加者全員がスタンプを押せるようにするには、事前設定が必要ですか?
タブレット、スマホと使い勝手の違い 学習者さんはスマホということが多いと思うので
共有画面を的確に出せない。ホワイトボードに書けない。
今のところはありません。今日学習したことを 忘れないうちに練習してみたいと思います。
ウイルス感染拡大の観点から、学習者さんと今週からオンラインレッスンを試行してみました。今週からさらにZoomを便利に試してみたいと思います。
特になし
スマホからpcのデスクトップに写真を置く方法も知りたいです 研修以外のことですが
(多分沢山ありそうですが、、、)
パソコンとタブレットで操作や機能が異なるので
じぶんがホストになること、経験したことがないのでトライしたいと思います。
ズーム招待状のコピーをパソコンからラインに送る方法。動画を見せる方法
多くの画像、文型その他の資料を、どのように整理し使いやすく保存されているか伺いたいです。

5.本日のあなたにとってのキーワード(32件の回答)

画面共有
共有

音声を共有にチェック!無料のズームの時間は3人目が入ってから!

画面の共有

まずはやってみる!

対面の時と同じかもしれませんが、「根気強く丁寧に」コミュニケーションすること。

インターネットの活用

Zoomに慣れよう!

トライしてみる事

お互いの背景を伝えよう、身近なものを活用しよう。

実際に自分で多人数の学習者に対してホストができるかどうか。

共有ホストのやり方

分からないことが、わからない。

ブレイクアウトルーム 私に使う日がくるかなあ?

画面を共有する。

工夫をすればZOOM学習は大変効果的な学習方法になる。

クイズ形式の授業が、とても楽しかったです。

ブレイクルーム 画面共有

家の中に入る

次回までにホスト役を実践してみる。

友達とzoom やってみる

なれること。です。

楽しむ。

Zoomを活用して、コロナ禍でも有効な教室運営につなげる。

ホストを体験!

特にはないです

ホスト

日常の行動に結びつく学習

お互いの失敗を許容する

6.今日の研修で学んだことで、ご自身の活動に活かしてみたいこと(38件の回答)

コロナでズーム授業をせざるを得ない状況で、少しでも楽しく日本語が学べるよう、今日のいただいた情報を活用したい。

画面の共有

画面共有をうまく使ってみたい

オミクロンの今こそ、ズームを活用してみたいです!有難うございました。

講師の方々の姿勢も大事だと改めて思いました。今後の活動に活かせればと思います。本日もありがとうございました。

身の回りのチラシや看板の活用

共有画面の活用。提示するだけでなく、応答も使いたいと思います。

画面共有

Zoomを使ってマンツーマン指導をしたい。

上記アンケートにお答えした事

パワーポイントの活用方法など。

ホストとして何ができるかをもっと勉強する。

動画の画面共有は是非試してみたいです。

オンラインを有効に使える活動実践例を自分でできる様になること。

食ベログの画面を使って日本語を学びつつ、それを使って予約できる達成感を感じてもらえる等、レアリアはもっと探せばあるかもしれない。

画面の共有、ホワイトボード、を使う。

電車のアナウンスは面白い教材だと思いました。使ってみたいです。

クイズ形式

家にいるので、実物を持ってくる。共有画面に全員がスタンプを押せることを活用したいと思います。

少しでも学習さんの背景にを振ってみようかな

現在の活動では自らがホストになることはありません。が、ホストとして招待もしてみたいです。

自分が使ってみないとダメだと痛感。

まだほとんど経験がありませんが、機会を見つけて ZOOM 学習に挑戦してみたいと思います。

今後もオンラインの活動が続くと思いますので、学習者さんに合った方法（インターネット・写真・ホワイトボード等）を考えて積極的に使っていきたいと思います。

クイズ形式の授業や、インターネットの活用をしてみたいです。

学習者さんの希望などを確認して、Zoom をさらに便利に試したいと思います。本日は貴重な講義をありがとうございました。

オンラインの際には使わせていただきます。

ZOOMをもっと利用しよう。

ZOOM 学習でボランティア活動も試せたらと思います。

活動に生かすまでになるには、道が遠いです。とりあえず、練習してみます。

オンライン授業をするときに参考にさせていただきます。

画面共有を使ってみる

Zoom を自在に運用できるようになりたいです。

クイズ「家の中にある長いものを持ってきて下さい。」を実際にやってみたいです。

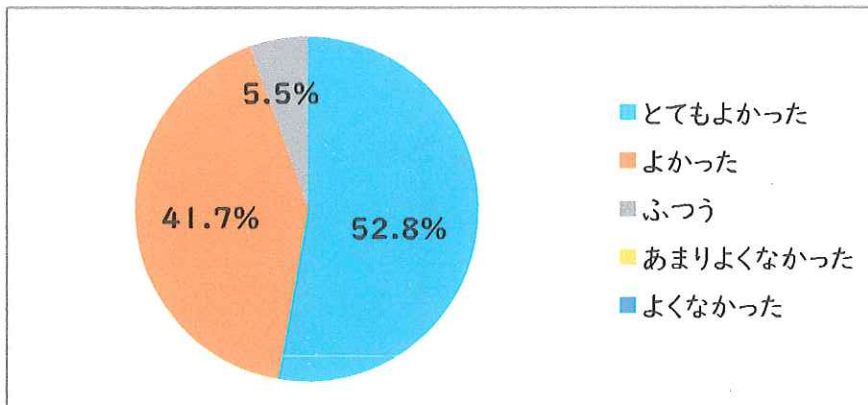
まだまだ無理そうです

やってみます。今日もありがとうございました。

話題が一つあれば、そこからどのようにでも楽しく膨らませることができることに気づき、わくわくしました。ぜひ毎回一つ、このような会話を組み込みたいです。

何度も使っている間に慣れてくるもので自分で使ってみることが大事だと思いました。

1.研修会の内容はいかがでしたか。(36 件の回答)



1.上の回答について、よろしければその理由を教えてください。(29 件の回答)

グループでいろいろアイデアを話すことが出来て良かった。

新しい情報を得られました。

この研修に参加した型と意見交換できたこと。質問に答えていただき解決した。

いろいろ知りたかったことがわかりました。

有意義な講座で、今後の活動に大変参考になりました。

zoom のことをもっと研修してほしいかった。(「補足」の資料の部分など)

他の参加者さんともお話ができて楽しかったです

グループ分け後の話し合いの時間は十分ありました。

動画の画面共有での日本語支援について 良かったと思います。

懇切丁寧な説明でした。

グループ内での話し合いが充実していた。たくさんの方と話せてよかった。

文化庁の WEB からの ZOOM の活用方法、グループで意見を出し合いまとめていく方法 を学び勉強になりました。

みなさん同じことを求めていることを知ることができました

教材の紹介や活用の仕方を教えていただき勉強になりました。

メインの教材にとどまらず、さまざまな疑問や問い合わせを拾い上げ、丁寧に解説して下さいました。

資料も事前に配布されており丁寧な説明でよく理解出来ました。

「つなひろ」実際には視聴したことがなかったので、さんこうになる、是非ゆっくりみます。

著作権についてもう少し突っ込んだ説明が欲しかった。

地域ボランティアの意義から zoom の操作方法まで幅広くご指導いただき役に立ちました！

著作権の話や、文化庁の「つなひろ」の紹介が良かったです。

パソコンが苦手な私にぴったりでした。

Zoom を具体的に運用できるようになれるか？ まだまだ初心者なので勉強します、ら

zoom でできることがよくわかった。

Zoom の使い方について、実際にホストになって講義を受けることができ、とてもわかりやすかったです。

一つ一つ具体的。

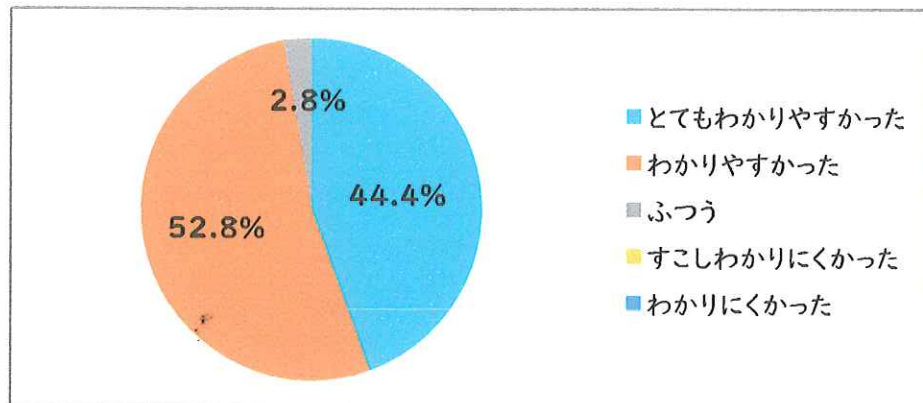
今後の仕事に生かせる内容でとても有意義な時間ありがとうございました。

丁寧な内容、皆さんの声を聞けましたので

Zoomの活用方法だけでなく、同じボランティアの方の話が聞けてとても勉強になりました。

具体的にやり方を教えていただけたため。初心者にもわかりやすい配慮をしてくださっていました。

2. 研修会はわかりやすかったですか。(36 件の回答)



2. 上の回答について、よろしければその理由を教えてください。(25 件の回答)

画面共有を見ながら、ゆっくり説明していただけたので。

丁寧な説明でした。

丁寧な解説だった。

丁寧な説明ありがとうございました。

ウイルス感染拡大の中、対面と Zoom による支援方法について、大変役立つ貴重な講座となりました。

つなひろの zoom での使い方がよく分かった。

具体的で理解しやすかったです

資料① 4. ですが、zoom で初めて会った方々と、すぐに活用方法を話すのは、少々難しく、「現在の問題点」→「具体的な活用方法」という流れが良かったのではないのでしょうか。

貴重な情報、ありがとうございました。

説明が大変丁寧で、画面共有での解説で分かり易かった。

説明がとても丁寧でした

プログラムに沿って進みながら、時折立ち止まって理解を深めてくださった。

詳しい説明の資料も事前に配布して頂けるともっと理解出来たと思います

後半の説明はとても丁寧でした。

理解できたのですが、実際にホストとして招待してスムーズに操作できるのか少し不安ではあります。

ゆっくりていねいにご説明いただけたのでわかりやすかったです。

ゆっくり丁寧に教えていただいて、ありがとうございました。

説明が具体的でわかりやすかった。

ブレイクルームでよい意見交換ができました。

具体的に使うことができたから。

実際にホストになって、画面共有などができて、とてもわかりやすかったです。

著作権、フリー教材で知らなかったものも教えてもらった。

資料も作成いただき、また、丁寧にご説明いただいたのでよく理解出来た。

著作権のこと、WEB サイトの活用の仕方を一つ一つ丁寧に教えて頂きました。

質問も一人一人丁寧に受けてくださってたすかりました。また「つなひろ」の使い方がわかり、今後に活かしたいとおもいます。

3. 今日の研修で気づいたこと、感じたこと(28件の回答)

グループで話していて、私の地域よりもっと不便な地域があり、まだオンラインを考えているところと言われ、がんばってほしいと思った。つなひろを活用しようと思った。

オンラインでつながる意義

オンラインは音声に頼る部分が多いので、スピーカーにあまり間投詞が多いと聞き手の集中力がそがれるような気がしました。

支援者同士のグループ分けにより、「①情報の交換と共有 ②学習者と支援者の ICT 環境と技術力」について意見が交われ、今後の交流につながりましたなら幸いです。

特にありません。

もっと勉強して上手に使っていきたい

決められた時間内で、各自が話をする時間配分の難しさ。制する人がいないので、特定の方が大半の時間を使われました。

まったくレベルの低い人にも、わかりやすいように説明していただければありがたい。

著作権の確認が必要

目的をハッキリさせてグループで考えたら、色々な意見が生まれてくることがわかった。

3回を通して、既に既に利用している教室や個人がけっこうあるのだなと

コロナ禍に関わらず、ICT の活用によって人と人、人と地域が交流する機会を、重層的に手提供するための可能性の一端に触れることができました。

zoom がこんなに便利なものだとは知りませんでした

練習あるのみ

できることをできるもので工夫して実現する。

まずはトライしてみます。有難うございました。

研修の中でブレイクアウトルームでいろいろな方と意見交換をすることで、新しい考えや気づきが生まれてとても良いと感じました。

たくさんの方が日本語ボランティアしてらっしゃることを、改めて知りました。兵庫県は広いな～。

携帯でも対応したのですが、学習者も研修できればうまくいくのではないかと思います。

対面の場合に比較して zoom の画面共有では著作権上の制約が多いと感じたが、著作権の勉強にもなった。

著作権の問題など、気をつけないといけないことや教材研究したいと思います。

他のボランティアの団体もそれぞれの方法で Zoom に取り組んでいることがわかった。

著作権について 知らなかったことがはっきりとして いろんな使えるサイトも教えていただき、今後オンラインレッスンですすめていく上でとても参考になりました。今までよりより分かりやすくするための準備と工夫が必要だと思いました。

できることから、はじめてみようと思いました。

コロナ下で悩んでいる支援者が多い

ZOOMを活用して 色々な活動が可能なのだと感じた。

今まで著作権のことをあまり意識していなかったのですが、ちゃんと気を付けなければいけないと思いました。

先は長いですが、がんばって使いこなせるようにになりたいと感じました。

4.よくわからなかったこと、疑問に思ったこと(16件の回答)

こちらのPC設置の問題で学習出来ない部分がありました。

「著作物の複製については、著作権フリーのものを使用する。動画の画面共有については公衆送信に抵触するので、ミーティングに参加する人にあらかじめ動画URLを送って教室が始まるまでに動画を見ていただき、その後教室をはじめる。」という方法しか取れないのでしょうか？

復習してみます。

共有画面の使い方についてYWCA担当宛チャットで質問したのですが、回答がありませんでした。

Zoomを使ってできること、できないことを明確にしたい。

特になし

こういう学習会後、横のつながりが持てないのが残念。

ブレイクアウトルームの設定がうまく出来ませんでした。後でもう一度やってみます。

5.本日のあなたにとってのキーワード(27件の回答)

つながる

できるところから、学習者とつながろう！

つながひろ

オンライン授業はこわくない。

連携

優しくシンプル。楽しく学ぶ。できることから始めましょう。

つながり

特にありません。

プラットフォーム

著作権

できることからやってみる。

試行錯誤、が重要。

色々な研修会に参加すれば、得るものは必ず有る。どんどん挑戦していきたい。

仲間

地域住民としての学習者さん

グループディスカッションでの味噌汁は飲むもの？食べるもの？

練習と振り返り

できることをできるもので工夫して実現する。

気負わずどんどん触ってやってみたい！

学習者中心にするには？

学習者の望む日本語教室とは？

オンラインで対面では困難な状況でも、よりつながることができる。

つながるひろがるにほんごのくらし

支援者同士のつながり

ボランティア同士のつながりを作りたい。

「にほんごでのくらし」日本語そのものというより、それを使って暮らしていくことが大切だと改めて気づきました。

6.今日の研修で学んだことで、ご自身の活動に活かしてみたいこと(27 件の回答)

少しづつ、オンラインのスキルを磨いて行って、楽しい活動をしたい。

つなひろを活用してみたいです。

教材を自分なりにアレンジして幅広く活用する。

支援者同士の交流の機会が身近にありましたなら、活動に活かしたいと思います。

zoom を使った授業をする

権利処理なしで使えるものを利用して、自分に提供できるスキルの幅を広げたい

紹介された「権利処理無しで使えるもの」、「つなひろ」を使ってみようと思います。いくつかあるのですが、こうして具体的に教えていただき、ありがとうございました。

文化庁の情報を利用する。

文化庁の WEB の「つなひろ」ふる活用できるよう、じっくり内容をチェックしたい。

教室のリーダー方に IT は難しくない伝えたい

著作権については気を付けて参りたいと思いました。コロナ禍の職場の事情や移動時間の問題で参加が難しい学習者さんにとって、対面の教室にプラスして、つどいの場、学習の場として、ICT のプラットフォームづくりを準備できればと思いました。

web サイトお共有

Zoom が苦手だという支援者仲間の啓蒙

Zoom を使える支援者の数を増やす。

支援者同志、または支援者の方とのzoom会議をしてみたいです。

「つなひろ」を今後の日本語支援の場で活用してみたいと思いました。

共有画面の使い方

ズームを使っていきたいと思います。

著作権上の制限をきちんと認識する。

Zoom 立ち上げ、ホスト役をしてミーティングスケジューリングをする。

ブレイクルームを教室でつかってみたい。

対面でないので難しいことも多いですが、オンラインだからできることもあり、またできることからやって、挑戦していこうと思いました。オンラインでわかりやすい飽きないレッスンができるように 教えていただいたサイトも活用して準備をして臨もうと思います。

共有画面を活用して、日本語だけでなく、日本のこと、相手の国のことなど、いろんな会話に活用していきたい

利用教材

文化庁の「つなひろ」を見えます。

オンラインの授業で活用できる WEB サイトの情報をたくさん教えて頂き、その活動例も見せて頂きとても勉強になりました。これから、今回の WEB サイトなどを自分自身がまず勉強してみて、担当している学習者の方にどれが一番合っているかを考えて、学習者の方が早く勉強する必要のある事柄から進めていきたいと思います。

「つなひろ」をぜひ取り入れたいです。

7.研修全体について、ご感想やご意見がありましたら、お書きください。(29 件の回答)

今回参加させて頂いて、得るものがたくさんありました。さらに上の次回の研修を楽しみにしています。

基本がわかり良かったです。また多くの支援者がいることがわかりました。

4 回にわたり懇切丁寧に指導いただきありがとうございました。ホストとしての使い方にまだわからないところがあるので、受講した仲間と練習してこれまで以上に活用できるように頑張ります。

どうもありがとうございました。

これまで私たちは、人と人とが出会い、手を取り合い、寄り添うことで解決を図ってきました。この方策の多くが感染症予防の観点から見直しを余儀なくされていますが、期せずして、つながり、支え合うことの意義や価値を再認識する機会にもなりました。地域で共に暮らす仕組みについて真に考えたいと思います。ありがとうございました。

オンラインは苦手と逃げていましたが、おかげさまで使えるような希望が出てきました。ありがとうございました。

質問の時間をもっと増やして欲しかったです

とても良い内容の研修会を企画してくださり、ありがとうございました。個人情報の問題があると思いますが、同じ研修会を受講した者同士で、希望者は、繋がる方法はないでしょうか？

ありがとうございました。

ZOOMの基本的な扱い方を詳しく教えて頂ければ、ありがたいです。

今回の研修のように時間をかけて学び、自分のものにしたい。また新しい研修にも どんどん参加して学んでいきたい。

講師が間投詞を多く使っていることが気になりました。で、あの、えー、えっと 前回の兵庫県国際交流協会研修で、なるべく言わないようにと教わったので、日本語講師との時もかなと。

学習者支援、学習者を支援するボランティア支援の視点で、また研修の機会を提供して頂けるとありがたいです。本研修ではお世話になり、ありがとうございました。また、ご縁がありましたら、どうぞよろしくお願いいたします。

講師の方々の成功体験、感動体験が聞きたい

有難うございました。

特になし。

有意義な研修をして頂き、大変為になりました。有難うございました！

とても有益な情報をたくさんいただきました！オンライン活動に対して一歩前進した気がします。まだまだ分からない事も多いですが、こうして少しずつ進めばいいという前向きな気持ちになりました。どうもありがとうございました。

寒い季節ですが、研修のお陰で温かい気持ちになりました。皆様、ありがとうございました。

時間を短くしてほしい。

遅すぎましたが、アンケート送信後に回答者に回答内容がそのまま返信されるように設定していただき良かったです。

え〜と、あのおがやたら多くて、かなり気になりました。もうちょっと少なくしてもらえたら、ありがたいかと。お気に障れば、スルーしてください。

Zoomの講義もいろいろありますが、日本語教育に特化しているため、対象者の知りたいことと一致していることがとてもあった。

時間が少なかったが学びが大きかった

実際にオンラインで体験して色々感じてみますねありがとうございました

再度の研修を期待してます。

ZOOM の活用を学習したり、ボランティアの方のお話が聞けたり、貴重な経験をさせていただきました。このような場を設けていただき本当にありがとうございました。

私用で研修を途中で抜けてしまい申し訳ありませんでした。短い時間の研修になってしまいましたが、私にとってとてもいい勉強になりました。ありがとうございました。

大変ためになる内容で、感謝しております。このような機会があればまた参加したいです。